

德密院議長  
伯爵  
山縣有朋君題辭  
法學士堤定次郎著

# 本日 手形法要論

東京

書肆 明法堂

山縣伯爵題辭

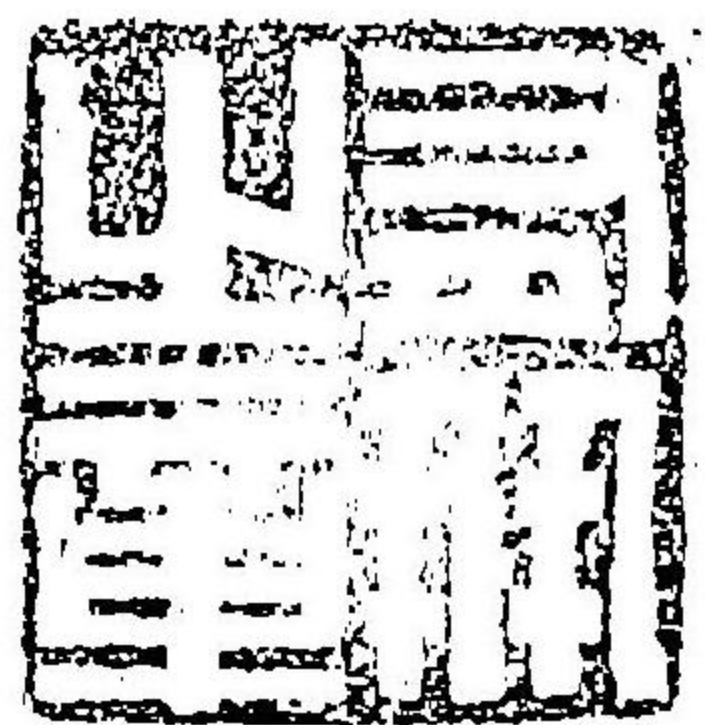
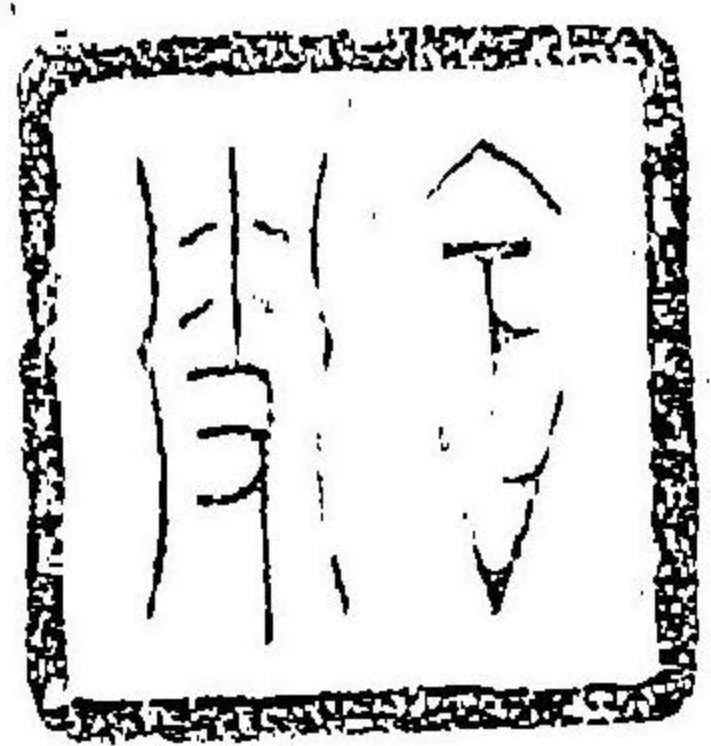


九

之

明

# 華城少人國



## 自序

我國維新以來年國家奎運ノ光輝ハ燦然トシテ東天ノ  
勢ヲ呈シ大ハ制度律令ノ改善ヨリ小ハ衣食住ニ至ル  
マテ其面目チ一新セサルハナシ就中商業社會ノ狀況  
ニ至テハ交通ノ利便日ニ月ニ増進スルニ從ヒ通商貿  
易ノ業年ヲ追テ益々隆盛トナリ内國ニ於ケル商工業  
モ亦々愈々發達シ都鄙到ル處商社ノ設立ヲ視サルハ  
ナシ夫レ社會ノ進步人智ノ開發スルヤ隨テ事物ノ關  
係複雜ヲ加ヘ吾人ノ本分理義ハ單純ナル道義ニ一任  
シテ圓滿平滑ナルヲ得ス或ハ其ノ利害ヲ異ニシ或ハ

其ノ得失ヲ同フセス相ヒ争ヒ相訴フルハ蓋シ免カル  
可ラサルノ數ナリ此等百般人事ノ關係ヲ調理スルハ  
豈ニ法律ノ力ニアラスシテ何ソヤ是レ政府カ商法ノ  
一部ナル會社、手形、破産ノ三法ヲ實施スル所以ナリ雖  
然凡ソ如何ナル法律モ之ヲ實地ニ行フニ當テハ幾多  
ノ疑問ヲ生シ從テ之ヲ解スル註釋辯明ノ書ヲ要スル  
ハ一般ノ情勢ナリ  
予ヤ曩ニ帝國大學ニ在リ碩學鴻儒ノ講筵ヲ汚シ其ノ  
高論卓說ヲ聽クヲ得旁ハテ内外大家ノ著書ニ就キ會  
社、手形、破産ノ三法ニ於テ聊カ研究スル所アリ自ラ揣

ラス筆ヲ採リ各一書ヲ成サントス其ノ逐條解ニ依ラ  
サル所以ノモノハ浩瀚冗長ニ流レ法律ノ原理原則ヲ  
知ルニ難ク得ル所口抄シテ徒ニ讀者ノ倦怠ヲ起サシ  
ムルノ弊ヲ去ルカ爲メナリ蓋シ近時泰西諸大家ノ著  
書概テ逐條解ヲ用ヒサル所以ノモノ亦々之ニ外ナラ  
ス予ノ淺學ナル諸大家ニ擬スルハ聊カ僭越ノ誹ヲ免  
レスト雖田漫ニ冗長繁雜ノ噸ニ倣フハ敢テ予ノ欲ス  
ル所ニアラサルナリ茲ニ手形法要論成ル其ノ之ヲ世  
ニ公ニスル所以ノモノハ法律施行ノ前ニアリテハ之  
カ準備ノ具トナシ法律施行ノ後ニアリテハ實際ノ必

要ニ應シ其ノ運用ヲ完カラシムルノ一助ト爲サント  
スルニアルノミ若夫レ議論ノ透徹セサル説明ノ詳悉  
セサルアラハ四方ノ大家幸ニ指教ヲ吝ム勿レ

明治二十六年四月

著者識

例言

- 一 本書ハ要論ト稱シ逐條ニ就キ解釋ヲ與ヘサルハ專ラ原理原則ト  
緊要ナル疑問ヲ説明シ以テ法官代言人法學生及實業家ノ講究警  
查ノ用ニ供センカ爲メナリ
- 一 本書ハ之ヲ三編ニ分チ第一編ノ總論ニ於テハ手形及小切手ノ定  
義効用ト訴權ノ消滅即チ時効并ニ法律ノ適用ヲ載ス第二編以下  
ニ於テハ手形及ヒ小切手ノ方式對手間ノ關係ヲ論シ且ツ手形小  
切手ハ勿論之ト契疊ヲ保ツヘキ證券ノ書式ヲ載ス是レ一見手形  
及小切手ノ何モノタルヲ知リ且ツ當事者權義ノ存スル處ヲ明晰  
ニシ實地ノ適用ニ便宜ヲ與フルノ微意ニ出ツ
- 一 本書ハ專ラ歐米各國ノ法律ヲ比較參照セリ其然ル所以ハ手形ハ  
自今益々外國人トノ取引ニ於テ行ハル可キヲ以テ本國ノ法律ト

例言

與ニ外國法律ヲ知ルハ實業家及法律實務家ノ爲メ究メテ必要ナルヲ感スレハナリ

一 本書ハ濫頭ニ一々題目ヲ擧ケ泰西諸大家ノ說ト各國ノ法律ニ照シ簡單精確ニ定義理由ヲ與ヘテ之ヲ説明セリ是レ初學ノ爲メニハ習熟ニ資シ成學ノ爲メニハ記憶ニ資シ實業家ノ爲メニハ回想ニ資センカ爲メナリ

明治廿六年四月

著者識

日本手形法要論目錄

緒言

手形法ノ沿革

第一編 總論

第一章 爲替手形約束手形及ヒ小切手

第一項 爲替手形ノ定義及當事者

第二項 爲替手形ノ効用

第三項 約束手形小切手ノ定義及ヒ當事者

第四項 約束手形及ヒ小切手ノ効用

第二章 時効

第一項 時効ノ起算

第二項 時効ノ中斷

目錄

一頁  
二  
八  
九  
一〇  
一九  
二六  
二八  
三五  
三六  
四一

第三項 時効ノ効力

四七

第四項 爲替上ノ時効ト他ノ時効トノ差異

五二

第三章 法律ノ適用

五四

第二編 爲替手形

第一章 爲替手形ノ方式

六〇

第一項 爲替手形作成ノ要件

六〇

第二項 組爲替手形及ヒ賸本

八八

第三項 假設ノ手形

九四

第四項 偽造變造ノ手形

一〇〇

第二章 手形ノ流通

一〇七

第一項 裏書

一〇七

第二項 裏書ノ方式

一一四

第三項 變體裏書

一二二

第三章 能力及權限

一三九

第一項 對手ノ能力

一三九

第二項 對手ノ權限

一四五

第四章 手形ノ引受

一五〇

第一項 引受ノ呈示

一五一

第二項 引受ノ種類

一五六

第三項 引受ノ方式

一六三

第四項 引受ノ効果

一六七

第五項 引受ノ拒絶

一七四

第六項 榮譽引受

一八四

第五章 手形ノ支拂

一九七

第一項 支拂ノ呈示

一九七

第二項 支拂ノ方法

二〇八



第三項 支拂ノ効果 二一七

第六章 支拂ノ拒絶 二二二

第一項 拒證書 二二三

第二項 償還請求 二三二

第三項 戻爲替手形 二三五

第七章 當事者間ノ責任 二四六

第一項 原持人及ヒ支拂人ノ責任 二四七

第二項 提出人及ヒ裏書人ノ責任 二五三

第八章 手形上ノ擔保者 二六一

第一項 連帶 二六一

第二項 手形ノ保證 二六四

第三項 榮譽支拂 二七一

第九章 資金 二八〇

第一項 資金供給ノ義務者 二八〇

第二項 資金ニ對スル所持人ノ權利 二八六

第三項 資金ノ證明 二九三

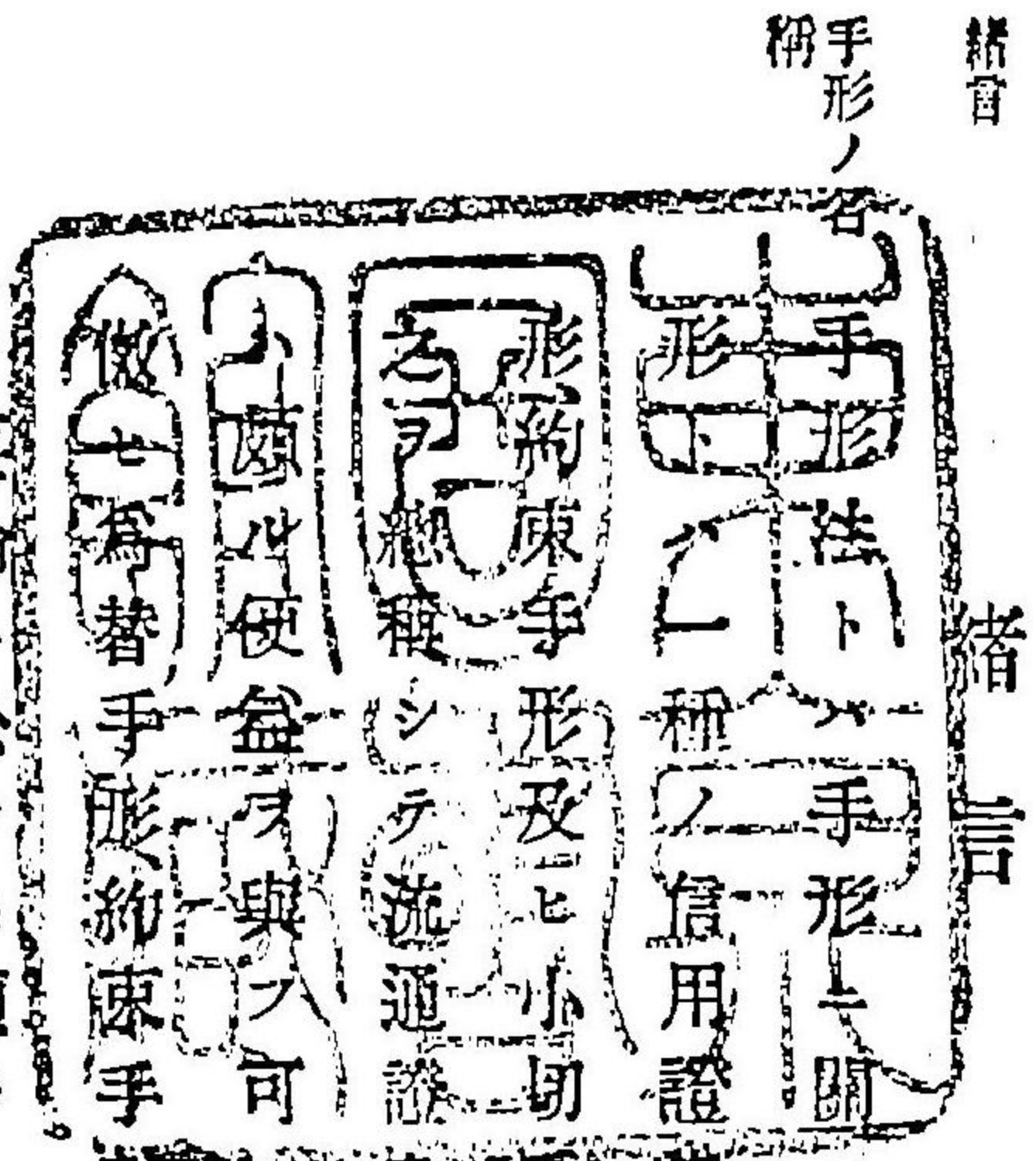
第三編 約束手形及小切手 二九八

第一章 約束手形 二九八

第二章 小切手 三〇八

# 日本手形法要論

法學士 堤 定次郎 著



ハラス之レカ主要ナル性質ヲ意味スル點ニ於テハ同然ナリ何トナレ

緒言

一

ハ其ノ名稱ノ流通證書ナルト將々手形ナルトヲ問ハス皆世間一般殊ニ商人間ニ轉輾流通スル信用證券ニ外ナラサレハナリ唯茲ニ一言スヘキハ商法第一編第七章第十一節ニ規定スル指圖證券及ヒ無記名證券モ亦々多少流通ノ性質ヲ含有スルヲ以テ此點ニ付テハ兩者ノ間殆ント同一ナルカ如シ然レモ手形ナル者ハ通貨ノ代用物タル効力ト信用トヲ併有シ商業上最好機關トシテ使用セラル、者ニシテ彼ノ指圖證券若クハ無記名證券トハ其性質上大ニ差異ノ存スルアリ故ニ手形ハ商業上信用ノ發達スルニアラサレハ行ハレス是ヲ以テ其ノ流通額ノ多寡ハ其ノ國文明ノ程度ヲ測知スルニ足ル手形ノ効用タル其レ斯ノ如シ而シテ手形法ヲ攻究スルニ付キ其ノ由來變遷ノ大略ヲ知ルハ最モ必要ナルカ故ニ予ハ先ツ其ノ沿革ヲ左ニ略述スヘシ

手形法ノ沿革

## 手形法ノ沿革

手形ノ沿革ヲ説クニ方リ第一ニ起ル所ノ疑問ハ抑々手形ナルモノハ

往昔何レノ時代何レノ場所ニ於テ始メテ行ハレタルヤノ問題はレナリ此問題ニ對スル學者ノ所說一ナラス或ハ曰ク手形ノ濫陽ハ歴史上其由來判然タル者アリ則チ第十四世紀ノ頃伊太利ノ都府フロレンスニ於テ商業旺盛ナルニ方リ始メテ手形ヲ使用シタルヲアリシカ其ノ手形ハ佛國ニ傳ハリ佛人之ヲ使用シ更ニ英國ニ傳ヘ漸次歐洲各國ニ傳播スルニ至レルナリト或ハ曰ク中世ノ頃歐洲諸國ニ於ケル商權殊ニ金錢貸借ノ事業ハ一ニ猶太人ノ手ニ歸セシカ此ノ猶太人タル各國到ル所ニ虐待セラレ縱令商權及ヒ金錢貸借ノ事業ハ專ハラ之ヲ經營スルヲ得ルト雖モ安然ニ甲國ヨリ乙國ニ現金ヲ送致スルヲ得サリシカ故ニ其ノ危險ヲ避ケンカマメ手形ヲ使用スルニ至レルナリト何レカ確説ナルヤ要スルニ其事跡不明ニシテ到底明答ヲ附スル能ハス予カ卑見ニ依レハ當初伊太利ノ一部ニ行ハレ而シテ他ノ部分ニ傳播シ更ニ佛國ニ傳ハリ遂ニ英國ニ移リタルモノナルカ如シ唯獨逸

及ヒ其他ノ諸國カ同時ニ此ノ慣習ヲ繼受シタルヤ否ハ甚ダ不明ニ屬セリ但シ佛國ニ於テハ如何ナル狀況ヲ以テ發達シタルカ又英國ハ如何ニ之ヲ使用セシカ這ハ判明ナラスト雖モ兎ニ角佛國ニ於テハ千六百七十三年勅令ヲ以テ始メテ爲替手形ニ關スル法律ヲ頒布スルニ至レリ然レモ此ノ法律タル頗ル簡單ニシテ實際ノ進歩ト相伴フ能ハサルカ故ニ之ヲ増補シ千八百七年ニ發布セラレタル商法第八章ニ於テ爲替手形、約束手形ニ關スル法規ヲ設ケ其後千八百六十五年ニ至リ小切手ニ關スル規則ヲ制定シ千八百七十四年ニ至リ追加修正ヲナセリ而シテ佛國ノ此法規ハ歐洲諸國ノ法典ニ摸範ヲ與ヘ西班牙ニ於テハ千八百三十年葡萄牙ニ於テハ千八百三十三年白耳義ニ於テハ千八百七十二年何レモ佛國ニ摸倣シテ爲替ニ關スル法律ヲ發布セリ又獨逸ニ於テハ千八百四十九年爲替條例ヲ制定シ千八百六十九年ニ至リ修正ヲ加ヘタルカ此條例タル百ヶ條ヨリ成リ帝國一般ニ實行セリ此ノ

獨逸ノ爲替條例モ佛法ヲ摸範トシテ制定シタルモノナリト雖モ多少異ナル處アルノミナラス未ダ小切手ニ關スル規則ナシ如斯歐洲大陸ノ諸國ニ於テハ一般ニ佛法ヲ摸倣スト雖モ唯リ英國ニ於テハロード、マンズフィールド侯時代即チ第十八世紀ノ頃爲替手形ニ關スル法規已ニ概畧一定シ判決例モ亦タ其ノ方針ニ依リタルモノ、如シ然レモ當時ハ單ニ内國人ト外國人トノ間ニ流通スルニ過キサリシカ其後漸々社會ノ進歩スルニ從ヒ舊態ヲ一變シ千八百八十二年ニ至リ爲替條例ヲ發布セリ然レモ此條例タル立法官ノ制定シタル者ニアラス其原則ハ商業上ノ慣習ニ由來シタルモノニシテ立法上ノ點ニ於テモ他國ト同シカラサルモノアリ其ノ編纂ノ次第ハ同國地方裁判所判事ニチヤルマルト云フ人アリシカ氏ハ夙ニ心ヲ手形ノ事ニ注キ從來ノ判決例ト隨時發布シタル規則トヲ材料トシテ此法ノ草案ヲ作レリ此草案タル頗フル精密ニシテ實用ニ適切ナルヲ以テ立法者之ヲ採用シ遂ニ

佛英兩國  
爲替主義  
ノ差異

成文法トシテ發布スルニ至リシナリ此ノ條例ニ依レハ内國人間ハ勿論商人ト非商人トヲ區別セス一般ニ之ヲ行フモノトセリ故ニ英國ノ現行爲替條例ト佛國ノ爲替手形法トハ大ニ其ノ主義ヲ異ニセリ其ノ英國主義ト稱スルハ融通主義ニシテ即チ場所ノ如何ニ拘ハラヌ流通證券ヲ以テ通貨ノ代用物ト爲シ經濟社會ノ融通ヲ補助スルヲ以テ目的トス反之テ佛國主義ハ爲替主義即チ一ノ場所ヨリ他ノ遠隔ナル場所ニ宛テ金錢ニ代ヘテ送致スルヲ以テ目的トス故ニ其結果トシテ英國ニ於テハ爲替手形ト雖モ振出地ト支拂地ト同一ノ場所タルヲ得レトモ佛國ニ於テハ一ノ場所ヨリ他ノ遠隔ナル場所ニ向ケ振出スルヲ要セリ即チ振出地ト支拂地トハ相隔離スルヲ以テ必要條件トス又佛國ニ於テハ有價物ノ供給アリタルヲ即チ若干金額ヲ支拂フ可キ義務ヲ負フノ原因アルヲ必要トス反之テ英國ニ於テハ單ニ手形ヲ以テ信用證書ト認ムルニ過キササルカ故ニ當事者間ニ於テ何等ノ取引關

我邦ニ於  
ケル手形  
ノ沿革

係ノ存セサル場合ト雖モ尙ホ手形ヲ振出スコトヲ得ルナリ歐洲諸國ニ於ケル手形ノ沿革并ニ英佛兩國手形法ノ其主義ヲ異ニスルヲハ以上概説スル所ノ如シ今我邦ニ於ケル爲替手形ノ沿革ヲ繹スルニ舊幕時代大坂地方ニ行ハレタルヲアリト雖モ單ニ一局部ニ止マリ全國一般ニ傳播スルヲ能ハサリシ維新以後當局者之レカ獎勵ニ汲々マリト雖モ猶且ツ歐米各國ニ及フ能ハサルハ商業社會ノ信用未ダ充分ニ發達セサルニ依ルトハ云ヘ抑亦法律ノ不完全ナルニ基因セスンハアラス明治十五年佛國法ニ擬シ始メテ爲替手形約束手形條例ヲ發布セシモ不完不備到底實用ニ適セサルヲ以テ政府ハ之ヲ商法中ニ規定シ他ノ諸項ト共ニ實施セントス然ルニ商法ハ民法ト同シク帝國議會ニ於テ二回迄モ延期トナリ遂ニ今日ニ至ル迄實施スル能ハサリシハ識者ノ大ニ遺憾トセシ所ナリ夫レ手形ノ商取引ニ於ケル萬國普通ノモノナルヲ以テ各國ノ法律皆

大同小異ノ主義ヲ取レリ故ニ何レノ國ノ法律ヲ母法トシテ之ヲ制定  
スルモ事ニ害ナキナリ我商法ハ獨逸人ロエスレール氏ノ起稿ニ係ル  
ト雖ト起案ノ主義ニ於テハ單ニ自國即チ獨逸法ノ主義ニノミ因リシ  
ニアラス去リトテ亦タ英ニ偏シ佛ニ黨シタルニアラス汎ク各國ノ法  
律ヲ參酌シタルカ故ニ長短取捨略ホ其宜シキヲ得タリ蓋シ商取引上  
手形流通ノ圓滑ナルハ以テ商業ノ繁盛發達ヲ期スヘク而シテ手形流  
通ノ圓滑ナルト否トハ法律ノ完不完ニアリ法律ノ不完全ナル一日ナ  
レハ轉輾流通ノ機關ヲ缺ク亦一日ナリト云ハサルヘカラス由是觀  
之ハ手形法ノ實施一日ヲ遅クセハ從テ商業ノ發達モ亦一日ヲ遅クス  
ルモノト云ハサルヘカラス政府モ茲ニ視ル所アリ今回會社、破産ト共  
ニ商法ヨリ分離シテ之レカ實施ヲ議會ニ求メタリ今ヤ議會ノ協賛ヲ  
得茲ニ實施セラレ、ニ至リタルハ豈啻商業社會ノ爲メノミナランヤ  
國家ノ爲メ實ニ賀スヘキナリ

總論

第一編 總論

第一章 爲替手形、約束手形及ヒ小切手

爲替手形  
約束手形  
及ヒ小切  
手

手形及ヒ小切手ニ關スル規則ハ商法第一編第十二章ニ之ヲ規定シ其  
ノ始メニ總則ヲ置キ之ヲ三節ニ區分シ第一節ヲ爲替手形トシ第二節  
ヲ約束手形トシ第三節ヲ小切手トナセリ而シテ更ニ第一節ヲ分チテ  
十一款トナシ其第一款ニハ爲替手形、第二款ニハ裏書、第三款ニハ引受、  
第四款ニハ榮譽引受、第五款ニハ保證、第六款ニハ支拂、第七款ニハ榮譽  
支拂、第八款ニハ償還請求、第九款ニハ拒證書作成、第十款ニハ戻爲替手  
形、第十一款ニハ資金ノコトヲ規定セリ而シテ之レカ條數ヲ舉クレハ  
實ニ百二十四條ノ多キニ至ル然レモ予カ本論ニ於テ主眼トスル所ハ  
爲替手形、約束手形及ヒ小切手ノ要領ヲ論述スルニアルヲ以テ敢テ條  
ヲ追テ一々之レカ解釋ヲ與フルノ煩ヲ取ラサルヘシ且又如斯手形ニ  
三種ノ別アルモ要スルニ皆ナ爲替手形ノ性質ヲ具備スルヲ以テ何レ

ノ國ト雖モ爲替手形ニ付テノミ諸般ノ規定ヲ爲シ約束手形小切手ニ付テハ唯其ノ特別ナル點ノミヲ規定シ他ハ爲替手形ノ規定ヲ準用セリ故ニ予ハ主トシテ爲替手形ニ付テノミ詳論スルコトナシ他ノ約束手形小切手ニ付テハ唯其ノ特別ナル點ヲ略説スルニ止ムヘシ

爲替手形ノ定義

第一項 爲替手形ノ定義及當事者

爲替手形ノ定義ハ歐洲諸國ノ法律中之ヲ法律ニ明規スル者アリ或ハ否サルアリ獨佛伊等諸國ノ法律ハ別ニ定義トシテ法律ニ之ヲ明規シタル者ナシ從テ學者ノ下セル定義モ亦一樣ナラス佛國學者ハ曰ク爲替手形トハ爲替契約ニ依リ作ルモノニシテ該契約實行ノ通常方法ヲリ換言セハ書狀ノ體裁ニ成リタル正式證券ニシテ即チ振出人カ自己ニ對シテ利益ヲ享受スル者又ハ有價物ヲ供與スル者ニ對シ他ノ場所ニ於テ或ル金額ヲ支拂フヘキコトヲ證スル爲メニ作成スル書狀ナリト云ヘリ然ルニ英國現行爲替條例第三條第一項ニハ其ノ定義ヲ掲ケテ

曰ク爲替手形トハ振出人ヨリ支拂人ニ宛テ署名セル書面ニ因リ請求次第又ハ確定シタル時限若クハ確定スルコトヲ得ヘキ將來ノ期限ニ於テ一定ノ金額ヲ特ニ指定シタル人又ハ其ノ指圖人若クハ所持人ニ支拂フ可シト記シタル證券ニシテ無條件ノ指圖ヲ云フト

我商法ニ於ケル爲替手形ノ定義

我商法ノ定義ハ其第六百九十九條ニ掲ケマリ曰ク

手形ハ或金額カ支拂ハル可キ旨ヲ明記シ指圖式又ハ無記名式ニテ發行スル信用證券マリ

手形ニハ條件ヲ附スルヲ得ス

ト此ノ定義ニヨレハ爲替手形ニ具備セサル可ラサル要件左ノ如シ

第一要件

第一 一定ノ金額カ無條件ニテ支拂ハル可キ旨ヲ明記スヘキコト

一定ノ金額ニシテ且ツ無條件ニテ支拂ハル可キヲ要スルカ故ニ

爲替手形面ノ金高ヲ超ヘ夫ノ通常債務ノ如ク契約ノ費用若クハ

爲替ニ依テ生シタル費用ノ如キハ請求スルヲ得ス又其ノ支拂ニ

付テモ或ハ偶成任意ノ條件ニ繫ラシムルカ如キ又ハ金額ヲ以テセシテ他ノ物件ヲ以テ支拂フカ如キヲ許サ、ルナリ此レ必竟手形法ニ於テハ手形ヲ以テ現金同様ノ効力ヲ有セシメタルカ故ニ明約ト黙約トヲ問ハス他ノ事情ノ爲メ使用ノ目的ヲ妨ケラレサランカ爲メナリ

第二要件

第二 指圖式又ハ無記名式ナルコト

指圖式トハ受取人ノ氏名若クハ其ノ受取人ノ指圖シテ受取ラシムル受取人ノ氏名ヲ證券ニ記載スルノ方法ニシテ無記名式トハ券面ニ受取人ノ氏名ヲ記載セス何人タリトモ善意ニシテ現ニ所持スル者ニ於テ金員ノ支拂ヲ受ク可キ方法ナリ此點ニ付テモ各國其ノ法規ヲ一ニセス佛國及ヒ佛國ヲ模範トシテ制定シタル諸國ノ法律ニ於テハ一般ニ指圖式ノ方法ニヨレリ何トナレハ佛國法ニアリテハ手形ニ原因ヲ記載スヘキモノナルヲ以テ若シ無記

名式ノ手形ヲ認ムルニ於テハ到底當初ノ取引如何ヲ知ルコトヲ得スシテ結局手形法自體ニ於テ互ニ牴觸スヘキ法規ヲ生スルニ至ルヲ以テナリ然ルニ英國ニ於テハ千七百六十五年以來無記名式ノ手形ヲ認ムルニ至レリ我立法者カ法式ニ拘泥スル佛國流義ノ方法ヲ排斥シタルハ時勢ヲ洞察シタルノ規定ナリト云ハサル可ラス

爲替手形ノ當事者

之ヲ要スルニ爲替手形トハ書狀ノ體裁ニ成リタル正式證券ニシテ權利者ヨリ義務者ニ對シ無條件ニテ或金額ノ支拂ヲ命令スル證券ナリ而シテ此ノ證券ヲ作成スル人ヲ振出人ト云ヒ支拂ノ命令ヲ受クル者ヲ名宛人或ハ支拂人ト稱シ振出シタル手形ノ交付ヲ受クル人ヲ受取人ト云フ故ニ此ノ手形ニハ通常振出人支拂人及ヒ受取人ト此三人ノ對手アルヲ要スルナリ然レモ名宛人ハ其關係人トナルヤ否ヲ隨意ニスルヲ得可シ何トナレハ渠レハ之ヲ引受クルモ亦之ヲ否拒スルモ其



權自由ナレハナリ而シテ名宛人若シ支拂ヲ引受ケタルトキハ之ヲ引受人ト稱シ又第三者ノ之ヲ引受ケタルトキハ榮譽引受人ト稱ス又手形ハ自在ニ轉帳流通スヘキモノナルカ故ニ振出人裏書ニ依リテ其權利ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ之ヲ裏書讓渡人又ハ裏書人ト云ヒ其ノ權利ヲ讓受ケタル者ヲ裏書讓受人又ハ讓受人ト云フ受取人ヨリ裏書ニヨリ權利ヲ讓受クル者ヲ指圖人ト稱シ裏書ヲ要セス交付ノミニテ權利ヲ讓受ケタル者ヲ所持人トス又手形ハ第三者ノ計算ノタメニ差立ツルコトアリ此ノ第三者ヲ稱シテ委任者即チ委任支拂人ト云ヒ振出人ヲ指シテ計算ノ爲メノ振出人ト云フ又支拂人二人以上アル場合アリ然レモ支拂人ハ交ル代ル又ハ三人以上ノ者順次ニ其ノ手形ヲ支拂フ可シトノ指圖アル片ハ無効ナリ例ヘハ四名ノ支拂人甲乙丙丁ヲ券面ニ記載シ甲者ニ於テ支拂ハサル片ハ乙者ニ請求スヘク又乙者支拂ヲ爲サ、ル片ハ丙者ニ請求スヘク丙者モ又支拂ハサル片ハ丁者ニ請

支拂人二人以上ノ場合

求ス可シト云フカ如キ是レナリ此等ノ場合ヲ無効トスル所以ハ爲替手形ハ條件ナキ指圖證券ナルニ若シ甲ニ於テ支拂ハサレハト云フカ如キ條件ヲ附スルヲ以テナリ然レモ振出人カ支拂人ヲ定メ若シ其者ニ於テ支拂ハサル片ハ他ノ者ニ於テ支拂フ可キ旨ヲ記スルハ敢テ差支ナシ而シテ此ノ第三者ヲ稱シテ豫備支拂人ト云フ此場合ハ前者ト同シカラス前者ハ單ニ甲又ハ乙ナル支拂人ニ向テ支拂ヲ請求ス可シト云フニアリト雖モ後者ハ支拂人支拂ヲ爲サ、ル片ハ拒證書ヲ作り豫備支拂人ニ向テ支拂ヲ請求スルモノナレハナリ又豫シメ手形券面ニ記載ナキ第三者カ振出人其他ノ者ノ榮譽ヲ保持スル爲メニ支拂ヲ爲スコトアリ之ヲ榮譽支拂人ト云フ

如斯爲替手形ニハ三人以上ノ當事者アルヲ原則トスレモ之ヲ減シテ二人ト爲スコト得ヘシ即チ手形ノ振出人タル者カ一方ニ於テハ振出人トナリ一方ニ於テハ自ラ受取人トナル場合是レナリ又或ル場合ニ

於テハ振出人カ支拂人トナルヲアリ是レ我手形法第七百十七條ニ規定スル所ナリ曰ク振出人ハ爲替手形ヲ自己ノ指圖ニテ振出シ又ハ自己ニ宛テ振出スヲ得ト第一ノ場合ハ佛國其他各國一般ニ認ムル所ナリト雖モ佛商第一一〇、伊商第一九七、第二ノ場合ハ英獨等ノ法律ニ於テ之ヲ認メヨリ(獨爲替條例第六、英爲替條例第五)右二個ノ場合ニ於テハ對手ハ二人ナルニ過キサレモ振出人ニシテ受取人トナリ若クハ支拂人トナルモノナリ今左ニ二個ノ場合ヲ分説スヘシ

第一 振出人カ自己ノ指圖ニテ振出ス場合

自己ノ指圖ニテ振出ス場合トハ例ハ東京ノ商人甲者大阪ノ商人乙者ニ向ヒ余ノ指圖ニテ一千圓ヲ支拂アリタシト云フカ如キ是レナリ而シテ此ノ手形ノ實用安クニアリヤト云フニ例ハ東京ノ商人甲者長崎ノ商人乙者ヨリ或金額ヲ受取ル可キ權利アルカ故ニ乙者ニ宛テタル手形ヲ振出シ以テ其金額ヲ得ント欲ス然ルニ甲者ハ其地

振出人カ自己ノ指圖ニテ振出ス場合

振出人及ヒ支拂人カ同一ノ場合

ニ於テ信用無ク又支拂人果シテ支拂フヘキヤ否ヲ知ラサルヲ以テ其手形ヲ讓受クル者アラサルヘシ斯カル場合ニ於テ甲者ハ自己又ハ其差圖人ニ支拂フヘキ旨ヲ記シタル手形ヲ作成シ之ヲ支拂人ニ送致シ支拂人ヲシテ引受ヲ爲サシメ而ル後之ヲ讓渡シテ其金額ヲ得ヘキナリ故ニ此手形ハ振出人自身ニ於テ受取人タルモ手形ニ裏書シテ之ヲ指圖人ニ交付スルカ又ハ無記名ノ手形ナルモ裏書ナク直ニ之ヲ所持人ニ交付シテ手形ノ占有ヲ移轉スルニアラサレハ實際手形タルノ効力ヲ生セサル可シ何トナレハ自ラ手形ヲ作成シ自ラ受取人トナルモ其ノ手裡ニ手形ヲ所持スルモハ世間ニ流通ノ用ヲ爲サス一片ノ反古紙タルニ過キサルヲ以テナリ又此手形ハ引受ヲ爲スニアラサレハ實際其効アラサルヘシ

第二 振出人及ヒ支拂人カ同一ノ人ナル場合

即チ甲者手形ヲ作成シ其振出人トナリ又同時ニ之レカ支拂人トナ

ル場合ニシテ例ヘハ東京ノ甲銀行カ長崎ナル支店即チ乙銀行ヲ支拂人トシテ千圓ノ手形ヲ振出シ之ヲ丙者ニ裏書スルキハ甲銀行ト乙銀行トハ本店ト支店トノ關係アルモノニシテ其ノ實ハ同一ナリ換言スレハ自ラ手形ヲ振出シテ自ラ其ノ手形ノ支拂人トナルカ故ニ縱令其ノ手形ノ方式ハ爲替手形ナルニモセヨ其ノ實ハ約束手形ト毫モ異ナル所ナシ唯爲替手形タル實用ヲ生スルハ振出地ニアラサル地ニ於テ支拂ヲ爲ス可キ場合ニアルノミ

疑問

然ラハ同一ノ人ニシテ支拂人トナリ又受取人トナルコトヲ得ルヤ否ヤ此ニ所謂同一ノ人カ支拂人トナリ又受取人トナルトハ唯其人カ物理上同一ノ人ナルノミニシテ法律上ノ資格ヲ異ニスル場合ヲ云フモノナリ例ハ茲ニ甲者アリテ米穀仲買ノ營業ヲ爲シ又乙者ノ代理人トシテ銀行ノ支配人タル場合ニ於テ丙者カ手形ヲ振出スニ當リ米穀仲買ノ資格ヲ有スル甲者ヲ支拂人トナシ銀行ノ支配人タル資格ヲ有スル

甲者ヲ指圖人ト爲シタルキハ如何ト云フニアリ此ノ場合ニ於テハ甲者ハ一人ニシテ支拂人トナリ又受取人トナルヲ以テ一見スレハ奇異ナルカ如クナレモ其ノ資格ヲ異ニスルノミナラス本法ニ於テモ又明文ナキモ敢テ之ヲ禁スルノ精神ニアラサルナリ故ニ實際如此場合ノ生スルモ其ノ手形ハ有効ナリト云ハサル可ラス何トナレハ甲者カ支配人タル資格ハ銀行ヲ代理シタルモノニシテ權利義務ヲ一身ニ混同シタル者ト云フヲ得サレハナリ

爲替手形ノ効用

第二項 爲替手形ノ効用

抑流通證券即チ爲替手形ナル者ハ商業社會ニ於テ一ノ最好機關トシテ利用セラル、者ナリ故ニ商業ノ榮枯盛衰ハ一ニ爲替手形ノ流通如何ニアリト云フモ強チ誇言ニアラス何トナレハ商取引ノ事タル常ニ代價ノ授受アリ而シテ此ノ代價ノ授受ハ手形ニ依ルノ最簡至便ナルニ如カサレハナリ如斯手形カ商業上重要ノ關係ヲ有スル所以ハ時ニ

或ハ融通ノ機關トナリ又信用ノ手段トナリ商業上ニ存スル幾多ノ不便ト危険トヲ除去スルノ益アルヲ以テノミ例之ハ甲ナル大坂ノ商人乙ナル東京ノ商人ヨリ或ル商品ヲ買受ケ乙ハ已ニ其ノ物品ヲ甲者ニ送付シタリトセンニ甲者ハ其ノ代金ヲ乙者ニ送致セサル可ラス而シテ其ノ代金ヲ送致スルニ現金ヲ以テストセハ左ニ述フル所ノ不都合ハ到底免ル可カラス

第一 現金ヲ以テセハ之ヲ使者ニ托スルカ又ハ自ラ携帯セサル可ラス然ルルハ當ニ手數ヲ要スルノミナラス許多ノ日子ト費用トヲ浪費セサル可ラサル不便アリ

第二 縦令幸便アリ之レニ托シテ送致スルコトヲ得ルトスルモ盜奪其他不測ノ災害アリテ之ヲ失却スルノ危険アリ

又例ヘハ東京ノ甲者大坂ノ乙者ニ價額一萬圓ノ物件ヲ賣渡シ代價ヲ受取ラスシテ物件ヲ送致シ又大坂ノ丁者東京ノ丙者ニ價額一萬圓ノ

物件ヲ賣渡シ代價ヲ受取ラスシテ物件ヲ送致シタリトセンニ此ノ二ケノ當事者間ニ於ケル取引ヲ完結センニハ大坂ニアル乙者ハ東京ノ甲者ニ一萬圓ノ現金ヲ送致シ又東京ニアル丙者ハ大坂ノ丁者ニ一萬圓ノ現金ヲ送致セサル可ラス如斯現金ヲ以テ支拂フコトセハ左ノ不都合アルヲ免レス

第一 少許ノ金額ヌランニハ格別ノコトナキモ一萬圓ノ巨額ナルカ故ニ之レカ計算ニ時間ヲ費スノミナラス其ノ價造ナルヤ否ヤヲモ調査セサル可ラサルノ不便アリ

第二 二重ノ運搬ヲ要スルカ故ニ隨テ二重ノ手數ト費用トヲ要ス何トナレハ東京ノ甲者ハ大坂ニアル乙者ノ債權者ニシテ東京ノ丙者ハ大坂ナル丁者ノ債務者ナルルハ互ニ同地内ニ於テ取引ヲ完結スルヲ得ヘキモ各自ニ金圓ヲ送致セサル可ラサレハナリ

第三 現金ナルルハ何人タルヲ問ハス之ヲ占有スル者ハ所有權ヲ

得テ自由ニ之ヲ使用スルコトヲ得ヘク隨テ種々ノ弊害ヲ生スルノ  
ミナラス盜難其他不測ノ危険アリ

第一例ノ危険ト不便トヲ避ケンニハ果シテ如何ナル方法アルヤ爲替  
手形ノ効用於是乎較著ナル者アリ即チ乙者ハ現金送致ノ不便ヲ避ク  
ル爲メ大坂ノ或ル銀行ニ代價千圓ヲ拂込ミ其銀行ヲシテ東京ニ在ル  
支店其他ノ者ヨリ右金圓ヲ甲者若クハ其ノ指圖人ニ支拂ハシムル爲  
メ左ニ掲クル書式ノ手形ヲ振出スナリ

爲替手形

番 號

一金一千圓也

右金額(來何月何日)(御一覽次第)(御一覽後何日)乙者又ハ其指圖人へ此手形引換ニ  
御支拂可被成候也

年 月 日

大坂何市何番地  
振出人 氏 名 印

東京何區何町何番地

支拂人 氏 名 宛

此ノ手形ヲ送致セハ甲者ハ東京ニ於テ券面記載ノ支拂人タル銀行又  
ハ其他ノ者ヨリ商品代價ノ支拂ヲ受クルコトヲ得ルナリ

又二例ノ場合ニ於テハ如何ニシテ此ノ危険ト不便トヲ避クルコトヲ得  
ヘキヤ是レ亦又同シク手形ヲ以テ融通ノ具トナシ此ノ危険ト不便ト  
ヲ避ケ安然ニ金員ヲ送致スルコトヲ得ヘキナリ即チ前例ニ於ケル東  
京ノ甲者ハ其ノ債務者タル大坂ノ乙者ニ宛テ前書式ノ爲替手形ヲ振  
出シ之ヲ東京ノ丙者ニ讓渡シ丙者ハ之ヲ自己ノ債權者タル大坂ノ丁  
者ニ交付シ丁者ハ乙者ヨリ右金員ヲ受取ルコトヲ得ヘキナリ如斯セハ  
甲乙丙丁四人ノ取引ハ容易ニ完結スルコトヲ得ヘシ又少シク事例ヲ變  
シテ其ノ効用ヲ示サンニ東京ノ甲者大坂ノ乙者ニ價額百圓ノ物件ヲ  
賣リテ已ニ之ヲ送致セシカ其前後ニ於テ甲者ハ大坂ノ丙者ヨリ價額  
百圓ノ物件ヲ買取リ已ニ其引渡ヲ受ケタリトセンカ互ニ現金ヲ送致  
セスシテ此ノ取引ヲ完結センニハ甲者ハ一ノ手形ヲ作り乙者ニ命ス

ルニ百圓ノ金額ヲ丙者又ハ其指圖人ニ支拂フヘキ旨ヲ以テシ其ノ手形ヲ丙者ニ送致スルニアリ如斯スル片ハ乙者ノ甲者ニ對スル債務ヲ消滅セシムルト同時ニ甲者ノ丙者ニ對スル債務ヲモ亦々消滅セシムルノ便アリトス

又此ノ手形ハ信用ノ手段トシテ通貨ヲ代表シ貸借其他金員ヲ以テスル義務ノ履行ニ當リ最モ効用ヲ爲スモノトス縱令ハ東京ノ甲者カ大坂若クハ神戸ノ或ル商人ヨリ商品ヲ買受ケタル片ハ甲者ハ自己ノ債務者ヲ支拂人トシタル爲替手形ヲ振出シ之ヲ大坂若クハ神戸ノ或ル商人ニ送致シ以テ其ノ代價辨濟ノ義務ヲ果スコトヲ得ヘシ又尙シ甲者直ニ現金ヲ得ント欲セハ之ヲ讓渡シテ金員ヲ得ヘキナリ  
以上ニ於テ爲替手形ノ性質及ヒ其ノ効用ヲ詳論セリ序ニ一言スヘキハ我國ニ於テハ郵便局ニ托シテ振出ス所ノ爲替ナルモノアリテ本法ニ所謂爲替手形ト混同シ易シト雖モ二者決シテ同一視スヘカラス今

郵便爲替手形ト爲替手形ト爲ノ差異

左ニ相異ナル點ヲ示サン

- 第一 爲替手形ハ商業上ノ機關トシテ使用セラル、者ナルカ故ニ振出人ハ振出ノ當時必ラスシモ金圓ヲ提供スルヲ要セス自己ノ債務者若クハ其他ノ者ノ名宛ニテ即チ支拂人トシテ之ヲ振出スコトヲ得反之シテ郵便局ニ托シテ振出ス爲替ハ之ヲ振出サントセハ先ツ爲替依頼ノ申請ヲ爲シ之レト同時ニ必ラス現金ヲ提出セサル可ラス然ラスンハ郵便局ハ其ノ申請ヲ許サス
- 第二 爲替手形ハ振出人ト支拂人トハ概テ別人ナリト雖モ爲替ニ於テハ然ラス振出シタル郵便局長ト支拂ヲ爲スヘキ郵便局長トハ其人異ナリト雖モ共ニ政府ノ代理タル資格ヲ有スル官吏ニシテ依頼者ノ方ヨリ視ル片ハ恰モ同一人タルニ異ナラス又受取人タル者モ差出人ノ代人トシテ受取ルニ過キサルナリ
- 第三 爲替手形ハ指圖式又ハ無記名式ニテ振出スコトヲ得從テ手形

所持人ヲ以テ受取人トスト雖凡反之シテ爲替ハ依頼ノ當時指名シタル者若クハ其ノ代人ニアラサレハ受取ルヲ得サルナリ

第三項 約束手形小切手ノ定義及ヒ當事者

約束手形ノ定義及ヒ當事者

約束手形ノ定義ニ就テモ本法ハ六百九十九條ニ廣ク手形ト云ヒ爲替手形ト約束手形トノ區別ヲ爲サ、ルカ故ニ前項ノ事ハ約束手形ニモ適用ス可シ要スルニ約束手形トハ振出人ヨリ請求次第又ハ約定シタル期限ニ於テ得利益者又ハ受取人若クハ其ノ指圖人ニ一定ノ金額ヲ支拂フヲ約スル證券ナリ之ヲ要言セハ義務者ヨリ權利者ニ對シ無條件ニテ或ル金額ノ支拂ヲ約スル證書ヲ云フ例ヘハ甲者アリ乙者ニ支拂フヘキ義務アリ其ノ支拂フヘキ金額ニ換テ特定ノ期日ニ現金ヲ支拂フヘシトノ約定ニテ或ル證券ヲ渡スルハ此證券ヲ稱シテ約束手形ト云フナリ故ニ約束手形ナル者ハ義務者ヨリ自己ノ支拂ヲ以テ振出スモノナリ從テ此手形ノ成立ニ於ケル當事者ハ振出人ト受取人ト二

約束手形ト爲替手形ト異ナル點

人ニ止マルモノトス然レ此ノ手形モ亦自由ニ轉帳流通スルモノナルヲ以テ一度裏書讓渡ヲ爲スニ於テハ從テ三人以上ノ當事者ヲ生スルニ至ルヘシ然レ其ノ成立ニ於ケル當事者ハ二人ニ過キス是レ爲替手形ト異ナル一點ナリ

小切手ノ定義

小切手トハ或ル金額ヲ銀行ニ寄托シ其ノ幾分ヲ振出人又ハ第三者ノ利益ニ於テ其都度金員ヲ引出スニ付テノ用ニ供スル一種ノ證券ナリ本法第八百十六條ニ其ノ定義ヲ掲ケタリ曰ク  
小切手トハ寄托其他ノ方式ニヨリ銀行ニ對シテ繼續スル信用ヲ有スル者カ其ノ銀行ニ依頼シ之ヲシテ記名セラレタル人又ハ指圖セラレタル人若クハ所持人ニ呈示ヲ受ケ次第或ル金額ヲ支拂ハシムル證券ナリ

ト由是觀之ハ小切手ノ振出人ハ寄托其他ノ方法ニ依リ銀行ニ對シテ繼續スル信用ヲ有スル者ナラサルヘカラス例ヘハ銀行ニ預金アルモ

ノ又ハ交互計算ノ關係アリ銀行ニ對シテ債權ヲ有スル者又ハ信用約  
束ニヨリ銀行ヨリ信用ヲ受クル者ニアラサレハ之ヲ振出スヨリ得ス  
故ニ小切手ノ當事者ノ一方ハ必ラス銀行ニシテ又其ノ一方ハ銀行ニ  
信用アルモノナリトス

約束手形  
及ヒ小切  
手ノ効用

第四項 約束手形及ヒ小切手ノ効用

約束手形ハ甲ヨリ乙ニ支拂フヘキ金圓ニ替ヘテ或ル期日ニ現金ヲ支  
拂フヘキトノ約定證券ナリ而シテ乙ハ裏書ヲ以テ之ヲ丙ニ丙ハ又丁  
ニ之ヲ逐次讓渡スコトヲ得ルハ爲替手形ト異ナル所ナシト雖モ其ノ  
性質ニ於テハ二者ノ間大ニ差異アリ其ノ相異ナル點ニ付テハ後篇ニ  
於テ詳論スヘキニヨリ此ニハ其ノ効用ヲ一言セン  
約束手形モ亦タ爲替手形ト同シク不便ト危險トヲ避ケ且ツ信用ノ手  
段トナルノミナラス融通ノ機關トシテ使用セラル、者ナリ今之ヲ例  
解センニ甲者アリ乙者ヨリ一萬圓ノ價額アル太物ヲ買取リタルトハ

甲者ハ一萬圓ノ現金ヲ支拂ハサル可ラス然レモ甲者ニ於テ現金ヲ所  
持セサルコトアル可シ合シヤ現金ヲ所持スルモ現金ノ計算ヲ煩勞ナリ  
トシ又ハ之ヲ引渡スニ危險アル場合ニ於テ甲者ハ左ノ書式ノ手形ヲ  
作成ス可シ

約束手形

一金一萬圓也

右ノ金額何年何月何日貴殿又ハ指圖人ニ無  
相違御支拂可申候

年月日

甲者 氏名 印

乙者何某殿

此ノ手形ヲ乙者ニ渡スルハ上ニ述ヘタル危險ト不便ヲ免ル、コトヲ  
得ヘキナリ然レモ此ノ手形ハ約定證書ト異ナルモノナリ若シ通常ノ  
約定證書ナランカ何等ノ効用アルヘキ者ニアラス然ラハ兩者ノ差異  
何レニアリヤト云フニ約束手形ナルモノハ現金ト同一質ノ特性ヲ有



スル者ナリ然ラハ如何ナル方法ニヨリ現金ト同シキ作用ヲ爲スヤ他  
 ナシ自在ニ轉帳流通スルヲ以テナリ故ニ乙者之ヲ丙者ニ讓渡シ丙者  
 ハ之ヲ丁者ニ讓渡シ之ヲ以テ通貨ノ代用ト爲スヲ得是レ商取引上  
 一種ノ機關トシテ使用セラル、所以ナリ  
 小切手ニ付テハ既ニ述ヘタルカ如ク銀行ニ繼續スル信用アル者カ其  
 ノ銀行ニ對シ第三者ニ與ヘタル支拂指圖證券ナルカ故ニ其ノ銀行ハ  
 寄托セラレタル金額ヲ限度トシ其ノ小切手ノ呈示ヲ受クルト同時ニ  
 券面ノ金額ヲ支拂フモノナリ左ニ小切手ノ雛形ヲ示サン

小切手

一金百圓也

右ノ金額乙殿若クハ此切手持參人ニ御支拂  
可被下候也

年月日

甲某印

乙銀行殿

手形證券  
ト通常債  
權證書ト  
ノ差異

如斯セハ銀行ニ對シテ寄托金アル者若クハ繼續スル信用アル者ハ一  
 ヲ銀行ニ至リ現金ヲ受取ルノ煩ナク小切手ヲ以テ直ニ通貨ニ代用シ  
 且ツ轉帳流通スルヲ得ルナリ

以上ノ説明ヲ以テ爲替手形約束手形及ヒ小切手ニ關スル要領ヲ示シ  
 マリ然レヒ尙ホ玆ニ一言ス可キハ手形證券ト通常債權證書トノ差異  
 是レナリ通常債權モ亦マ手形ト同シク之ヲ讓渡スコトヲ得ルモノナ  
 リト雖モ兩者ノ間左ニ掲クル所ノ差異アリ

第一 通常債權證書ハ金錢貸借其他ノ權利關係ニ關シ權利者タリ義  
 務者タル當事者間ニ成立スル事實ヲ證明スル一ノ證據物タルニ過  
 キス其ノ之ヲ讓渡スカ如キハ證書ヲ讓渡スニアラスシテ其ノ證書  
 ニ記載シタル債權其者ヲ讓渡スニ外ナラス然ルニ手形證券ハ一方  
 ニ於テハ債權ヲ證明スル證據タル可キモ之レカ主要ナル目的ハ金  
 員ノ融通ニアリ故ニ際限ナク當事者間ニ流通シ恰モ通貨ト異ナル

一 ナシ從テ手形共者ニ於テ通貨ノ代用タル特性ヲ有ス

第二 手形證券ハ轉帳流通ヲ以テ目的トナスカ故ニ融通ノ方法ヲシテ自在且ツ容易ナラシメサル可ラス其ノ融通ヲ容易ナラシムルト同時ニ之レニ隨伴スルノ弊害ヲ防カサル可ラス其ノ流通ヲ容易ナラシムルニハ其ノ手續ヲ簡便ニシテ其ノ弊害ヲ除去スルニハ手續ヲ嚴正ニシ以テ支拂ノ確實ヲ謀ラサル可ラス反之シテ通常債權ハ法律ニ於テ其ノ讓渡ヲ希望スルモノニアラス唯讓渡ヲ許スハ合意ノ自由ヲ制縛スル能ハサルニ出ツルモノナレハ之レカ手續ハ總テ嚴格ナラサルヘカラス

第三 通常ノ債權ヲ讓渡スルハ必ラス之ヲ債務者ニ通知スルカ若クハ其ノ承諾ヲ經サレハ第三者ニ對シテ其ノ効ナシ反之シテ手形ハ單ニ交付ニ因テ効力ヲ生シ決シテ支拂人即チ義務者ニ通知シ若クハ其ノ承諾アルヲ要セサルナリ

支拂人  
リ所持人  
ニ對抗シ  
得ヘカ  
サル抗辯

第四 通常債權ノ讓渡ニ關スルハ被讓人タル義務者ハ讓渡人ニ對抗シ得ラルヘキ總テノ抗辯方法ハ讓受人ニモ亦對抗スルヲ得ヘシ何トナレハ被讓人カ有スル固有ノ權利ハ讓渡ニ依リテ消滅セシムルモノニアラサレハナリ反之シテ手形ニ於テハ支拂人ハ讓渡人タル裏書人ニ對抗シ得ヘカリシ抗辯方法ヲ以テ所持人ニ對抗スルヲ得ス何トナレハ支拂人ハ指圖ノ約款ニヨリ正當所持人ニ對シ義務ヲ負擔シタルモノト見做セハナリ故ニ支拂人ハ所持人ニ對シ左ノ抗辯方法ヲ以テ對抗スルヲ得ス

(甲) 裏書讓渡人ニ對抗シ得ヘカリシ相殺  
故ニ支拂人ハ讓渡人トノ間ニ法律上ノ相殺ノ原由アルモ所持人若クハ讓受人ニ對抗スルヲ得ス

(乙) 裏書讓渡人無能力者ナルモ支拂人ハ此ノ無能力者タルノ故ヲ以テ善意ノ所持人ニ對抗スルヲ得ス然レモ支拂人カ無能

力者ナルルハ之ニ對抗スルヲ得ヘキナリ何トナレハ無能力者  
タル支拂人ハ爲替上ノ義務ヲ有セサレハナリ

(丙) 原因ノ不法

支拂人ハ讓渡人ニ對シ抗辯シ得ラルヘキ原因ノ不法ヲ以テ正當  
所持人ニ對抗スルヲ得ス何トナレハ爲替ハ外觀ノ記載ノミヲ以  
テ融通スヘキモノナレハナリ然レモ支拂人カ暴行若クハ詐欺ニ  
依テ支拂ヲ引受ケタルルハ正當所持人ニ對シ猶ホ抗辯スルヲ  
得何トナレハ此ノ場合ハ支拂人ニ過失アラサレハナリ

第五 通常債權ノ讓渡人ハ其ノ債權ノ成立及ヒ有効ヲ擔保スルノミ  
ニシテ明約アルニアラサレハ其ノ資力ヲ擔保スルモノニアラス縱  
令ヒ其ノ資力ヲ擔保シタリト雖モ債權カ満期トナリタルルハ讓渡  
ノ日ニ於ケル資力ニ付キ其責ニ任スルノミ反之シテ裏書讓渡人ハ  
當ニ其ノ手形ノ成立ヲ擔保スルノミナラス支拂ノ資力並ニ期限ニ

至リ全額ノ支拂ヲ擔保スル者ナリ故ニ償還請求ノ義務ハ免ル可ラ  
ス

時効

第二章 時効

抑爲替手形ニ關スル特別時効ノ制タル歐洲大陸諸國ノ法律皆ナ認ム  
ル所ナリト雖モ其ノ期限ニ至リテハ各國法律ノ規定スル所ロ一様ナ  
ラス英米兩國ニ於テハ六年ヲ以テ時効期限トナシ伊太利ニ於テハ五  
年佛國ニ於テハ支拂要求權ト償還請求權トヲ區別セ共ニ五ヶ年ト  
定メタリト雖モ一千八百六十二年ノ法律ヲ以テ之ヲ短縮セリ獨逸並  
ニ奧地利ニ於テハ之ヲ區別シ支拂要求權ヲ三年トシ償還請求權ニ付  
テハ猶ホ之ヲ短縮セリ我手形法ハ其ノ期限ニ付テハ獨逸ノ制ヲ採リ  
支拂要求權ト償還請求權トヲ區別セサル點ニ付テハ佛國ノ制ヲ採用  
シタル者ノ如シ蓋シ時効期限ハ長期ヲ可トスルカ將々短期ヲ可トス  
ルカノ問題ハ立法上頗ル重要ナリト雖モ今之ヲ喋々スルノ必要ナシ

然レモ予ノ卑見ヲ以テセハ昔時往來交通ノ開ケサル頃ニ於テハ或ハ長期ノ時効ヲ可トセシナラン然レモ交通ノ道大ニ發達シ瀛車瀛船ノ便アリ加フルニ迅速快利ナル電信ノ設ケアル萬里比隣ノ今日ニ於テハ長期ノ時効ヲ設クルノ必要ナカル可シ我立法者カ時効期限ヲ三年ト定メタルハ蓋シ適當ナル可シ而シテ此ノ時効ニ關シテ研究ヲ要スル點三アリ曰ク時効ノ起算中斷及ヒ効力是レナリ以下逐次之ヲ説明シ最後ニ此ノ時効ノ他ノ時効ト異ナル點ヲ論述スヘシ

時効ノ起算

第一項 時効ノ起算

時効ノ制タル畢竟權利者ノ懈怠ヲ戒シムルニ過キササルモノナレハ時効發生ノ起算點ハ要求權ノ生シタル日ヨリ起算スルヲ以テ原則トナサ、ル可ラス然ルニ佛國商法ニ依レハ時効ハ拒證書作成ノ日ヨリ起算シ若シ裁判上ノ中斷アルトハ中斷ノ日ヨリ起算スルコトセリ(佛商第一八九)然レモ學說ト裁判例トハ法文ノ所謂拒證書作成ノ日トハ拒

爲替支拂ノ要求權

證書ヲ作リタル日ヨリ時効ノ期限ヲ經過セシムルニアラス其ノ起算點ハ拒證書ヲ作ルヘキ日即チ支拂期限ノ翌日タルヲ云フモノナリト云ヘリ伊國ニ於テハ拒證書ヲ作リタル日ヨリ五年又拒ヲ受ケザルトキハ拂期日ヨリ計算シテ五年トセリ英國ニ於テハ定期拂ノ手形ニ付テハ其ノ期限ノ盡キタル日ヨリ起算シ所持人ヨリ振出人裏書讓渡人ニ對シテハ支拂拒絕ヲ通知シタル日ヨリ期間ノ進行ヲ始ムルモノトセリ獨逸爲替條例モ亦タ英國ト同シク支拂要求權ハ支拂期限ノ滿了シタル日ヨリ起算セリ我商法第七百十二條ニ依レハ爲替手形ノ支拂人又ハ約束手形ノ振出人ニ對スル爲替上ノ請求權ハ滿期日ヨリ三ヶ年ヲ以テ時効ニ罹リ又所持人若クハ裏書讓渡人ヨリ振出人若クハ前裏書讓渡人ニ對スル償還請求權ハ請求ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ三ヶ年ヲ以テ時効ニ罹ルト今左ニ各場合ニ付キ之レヲ詳論セン

第一 爲替支拂ノ要求權

支拂要求權トハ所持人カ爲替手形ノ支拂人又ハ引受人若クハ約束手形ノ振出人ニ對シ其ノ券面記載ノ金額ノ支拂ヲ請求スル權利ナリ此ノ權利ヲ有スル所持人ハ支拂期限到達シタルキ其ノ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ請求シ若シ支拂人其ノ支拂ヲ拒ミタルキハ拒證書ヲ作リ償還請求ヲ爲ス可キナリ若シ所持人ニ於テ期限滿了スルニモ拘ハラズ此ノ權利ヲ行使セスシテ三年ヲ經過スルニ於テハ支拂人ハ免責時効ニ依リ義務ヲ免ル、モノトス何トナレハ所持人カ其ノ權利ヲ行使セサルハ自己ノ懈怠ニシテ法律ハ其ノ權利ヲ拋棄シ若クハ其ノ實行ヲ爲シ了リタル者ト見做セハナリ

償還請求權 第二償還請求權

償還請求權トハ所持人若クハ裏書讓受人カ其ノ手形ノ支拂ヲ拒マレタルキニ於テ振出人又ハ前裏書讓渡人ニ對シ償還ヲ要求スル權利ニシテ此ノ權利ヲ分テ二トス左ノ如シ

甲 所持人カ振出人又ハ裏書讓渡人ニ對シテ權利ヲ有スル場合

此ノ場合ハ手形所持人カ支拂人ヨリ支拂ヲ拒マレタルキ振出人又ハ裏書讓渡人ニ對シ手形面ノ金額ヲ要求スル權利ナリ故ニ此ノ權利ハ仕拂期日ニ至リ仕拂人カ支拂ヲ怠ルノミヲ以テ生スルモノニアラス或ル法式上ノ行爲即チ拒證書ヲ作り之レカ通知ヲ爲シタルニヨリ始メテ其ノ權利ヲ生スルヲ以テ時効ノ起算モ亦又此日ヨリ始マルモノトス

乙 償還要求ニ對シ支拂ヲ爲シタル裏書讓渡人カ權利ヲ有スル場合

凡ソ爲替上ノ義務ハ漸次上ニ逆戻スルモノトス此レ手形ノ轉輾流通スル性質ヲ有スルカ故ナリ例ヘハ丁ヨリ丙ニ丙ヨリ乙ニ乙ヨリ甲ニ戻ルカ如シ故ニ最終ノ讓渡人ヨリ上振出人ニ至ルマテ爲替上ノ義務ニ付テハ連帶ノ責任ヲ有シ一人其ノ義務ヲ履行シ

マレハトテ他ノ當事者ハ其ノ義務ヲ免ルヘキニアラス故ニ所持人ヨリ償還ノ要求ヲ受ケ之レカ支拂ヲ爲シタル者ハ自己以前ノ讓渡人又ハ振出人ニ對シテ償還要求權ヲ有スルナリ此ノ場合ニ於テハ敢テ拒證書ヲ作成スルノ必要ナキカ故ニ最後ノ裏書讓渡人ハ前ノ讓渡人又ハ振出人ニ對シテ償還ヲ要求スルニハ之レカ通知ヲ爲スノミヲ以テ償還請求ノ權利發生スルモノナリ(七八二)故ニ時効期限ハ權利發生ノ日即チ通知ノ日ヨリ起算スルモノナリトス

第三 一覽拂又ハ一覽後定期拂ノ手形ノ要求權

爲替手形ノ一覽拂トハ支拂人其ノ手形ノ支拂ノ呈示ヲ受ケ之ヲ一覽シテ其ノ真正ナルトヲ認メタル片ハ直ニ支拂ヲ爲スヘキ約束アルモノヲ云フ而シテ此ノ手形ニ於テハ固ヨリ確定ノ支拂期日ナキヲ以テ之ヲ呈示スル迄ハ要求權ノ生スルコトナシ故ニ要求權ハ手形

一覽後  
定期拂  
手形ノ  
要求權

ノ呈示ト同時ニ發生スルヲ以テ時効ノ期限モ要求權發生ノ日即チ呈示ノ日ヨリ起算スルモノトス然レモ此ノ呈示タルヤ所持人ノ隨意ナルヲ以テ若シ一定ノ期間ナキ片ハ之レカ所持人タル者永遠ノ日子間呈示ヲ爲サス爲メニ支拂ノ如何効力ノ有無等ヲシテ不明ニ歸セシムルノ弊アリ是レ本法ニ於テ呈示期間ヲ二ケ年ニ制限シタル所以ナリ故ニ振出ノ日附後二ケ年間呈示ヲ爲サ、ル片ハ其ノ呈示期間滿了ノ日ヨリ時効ヲ起算スルモノトス又一覽後定期拂ノ手形ニ於テハ別ニ短期ノ呈示期間アラサル片ハ一覽拂手形ト同シク振出日附後二ケ年間ニ呈スヘキモノトセリ故ニ呈示期間ノ定メアル片ハ其ノ期間ノ滿了日ヨリ時効ヲ起算シ若シ此ノ期間ノ定メナキ片ハ振出日附後二ケ年ヲ以テ呈示期間ト定メタルヲ以テ時効ノ起算ハ其ノ法定期間ノ滿了日ヨリ始マルモノナリ

時効ノ中  
斷

第二項 時効ノ中斷

民法證據編第九條ニ依レハ通常民事ノ時効ハ(一)裁判上ノ請求(二)勸解上ノ召喚又ハ任意ノ出席(三)執行文呈示又ハ催告(四)差押(五)任意ノ追認ニ依テ中斷シ又商事ノ時効ハ(一)履行ノ爲メ債務者ニ明示シテ爲シタル催告(二)債權ノ取立若クハ擔保ノ爲メ債務者ニ對シテ爲シタル債權者ノ裁判上若クハ裁判外ノ行爲(三)書面上ノ支拂約定(四)主タル物若クハ從タル物ニ關シテ債務者ノ爲シタル一分ノ支拂ニ依リ中斷スルモノトセリ然ラハ手形ニ關スル時効モ亦此等ノ原由ニ依リ中斷セラルヘキモノナルカ否ナ決シテ然ラス手形ニ關スル時効中斷ノ原由ハ商法第七百十二條第二項ニ別段ノ規定アリ曰ク

時効ハ訴ヲ起シ其他各個ノ裁判上ノ手續ヲ爲スニ因リテ中斷セラレ又裁判所ノ判決ニ因リ又ハ書面ニ明示シテ債務ヲ承認シ新債務トナシタルニ因リテ消滅ス

爲替時効ニハ中斷

ト此ノ法文ニ依レハ爲替時効ニハ中斷ト消滅ト二個ノ場合アルヲ

ト消滅トノニアリ時効ノ中斷

認知スヘシ左ニ之ヲ分説セシ

第一 時効ノ中斷

中斷ノ原由ハ裁判上ノ手續ヲ爲スノ外アラス而シテ爲替上ノ訴訟ニ付テハ民事訴訟法第五編ニ爲替訴訟トシテ特別ノ規定アリ例ヘハ支拂地ノ裁判所又ハ被告カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ裁判所ニ起訴シ得ルカ如ク又訴狀ニハ特ニ爲替訴訟トシテ訴フル旨ヲ掲ケサル可ラサルカ如キ是ナリ故ニ爲替上ノ時効ハ此ノ手續ニ依リ訴ヲ起シタルカ或ハ破産ニ付キ届出ヲ爲シタルカ或ハ民事訴訟法第七百七十七條以下ノ規定ニ從ヒ(公示催告ノ手續ヲ爲シタルニ依リ中斷スルモノトス之ヲ要スルニ爲替時効ハ裁判上ノ手續ヲ爲スニアラサレハ中斷スルヲ得ス此ノ規定タル畢竟爲替ヨリ生スル紛議ヲ可成速ニ止息セシメ爲替ノ流通ヲシテ圓滑ナラシムルノ趣旨ニ外ナラス而シテ時効カ一旦中斷セラレタルハ更ラニ中斷手續ノ

X  
X  
X

時効ノ消滅

## 第二 時効ノ消滅

終リタル日ヨリ起算シテ三ケ年ヲ以テ再ヒ時効期間ヲ滿了スベシ

時効ノ消滅トハ裁判所ノ判決ニ依リ爲替義務者タル被告カ敗訴シ其ノ判決ニ因テ權利ニ變更ヲ生シタル場合又ハ相手方ニ於テ明約ニ依リ爲替義務ヲ承認シ更ラニ新ナル義務ヲ生シタル片例ヘハ乙者ハ甲者ニ對シテ負擔スル手形上ノ債務ヲ通常貸借證書ニ書替ヘタル時ノ如キ是ナリ此ノ二個ノ場合ニ於テハ爲替上ノ義務ハ全ク他ノ權利ニ變更シタルモノナレハ爲替ノ特別時効ヲ以テ之レニ適用ス可ラサルハ勿論ニシテ之ヲ時効ノ消滅ト云ハンヨリハ寧ロ更改ト云フヘキナリ抑判決若クハ更改(原由ノ更改)アリタル片ハ通常時効ノ場合ニ於テハ一ノ中斷方法タルニ過キス然ルニ茲ニ消滅トナシタルハ如何ト云フニ是レ爲替ノ方式的性質ノ然ラシムル所ナリ然ラハ此ノ場合ニ於テハ通常商事ノ時効ヲ適用シテ六年トナス

可キカ將々民事ノ時効ヲ適用シテ三十年トナス可キカト云フニ夫ノ裁判所ニ於テ敗訴ヲ言渡シ其ノ言渡確定シタル片ハ其ノ判決ハ即チ一ノ證書トナリ爲替上ノ關係ハ全ク絶止シテ裁判執行權ヲ生スルニ至ル而シテ其ノ裁判執行權ハ我國民法證據編ニ依レハ三十二年間効力アリト雖モ未々民法ノ實施ナキ今日ニ於テハ去ル明治十一年三月十一日司法省達出訴期限規則ニ依リ裁判確定ノ日ヨリ起算シテ五ケ年間効力ヲ有スルモノナリ然ラハ裁判確定セスシテ三ケ年ヲ經過シタル片ハ如何此ノ場合ニ於テ時効ハ訴ノ提起ニ因テ中斷セラル、カ故ニ裁判上ノ手續ノ止ミタル日ヨリ起算シテ更ラニ三年ヲ經過セサレハ時効ニ罹ルコトナシ又訴訟進行中ニ三年ヲ經過シタル片ハ訴訟繫屬中ハ權利ニ時効ナシトノ羅馬以來ノ格言ニヨリ三年ヲ經過スルモ時効ヲ生スルコトアラサルナリ

然レモ更改ノ場合ニ於テハ普通ノ時効ヲ適用シテ三十年ニテ時効



ニ罷ルモノト云ハサルヲ得ス何トナレハ此ノ場合ニ於テハ爲替タル舊義務ヲ更改シテ通常民事上ノ新義務トナシタルヲ以テ手形所持人ハ最早手形上ノ權利者ニアラスシテ民事上ノ權利者ナレハナリ然レモ民法ノ實施ナキ今日ニ於テハ明治六年十一月五日第三百六十二號布告出訴期限規則第三條ニ依リ返濟期日後五ケ年ヲ以テ時効ヲ得ルモノトセサル可カラス而シテ更改ノ場合ニ於テ單ニ義務者カ義務ヲ認メタル通信書狀アルニ過キサルハ更改アリタリト爲ス可ラス反之シテ手形券面ニ爲シタル認知ノ記載ハ更改ノ性質ヲ有スルコトアリ例ヘハ取引計算中負債ヲ認メタルハ更改アリトス然レモ爲替延期ハ更改ト云フコトヲ得ス此ノ場合ハ單ニ爲替ノ支拂ヲ延期スルノミニシテ時効ヲ消滅スルモノニアラサレハナリ唯合意ニ依リテ期限ヲ改メタルカユヘ恰モ新爲替ヲ作成シタルト同一ニシテ從テ時効ハ新期間ヨリ起算スヘキナリ

中斷ノ場合ト消滅ノ場合トノ差異

以上二個ノ場合ヲ明瞭ナラシムル爲メ左ニ其ノ差異ヲ示サン

第一 時効中斷ノ場合ハ更ラニ爲替上ノ時効進行スルカ故中斷ノ日

ヨリ更ラニ三年ヲ經過シテ時効ヲ滿了スルモノトス反之消滅ノ場合

合ニ於テハ判決ニヨリ消滅シタルハ其ノ判決確定シタル日ヨリ

五ケ年又更改ノ場合ニ於テハ其ノ更改アリタル日若クハ返濟期限

アルハ其ノ期限ヲ經過シタル日ヨリ五ケ年ナリトス

第二 時効中斷ノ場合ハ爲替上ノ權利關係ヲ消滅セシムルモノニア

ラス從テ爲替上ノ法規ヲ適用スト雖モ消滅ノ場合ハ爲替上ノ權利

義務ハ消滅シテ民法上ノ義務ヲ發生スルカ故ニ爲替上ノ法規ヲ適

用スルコトヲ得ス

時効ノ効力

第三項 時効ノ効力

時効ノ効力ヲ述フルニ當リ先ツ時効ノ性質ニ付キ一言セサル可ラス佛國ニ於テハ千六百七十三年ノ勅令ヲ以テ爲替手形ハ五ケ年後ニ至

時効ノ性質

レハ拂濟ニナリタルモノト見做セリ故ニ佛國ニ於テ手形ノ時効ハ支拂ノ推測ニ基クモノト云ハサル可ラス故ニ同國ニ於テハ此ノ推定ハ反證ヲ許ス可キヤ否ニ付キ學者間ニ議論ナキニアラス然レモ本法ノ主義トスル所ハ債權者ノ懈怠ヲ戒シメ爲替上ノ權利關係ヲ速ニ結局セシメ流通ノ圓滑ヲ期スルニアリ約言スレハ本法ニ於ケル時効ナルモノハ債權者ノ懈怠ニ基ク失權ノ結果ニ外ナラス故ニ反證ヲ許スハ勿論其ノ効力ニ至リテモ佛國ト異ナル所アリ第七百十四條ニ曰ク手形ヨリ生スル云々請求權ヲ時効ニ因リ失ヒタルモノハ其ノ失ヒタルニ拘ハラズ支拂人振出人又ハ裏書讓渡人ニ對シ此等ノ者カ支拂ハサル爲替金若クハ取戻シタル爲替資金ニ因リ己レヲ利シタル限度ニ於テ右請求權ヲ主張スルコトヲ得ト元來爲替ニハ必ラス所持人カ裏書讓渡ヲ受クル爲替代及ヒ支拂人又ハ償還請求ニ對シテ拂渡スヘキ爲替券面上ノ金額即チ爲替金又ハ

爲替支拂ニ供スヘキ資金ナルモノアリ而シテ第一ノ爲替代ノ請求權ニ付テハ爲替上ノ時効ヲ適用スルコトナシ何トナレハ爲替讓渡ノ代價ナルモノハ通常ノ取引ニシテ爲替法ニハ關係ナキヲ以テナリ故ニ買主タル讓受人代價ヲ拂ハサル片ハ其ノ讓渡人ノ有スル權利ハ代價請求ノ權即チ通常ノ債權ナルヲ以テ普通民事ノ時効ヲ適用スヘキナリ然レモ爲替金即チ支拂又ハ償還請求權ハ爲替時効ニ係ルヘキモノニシテ即チ所持人ニ於テ中斷ノ手續ヲ爲サス三ケ年ヲ經過スル片ハ最早時効ニ罹リ所持人ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス尤モ支拂人振出人等カ時効ヲ得タルニ拘ハラズ任意ニ之ヲ支拂フハ敢テ禁スル所ニアラスト雖モ法律ハ強テ之ヲ支拂ハシムル能ハス然ラハ所持人ハ三年ヲ經過スルマテ之レカ要求ヲ爲サ、ル片ハ空紙ヲ握有スルト一般何等ノ効ヲモ爲サ、ルカト云フニ唯彼ノ資金ニ付テハ尙ホ權利ヲ有スルナリ左ニ其ノ理由ヲ詳論スヘシ

〔夫〕レ爲替資金ナルモノハ爲替ノ支拂ヲ目的トシ契約ニ從ヒ爲替所持人ニ屬スルモノニシテ之ヲ取立ツル迄ハ一時支拂人ノ掌中ニアルノミ已ニ所持人ニ屬スルモノトセハ其ノ權利タル決シテ消滅スルモノニアラス而シテ此ノ點ニ付テハ歐洲ニ於テ學者間多少議論ナキニアラス其ノ第一說ハ爲替所持人爲替要求權ヲ時効ニ因テ失ヒタル片ハ振出人又ハ裏書人ニ對シテ償還要求ノ權利ナシト雖モ資金已ニ支拂人ノ手ニ渡リタル片ハ所持人ハ之ニ對シテ資金ノ請求ヲ爲スヲ得可シト又第二說ニ曰ク時効ニヨリ所持人カ振出人又ハ支拂人ニ對シテ要求權ヲ失ヒタル片ハ此等ノ者カ已レヲ利シタルトテ證明シテ資金ノ請求ヲ爲スヲ得ヘシ然レモ爲替振出人唯其ノ名ノミニシテ其實ハ他ノ囑托ニヨリタルカ又ハ取引上ノ關係アル者ノ計算ヲ以テ振出しタル片ハ故ナク已レヲ利シタル者ト云フヲ得サレハ之ニ對シテ資金ヲ請求スルヲ得ス又此ノ理由ニヨリ裏書讓渡人ニ對シテハ請求スル

ヲ得ス何トナレハ裏書讓渡人ハ爲替ヲ振出シタルニアラス唯之ヲ買ヒ之ヲ賣リタルニ過キスシテ所持人トノ關係ハ爲替ノ代價ナルヲ以テ敢テ不當ニ利得シタル者ト云フヲ得ス故ニ之ニ對シテ資金ヲ請求スルヲ得スト然ルニ我立法者ハ此說ヲ採用セザリシ其ノ理由ハ裏書人ト雖モ資金ヲ以テ已レヲ利スルトアレハナリ例ヘハ振出人唯其名ノミニテ受取人ヨリ支拂人ニ對シ爲替資金ヲ差送クルノ義務ヲ有スル場合又ハ振出人ニシテ第一裏書讓渡人タル片即チ自己ノ差圖ニテ振出シタル場合はナリ斯カル場合ニ於テハ讓渡人ト雖モ不當ニ利得スルモノナレハナリト

由是觀之ハ爲替上ノ時効ハ單ニ支拂人ニ對シ要求ノ權利又裏書讓渡人若クハ振出人ニ對シテ償還請求權ヲ失フニ過キスシテ資金ニ付テハ尙ホ之ヲ請求スルヲ得ヘキナリ然レモ左ノ二個ノ點ニ付キ注意スルヲ要ス

第一支拂人カ支拂ハサル資金ニ因リ已レヲ利シタル限度タルヲ

第二振出人又ハ裏書讓渡人カ資金ニ因リ已レヲ利シタル限度タル

故ニ支拂人既ニ資金ヲ受取リタル場合又ハ振出人資金ヲ支拂人ニ送付シタルモ時効ニ依リ請求權消滅シタルヲ以テ資金ヲ取戻シタル場合又ハ資金ヲ支拂人ニ送付セサル場合若クハ裏書讓渡人カ已レヲ利シタル場合ナリトス而シテ又之ヲ請求スルハ資金ニ限ルモノナルカ故ニ之ヨリ生スル利子等ハ請求スルヲ得ス且亦此ノ請求權ハ不當ノ利得ニ基クモノナルカ故ニ所持人ニ於テ之ヲ證明セサル可ラス

第四項 爲替上ノ時効ト他ノ時効トノ差異

爲替時効ト他ノ時効トノ差異

第一 爲替上ノ時効ハ三年ニシテ民事ハ三十年又商事ハ通常六年ナリトス此ノ差異アル理由ハ爲替手形ハ恰モ通貨ト同シク流通スル

モノナレハ其ノ爲替タルヤ當事者各個ノ資産ニ關係アルヲ猶ホ貸借ノ場合ト異ナルヲナシ故ニ之ヲ長期ノ時効ニ依ラシムルキハ其間當事者ノ財産上變更ヲ生スルノミナラス手形ハ流通ヲ主トスルモノナレハ成ルヘク其ノ關係ヲ完結シ紛争ヲ未萌ニ防止スルハ最も必要トスル所ナレハナリ

第二 爲替上ノ時効中斷ハ裁判上ノ手續ニ因ラサル可ラス民事及ヒ商事ノ時効中斷ハ裁判外ノ行爲ニ因ルヲアリ

第三 爲替時効ハ時効消滅ナルモノアリ民事及ヒ他ノ商事ノ時効ニ比ハ斯カル場合ナシ

第四 爲替手形ハ其關係者ニ不完全ノ連帶ヲ爲スニ過キス故ニ時効中斷及ヒ消滅ノ方法ハ關係者ノ利害ニノミ効力ヲ有スルノミニシテ他ノ爲替債主又ハ負債主ニ關係スル者ニアラス故ニ裏書讓渡人ノ一人ニ對シ訴訟ヲ起シタル爲メ他ノ償還義務者ニ對スル時効ハ

中斷ノ効ナク又裏書人ノ一人ヨリ訴訟ヲ起スモ他ノ償還要求者ノ權利ニ時効經過ノ障礙ヲ生スルコトナシ然レモ一人ニシテ他ノ諸權利者ノ代人トシテ訴訟ヲ起シタルハ格別ナリ反之通常民事又ハ商事ノ時効中斷ノ効力ハ他ノ連帶義務者ニ及フモノトス

第五 爲替上ノ時効ノ効力ハ單ニ爲替金ノ請求權ニ止マリ資金ニ付キ權利ヲ失フモノニアラス故ニ權利者ハ不當利得ノ名義ヲ以テ更ニ訴求スルヲ得ヘシ反之通常民事又ハ商事ノ時効ハ絶對的ニ効力ヲ有スル時効ヲ得タルモノナルヲ以テ任意ニ其ノ時効ヲ放棄セサル限リハ債權者ノ權利ハ全ク消滅スルモノトス

法律ノ適用

第三章 法律ノ適用

凡ソ爲替ハ貨幣運送ノ不便ト危險トヲ避ケ得ルノ利益アル者ナレハ通例東西地ヲ隔ツル者ノ間ニ使用セラル、ヲ目的トス故ニ爲替關係者ハ一國內ニ於テ地ヲ異ニスルノミナラス數國人間ニ於テ關係者ヲ

生スルコトアリ例ヘハ日本東京ノ甲者ヨリ英國倫敦ノ乙者ニ向ケテ爲替手形ヲ振出シ倫敦ニ於テ引受ヲ爲シタル後チ佛國巴里ニ於テ丙者ニ裏書讓渡ヲ爲シ倫敦ノ乙者ニ支拂ヲ求メタルニ支拂ヲ拒ミタルニ付キ東京ノ甲者ニ償還請求ヲ爲サンカ爲メ送還スル如キ又例ヘハ米國桑港ノ甲者東京ノ乙者ニ向テ或ル金額ノ爲替ヲ振出シタルニ東京ノ支拂人其ノ支拂ヲ引受ケタル後チ其ノ手形ニ裏書シテ更ラニ之ヲ獨逸伯林ノ丙者ニ讓渡シ丙者又之ヲ東京ノ丁者ニ讓渡シタリ然ルニ最後ノ所持人タル丁者東京ノ支拂人ニ對シ支拂請求ヲ爲シタルニ其ノ支拂ヲ拒ミタルヲ以テ已ムナク之ヲ桑港ノ甲者ニ送還シテ請求ヲ爲スカ如キ是レナリ斯ル場合ニ於テハ何レノ國ノ法律ヲ適用スヘキカ之ヲ定ムルコト最モ必要ナリ何トナレハ之レニ關スル各國其ノ法律ヲ異ニスレハナリ例ヘハ我國及ヒ佛國ニ於テハ爲替ナル語ヲ券面ニ記スルヲ要セサレモ獨逸ニ於テハ之ヲ明記スルヲ要シ又英國ニ於

テハ爲替義務ノ原因ヲ表示スルヲ必要トセサレモ佛國ニ於テハ之ヲ必要トスレハナリ本法第七百九條ハ其ノ原則ヲ掲ケタリ曰ク

爲替義務ハ其ノ負擔ニシテハ手形ニ記載シタル地ノ法律ニ從ヒ若シ其ノ地ヲ記載セサルハ債務者ノ住所ノ地ノ法律ニ從ヒテ之ヲ定メ又履行ニ關シテハ履行ヲ爲スヘキ地ノ法律ニ從ヒテ之ヲ爲替上ノ權利ヲ行使シ及ヒ保全スル爲メニスル行爲ハ其ノ行爲ノ地ノ法律ニ從ヒテ之ヲ爲スヲ要ス但シ手形ニ其他ノ地ヲ記載シタルハ此限リニアラス

ト本條ニ依レハ左ノ場合ニ於テ法律ノ適用ヲ區別セリ

第一 爲替義務ノ負擔ニ關スル場合

爲替義務ノ負擔トハ券面記載ノ金額ヲ支拂フ義務ヲ云フ此ノ義務ハ爲替ノ法式的ナル性質ニ基キ券面記載ノ地ノ法律ニ從フヘキモノナルカ故ニ前第一例ノ場合ニ於テハ甲者ノ振出シタル手形ニシ

爲替義務ノ負擔ニ關スル場合

テ我國ノ法律ニ適スルハ他ノ諸國ノ法律ニ適合セサルモ効力アリ又第二例ノ場合ニ於テハ米國ノ法律ニ適合セハ効力アルモノトス又我國ニ於テハ前述爲替ナル記載ヲ必要トセサルカ故ニ我カ法律ニ基キテ作りタル記載ナキ手形ヲ伯林ニ向ケ振出シタルニ伯林ノ支拂人ハ法式ニ違背スルヲ理由トシテ其ノ手形ノ無効ヲ主張スルヲ得ズ然レモ振出地ヲ記載セサルハ支拂地ノ法律ニ依ルヘキカ故ニ此ノ場合ニ於テハ獨逸ノ法律ヲ適用シテ無効トセサル可ラズ故ニ外國ニ向テ振出ス爲替ハ振出地ヲ記載スルハ最モ必要ナリ尙ホ茲ニ一言スヘキハ能力ノ一是レナリ而シテ此ノ能力ノ一ハ其ノ國ノ法律ニ從フモノトス故ニ爲替上ノ能力ハ如何ナル場合ト雖モ其ノ國ノ法律ニ從フモノナルヤノ疑アリ例ヘハ我國ニ於テハ婦人ト雖モ爲替上ノ能力アリト雖モ佛國ニ於テハ婦人ニ此ノ能力ナシト假定センニ佛國ノ婦人我國ニ於テ爲替ヲ振出シタルハ我國

能力ニ付法律ノ適用

ノ法律ニ從ヒ爲替上ノ能力者ト見做スヘキカ將々佛國ノ法律ニ從  
 ヒ無能力者ト見做スヘキカノ點是レナリ獨逸爲替法ニ於テハ外國  
 人ノ爲替能力ハ其國ノ法律ニ依テ判定スヘキモノト定メタリト雖  
 且其ノ爲替タル果シテ外國人ヨリ出タルカ將々內國人ヨリ出タル  
 カハ爲替券面上ニテハ之ヲ判定スルヲ能ハス加之ナラス手形ハ外  
 觀ノミニヨリ効力ヲ生スル者ナレハ通常ノ契約ニ比シ其ノ區域ヲ  
 廣大ナラシメサル可ラス本法ハ此點ニ付キ別ニ明文ナキモ券面ニ  
 記載シタル地ノ法律ニ從フヘキ精神ナルヤ明ナリ然ル所以ノ者ハ  
 凡ソ契約ノ効力ハ取結ヒタル地ノ法律ニ從フハ一般法律ノ原則ナ  
 レハナリ

履行ニ關  
スル場合

第二 履行ニ關スル場合

履行ニ關スル場合ハ履行地ノ法律ニ從フヘキモノトス茲ニ所謂履  
 行トハ履行スヘキ義務ヲ云フニアラス負債主ノ義務ヲ履行スルニ

當リ其ノ履行ニ關係スル場合ヲ云フナリ例ヘハ履行スヘキ國ニ於  
 テ其ノ履行期日カ祭日ニ當ルルハ其ノ翌日履行スヘシトノ規定ア  
 ルルハ其ノ國ノ法律ニ從ヒ其ノ翌日履行スルカ如キ又例ヘハ日本  
 ニ於テ履行スヘキ爲替ニシテ券面ニ何等ノ記載ナキルハ日本ノ法  
 律ニ從ヒ銀貨若クハ紙幣ヲ拂フヘキカ如キ是レナリ

權利ノ行  
使及ヒ保  
全ノ場合

第三 權利ノ行使及ヒ保全ノ場合

權利ノ行使及ヒ保全トハ手形ヲ呈示シ訴訟ヲ提起シテ爲替時効ヲ  
 中斷スルカ如ク又ハ償還請求ノ通知ヲ爲シ若クハ拒證書ヲ作ルカ  
 如シ此等ノ行爲ハ凡テ其ノ行爲ヲ爲スヘキ地ノ法律ニ從フヘキモ  
 ノトス何トナレハ其ノ行爲ヲ爲ス者ニ於テ法律上ノ効力ヲ得ンカ  
 爲メ爲スモノニシテ若シ振出地ノ法律ニ依ラシメントセハ日時ト  
 費用トヲ空費スヘキヲ以テナリ而シテ其ノ行爲ヲ爲スヘキ地ハ通  
 常支拂地又ハ負債者ノ住地ナルヘシト雖ヒ亦々他ノ地ノ法律ヲ適

用スルコトアルヘシ彼ノ爲替ヲ外國ニ向テ振出シタル片外國ニ於テ引受ヲ爲シタル後再ヒ外國ニ於テ裏書讓渡ヲ爲シタルニ其ノ支拂ヲ得サル片ハ外國ノ法律ニ依テ拒證書ヲ作ラサル可ラス例ヘハ東京ヨリ米國桑港ニ向テ振出シタル爲替ニシテ桑港ノ支拂人カ引受ヲ爲シタル後他ノ外國ニ於テ裏書讓渡シテ爲シタルトセンニ若シ其ノ手形ニシテ支拂ヲ拒マレタル場合ニ其ノ裏書ニ倫敦ノ地ヲ記シタル片ハ即チ英國ノ法律ニ從ヒ償還請求ニ關スル行爲ヲナスカ如キ是レナリ然ラハ時効ニ付テハ如何ト云フニ時効ナル者ハ爲替ノ効力ニ關スルモノナルカ故ニ外國ノ爲替ハ外國ノ法律ニ依リ効力ヲ有スルトノ原則ニ基キ其國ノ法律ニ從フ可キモノナリ

### 第二編 爲替手形

#### 第一章 爲替手形ノ方式

##### 第一項 爲替手形作成ノ要件

爲替手形作成ノ要件

既ニ前編ニ於テ詳論シタル如ク手形流通ノ圓滑ナルト否トハ一ニ信用ノ厚薄如何ニアリ信用ヲシテ確的ナラシメント欲セハ通貨ト同一ナル効力ヲ有セシメサル可ラス通貨同一ノ効力ヲ有セシメント欲セハ法律上之レカ方式ヲ嚴確ニシ以テ授受者ヲシテ損失ノ危険ナカラシメサルヲ要ス是レ手形作成ノ要件ニ關シ本法第七百十六條ノ規定アル所以ナリ曰ク

爲替手形ニハ左ノ諸件ヲ記載スルヲ要ス 第一振出ノ年月日及ヒ場所 第二爲替金額但シ文辭ヲ以テ記ス可シ 第三支拂人ノ氏名 第四受取人ノ氏名又ハ其指圖セラレタル人若クハ所持人ニ支拂フ可キ旨及ヒ満期日并ニ支拂地 第五振出人ノ署名捺印ト而シテ此ノ要件ノ一ヲ缺キタル手形ハ如何ナル効力ヲ有スルヤト云フニ第七百條ニ之レカ明文ヲ掲テ曰ク

要件ヲ缺キタル爲替ノ効力

法律上ノ要件ヲ掲ケサル手形又ハ其ノ要件ト共ニ違法ノ事項ヲ掲



ケタル手形又ハ旨趣カ互ニ牴觸シ其ノ牴觸ヲ法律ノ許セル方法ヲ以テ取除クコトヲ得サル手形ハ無効ナリ

ト又第七百七條ニ曰ク

手形上ノ重要ナラサル附記ハ法律上ノ要件ニ適スル手形ノ旨趣ノ効力ヲ妨クルコトナク又爲替上ノ義務ヲ生セシムルコト無シ

ト本法ノ規定スル所口此ノ如シ而シテ之ヲ歐洲諸國ノ法律ニ參照スルニ佛國ニ於テハ之ヲ商法第百十條ニ掲ケテ曰ク爲替手形ハ一ツノ地ヨリ他ノ地ニ向テ差立ツルモノトス爲替手形ニハ其日附ヲ記ス可シ又辨濟ス可キ金額辨濟ス可キ者ノ姓名辨濟ヲ成就ス可キ時期及ヒ場所且ツ貨幣物品ノ計算又ハ其他ノ方法ニ依リ對價ヲ受取リタルコトヲ記載ス可シ手形ハ第三者若クハ振出人ノ指圖式ヲ以テ作成スルモノトスト伊國法律モ恩ホ之ト同一ナリ(伊商第一九六)又獨逸爲替條例第四條ニ曰ク爲替手形ノ要件ハ第一手形面ニ爲替手形ナル言辭ヲ記

載シ外國語ヲ以テ振出す手形ニアリテハ其外國語ニテ同上ノ記載、第二支拂金額ノ記載、第三支拂期限ノ記載、但シ其期日ニ總金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ必要トシ其期日ハ左ノ如ク定ム可キモノトス(一)一定ノ期日(二)一覽又ハ一覽後一定ノ期日(三)祭日(四)受取人又ハ其指圖人ノ氏名又ハ稱號(五)振出人ノ氏名又ハ其稱號(六)振出地及ヒ年月日ノ記載(七)支拂人ノ氏名又ハ稱號(八)支拂地ノ記載但シ手形面ニ於テ特ニ支拂地ヲ記載スルニアラサレハ名宛人ノ氏名又ハ稱號ニ記載シタル土地ヲ以テ支拂地及ヒ名宛人ノ住居地ト見做スト

今ヤ手形ノ要件ヲ說示スルニ當リ最モ注意ヲ要スルハ凡ソ手形ハ必ス書面ナラサルヘカラサルコト是ナリ蓋シ此ノ要件タル第七百十六條ニ記載セスト雖ヒ手形ノ定義ヲ掲ケタル第六百九十九條ニ信用證券ニシテ云々トアルニ徴シテ知ル可シ英國ニ於テハ爲替條例第三條ニ署名セル書面云々トシテ之ヲ明ニセリ伊、佛、獨等ノ諸國ニ於テハ法律

ニ明文ナシト雖モ記載ス可シ若クハ云々ノ記載トノ規定アル以上ハ書面タルヲ要スルヤ明白ナリ依是之ヲ見レハ近世何ノ國ト雖モ爲替手形ハ書面ニ作成ス可キ契約ノ一種トナシ之ヲ口頭ノ約束ノミヲ以テ成立セシムルヲ許サス是レ畢竟手形ナル者ハ通貨ノ代用トシテ數人又ハ數十人ノ當事者間ニ轉帳流通スルヲ以テ單ニ口頭ノミヲ以テ其ノ成立ヲ許スカ如キハ到底紛雜ヲ免ル能ハサルヲ以テナリ又券面ニ記載スヘキ文言中必ス記載スヘキモノアリ記載スルモ記載セサルモ隨意ナルモノアリ必ス記載スヘキ文言トハ手形ヲ適法ナルモノトスルニ必要ナル文言ナリ然レモ此ノ文言ヲ欠キタルモノハ常ニ同一ノ結果ヲ生スルニアラス其中或ハ無効トスルモノアリ又セサルモノアリ又隨意ナル記載ハ手形ノ効力ヲ妨ケス

第一 日附ノ記載アルヲ要ス

手形日附ニハ振出ノ日附ト支拂ノ日附トアルヲ以テ左ニ之ヲ分説

第一日附  
アルヲ要ス

ス可シ

振出ノ年  
月日

振出日附  
ノ記載ヲ  
必要トス  
ル所以

- (甲) 振出ノ年月日 振出ノ年月日ヲ記スルヲ以テ一要件トシタルハ左ノ必要アルカ爲メナリ
- (一) 手形作成ノ時振出人能力ヲ有シタルヤ否ヤヲ知ルニ必要ナリ
  - (二) 手形ニ關スル總テノ時効ヲ起算スルニ必要ナリ
  - (三) 一覽拂又ハ一覽後定期拂ノ手形ナルハ法律ハ提示又ハ支拂ノ或期間ヲ定メタルカ故ニ此ノ法定ノ期間ヲ經過シタルヤ否ヤヲ知ルニ必要ナリ

振出日附  
ノ記載ヲ  
必要トス  
ル所以  
論者ノ説

振出ノ日附ヲ記載スル必要斯ノ如シ故ニ歐洲諸國ノ法律ニ於テハ一般ニ之ヲ手形ノ要件トシテ掲ケタリ然ルニ人或ハ曰ク手形振出ノ日ハ金錢ノ支拂或ハ對手ノ權利義務ニ關シ頗ル必要ノ者タルニ相違ナキモ其ノ日附ヲ知ルニハ反對ノ證據ナキ以上ハ手形ノ日附ニ依ルノ外ナシ然レモ手形ノ日附ト手形振出ノ日附トハ相一致スルモノニア

ラス何トナレハ手形ヲ作成シ之ニ日附ヲ記載シ實際之ヲ振出スル無クシテ久シク藏置スルコトアル可シ即チ手形ヲ作成シテ一月若クハ二月ヲ経過シタルノ後之ヲ振出スルコトアレハナリ故ニ振出ノ日ハ手形日附ノ如何ニ關セス別ニ之ヲ證明スルコトヲ得ヘク此ノ場合ニ於テハ手形ニ日附アルモ之ニ對スル反證ノ提出セラレタルカ故ニ手形振出ノ日附ハ手形ノ日附ト同一ナラス如此手形ニ日附ヲ記スルモ其日附タル振出ノ日附ナルヤ否ヤヲ知ルハ反證ヲ以テ之ヲ證明セラル、以上ハ振出ノ日附ノ記載ナキ場合ト雖モ反證ヲ以テ日附ヲ確定スルヲ得ヘク敢テ手形ヲ無効トスルニ及ハサルヘシト然リ英國ノ如ク多年ノ慣習ニ依リ成立シタル國ニ於テハ或ハ可ナラン然レモ我國ノ如ク手形ノ使用ニ不慣ナル國ニ於テハ之レカ方式ヲ嚴確ニスルコト最モ必要ナリ故ニ手形ニシテ振出ノ日附ヲ記載セサルハ要件ノ欠缺ニ因リ其ノ手形ハ無効ナリト云ハサル可ラス然ラハ日附ノ前後シタル場合

日附ノ前後シタル

場合

例へハ振出ノ日ハ實際三月一日ナルモ之ヲ五月一日トナシ又ハ之ヲ一月一日ト爲シタルハ如何ト云フニ裏書ニ付テハ實際振出シタル日ヨリ以前ノ日附ヲ記載スルヲ禁スル明文アリ(七二四)然ルニ振出ノ日附ニ付テハ之ヲ禁スル明文ナシト雖モ虛偽ノ日附ハ許スヘキ者ニアラサルカ故ニ設ヒ手形面ニ振出ノ日ヲ記スルモ其日附ニシテ實際ト相違スル場合ニ於テハ反證ヲ舉ケテ虛偽ノ日附ナルコトヲ證明スルヲ得ルヤ勿論ナリ然ラハ其ノ證明ノ方法如何是レ手形ノ性質ニ因リ決セサル可ラス抑手形ナル者ハ貨幣ノ代用トシテ流通スル信用證券ナリト雖モ一種ノ證書ナルニ過キサレ者ナルカ故ニ總テノ證據方法ヲ以テ證明スルヲ得ヘシ但シ公正證書トシテ作成シタル場合ニ於テハ偽造ノ訴ヲ爲スルコトヲ要スルナリ

支拂期日

(乙) 満期日 満期日トハ支拂期日ヲ云フ者ニシテ歐洲諸國ノ法律一トシテ此ノ條件ヲ必要トセサルナシ本法ハ特ニ之ヲ第七百十

支拂期日  
ニヨル手  
形ノ種類

九條ニ規定シテ曰ク満期日ハ定マリタル期間又ハ日附後定マリタル期間又ハ一覽ノ時又ハ一覽ノ後定マリタル期間ニ於テノミ之ヲ定ムルコトヲ得ト本案ニ依レハ支拂期日ニヨリ手形ノ種類ヲ左ノ如ク別ツコトヲ得ベシ

定期拂ノ  
手形

(一) 定期拂ノ手形 定期拂ノ手形トハ通常貸借ト同シク直接ノ支拂期日ヲ定メ又ハ手形ノ日附ヨリ何日ヲ以テ支拂フ可シト豫シメ其ノ期日ヲ確定シテ記載スルヲ云フ例ヘハ右金額何年何月某般又ハ其指圖人ニ御支拂可被下候也ト記載スルカ如ク又ハ右金額日附ヨリ起算シテ何日目ニ御支拂可被下候ト記載シタルカ如キ是ナリ

一覽拂ノ  
手形

(二) 一覽拂ノ手形 一覽拂ノ手形トハ此ノ手形御一覽ノ上御支拂可被下候ト記載シタル手形ニシテ即チ受取人カ支拂人ニ手形ヲ一覽セシメタルキ支拂フ可シト記載スル手形ナリ

一覽後定  
期拂ノ手  
形

(三) 一覽後定期拂ノ手形 一覽後定期拂ノ手形トハ一覽ノ日ヨリ起算シ何日ヲ以テ支拂フ可シト記載スルモノニシテ例ヘハ此手形御一覽ノ後何日目ニ御支拂可被下候ト記載スルカ如キ是レナリ

支拂期日  
ノ記載ナ  
キ手形ノ  
効力

振出期日ニ付テハ法律ハ嚴確ナル規定ヲ爲シタルカ故ニ此ノ要件ノ記載ナキ手形ハ無効タルヲ免カレスト雖モ支拂期日ノ記載ナキ手形ニ付テハ如斯論斷スルコトヲ得サルカ如シ何トナレハ第七百十六條ニ於テハ支拂期日ノ記載ヲ一要件トシタルニ拘ハラヌ第七百二十條ニ於テ之ヲ記載セサルキハ一覽ノ時ヲ以テ満期トナルトノ制裁ヲ付シ暗ニ無効ナラサルコトヲ示シタルハナリ其レ然リ然レモ手形ハ無條件ノ者ナルヲ以テ條件附ノ記載ハ之ヲ許サス故ニ例ヘハ支拂人タル甲者カ乙者ト結婚スルキニ支拂フ可シト記スルカ如ク又ハ某學校卒業ノ上支拂フ可シト記スルカ如ク或ハ某船横濱ニ到着セハ御支拂可被

振出ノ常  
時支拂期  
日ノ確定  
合セサル場

下候ト記スルカ如キハ何レモ無効ナリトス何トナレハ結婚セス卒業  
セサル前ニ死亡スルヤモ測ラレス又某船ハ颶風ノ爲メ沈没スルコトナ  
キヲ保ス可ラス畢竟此等ノ記載ハ違法ノ事項ヲ掲ケタル者ナレハナ  
リ然レモ手形振出ノ當時其ノ支拂期日ノ確定セサルモ後來必ラス發  
生ス可キ者ナルモ例ヘハ振出人タル甲者カ死亡シタルモニ支拂フ可  
シト記載シタルカ如キ場合ニ於テハ多少疑ナキ能ハス然レモ予ハ此  
ノ場合ニ付テハ有効ナリト論斷スルヲ以テ至當ナリト信ス何トナレ  
ハ人ノ死亡スルニ遲速ノ差アリト雖モ兎ニ角其ノ死亡スルコトハ確實  
ニシテ未必條件ト云フヲ得サレハナリ現ニ英國爲替手形條例ニハ明  
文アリ(同條例第一一)然レモ支拂ノ期日振出ノ期日ニ先ツキハ縱令ヒ  
過失ナリトスルモ旨趣牴觸スルモノニシテ法律ノ許サ、ル者ナレハ  
無効ナリトス

第二振出 第二 振出地及ヒ支拂地ヲ記載スルヲ要ス

地及支拂  
地ヲ記載  
スルヲ要

振出地ノ記載ヲ以テ手形作成ノ要件トシタル實用ハ蓋シ外國ニ振出  
ス爲替ニ振出地ヲ記載セザルモハ支拂地ノ法律ヲ適用セラル、カ故  
ニ或ハ支拂地ノ法律ニ照シ手形ヲ無効トセラル、カ如キコトアレハナ  
リ(第一編第三章參看)

又支拂地ヲ記載スルノ必要アル所以ハ若シ之レカ記載ナキモハ其ノ  
爲替ハ何レノ日何レノ地ニ於テ支拂ハル可キモノナルヤ知ル可ラサ  
レハナリ而シテ支拂地トハ如何ナル者ナリヤト云フニ這ハ地名ヲ稱  
スル者ニシテ例ヘハ日本ノ東京若クハ横濱ト唱フルカ如キ是レナリ  
町名番地ヲ記スルカ如キハ敢テ必要トセス去リトテ有名ノ銀行會社  
ニシテ何人モ之ヲ知レリト雖モ其地名ハ必ラス記載セサル可ラス例  
ヘハ日本銀行ノ東京ニ於ケルカ如ク英國銀行ノ倫敦ニ於ケルカ如ク  
獨逸帝國銀行ノ伯林ニ於ケルカ如ク此等ノ銀行カ支拂人タル場合ニ  
於テハ一般ニ其住地ヲ知ルカ故ニ單ニ日本銀行又ハ英國銀行若クハ

獨逸帝國銀行ト記スルハ別ニ差支ナキカ如シト雖モ其地名即チ東京倫敦若クハ柏林ト明ニ之ヲ記載セサル可ラス否ラサレハ法律ニ適シタルモノト云フヲ得ス又支拂地ハ必ラス一定セサル可ラスト雖モ住所拂ト稱シ住所所在ノ地又ハ他所拂ト稱シ他ノ地ニ住居セル第三者ノ住所ニテ支拂フアリ(七二)例ヘハ支拂人カ東京ニ住居シ其支店ヲ横濱ニ設置シ商取引ヲ爲スカ如キ場合ニ於テ其支店ノ所在地ナル横濱ニ於テ支拂ヲ爲スカ如キ是レナリ(他所拂爲替此ノ場合ニ於テハ支拂地ト其支店ノ所在地タル横濱ト併記スルヲ要ス若シ其他所拂人ヲ掲ケサルハ手形ニ記載シタル支拂地ニ於テ支拂ヲ爲ス可キ者ナリ

支拂地ノ記載ナキ手形ノ効力如何

支拂地ノ記載ヲ以テ手形ノ要件トナシタル理由ハ以上已ニ述フルカ如シ然ラハ支拂地ノ記載ナキ手形ノ効力如何ト云フニ之レニ付テハ多少異論アル可シト雖モ予ハ之ヲ有効ナリト信ス何トナレハ手形ナ

ルモノハ支拂ハル可キノ確實ニサヘアレハ其ノ支拂地ノ記載ナキノ一事ヲ以テ手形其者ノ効力マテモ沒了スル者ニアラス故ニ縱令ヒ之レカ記載ナキモ支拂人ノ宛名ヲ附記シアルハ其ノ住地ヲ以テ支拂地ト爲スヲ得ヘシ現ニ英國ニ於テハ之レカ記載ナキモ其手形ハ有効トセリ但シ之ヲ記載スルハ理論ニ適スルカ故ニ之ヲ記載スルノ習慣ヲ養成スルハ可ナリト雖モ法律ヲ以テ直ニ之ヲ無効トスルカ如キハ隱當ナラサレハナリ

第三爲替金額

第三 爲替金額但シ文字ヲ以テ記スルヲ要ス

爲替金額ハ手形ノ要件中最モ必要ナル者ナルヲ以テ必ラス之ヲ手形ニ記載セサル可ラス故ニ後日ニ至リ記入スルノ意思等ニテ振出ノ當時金額ヲ記載セサルアアラハ其手形ハ無効ナリ又其金額ハ一定シタル金額ナルヲ要ス故ニ例ヘハ金五圓カ若クハ十圓ヲ支拂フ可シト記シタル手形ハ無効ナリ又此金額ハ本字ヲ以テ記載セサル可ラス何ト

ナレハ數字ヲ以テ記スル片ハ錯誤ヲ生シ易キノミナラス或ハ變造等ノ不正其間ニ行ハル、フアレハナリ例ヘハ二ノ字ニ一ヲ加エテ三トナスカ如シ故ニ之ヲ記スルニハ壹貳參等ノ文字ヲ以テ記載シ此ノ弊ヲ防クニアリ

如斯金額ノ記載ハ嚴確ナリト雖モ敢テ其金額ニ制限アルモノニアラス舊爲替手形約束手形條例ニ於テハ爲替手形ノ金額ヲ五圓以上ニ限リ又英國ニ於テモジョルジ第三世ノ頃如此制限ヲ設ケタルヲアリシカ今日ニ於テハ全ク之ヲ廢セリ元來手形ナル者ハ金員ノ支拂ヲ約束スル一種ノ證券タルニ過キサレハ其成立ハ契約ニアリ既ニ契約ナリトセハ双方ノ合意ヲ以テ其ノ金額ヲ自由ニスルヲ得ヘク決シテ之レカ制限ヲ受ク可キニアラス然ラサレハ合意ハ各人ノ自由ナリトノ原則ニ背戻スルニ至ラン然レモ無記名ノ爲替手形ヲ振出ス場合ニ於テハ法律ハ之ヲ制限シテ二十五圓以上ニアラサレハ振出スヲ得ス

トセリ(七一七)蓋シ如斯制限ヲ加ヘタル所以ヲ考フルニ手形ナル者ハ商業上一種ノ紙幣トシテ轉輸流通スヘキ者ナリト雖モ素ト是レ一私人間ノ信用約束ニ成リタル者ニシテ彼ノ政府若クハ政府ノ允許ヲ得テ發行スル銀行紙幣トハ大ニ異ナルヲ以テ之レニ關スル法則ヲ嚴確ニシ以テ濫發ノ弊害ヲ防カサル可ラス殊ニ無記名ノ爲替手形ナルニ於テハ一層其流通ノ簡便ナルト共ニ亦又一層其ノ弊害ヲ醸生ス可キニヨリ從テ其ノ弊害ヲ防クノ方法ヲ設ケサル可ラス然シテ爲替金額ノ稍々大ニシテ廿五圓以上ナルニ於テハ受授者間ノ注意モ從テ綿密ナル可キヲ以テ之ヲ許スモ濫發其他ノ弊害ヲ生スルヲナカル可シトノ理由ニ出テタル者ナル可シ

又歐洲諸國ニ於テハ手形ニ金額ヲ記スルニハ大概之ヲ複記スルヲ以テ慣習トセリ我國ノ慣例ニ於テハ如此複記スルヲナシト雖モ金額ヲ明確ナラシメントセハ之ヲ複記スルヲ可ナリトス故ニ本法實施ノ上

本文ノ金額ト複記ノ金額ト矛盾シタル場合

ハ一般ニ之ヲ複記スルノ常習ヲ生スルヲナキニアラサル可キカ故之レニ關シテ生スル疑問ヲモ豫シメ決定シ置クハ強チ無用ノ業ニアラサル可シ而シテ之レニ關シ歐洲諸國ニ於テ常ニ發生スル疑問ハ本文ノ金額ト複記ノ金額ト互ニ矛盾スルルハ如何ニ決ス可キカノ事是レナリ獨逸爲替條例ニ於テハ法文ニ之ヲ明記セリ曰ク本字ト數字ト記載シ又ハ本字ノミヲ以テ記載シタル者若クハ數字ノミヲ以テ記載シタル者相戻ルルハ少額ナルモノニ因ルトセリ又英國ノ爲替條例ニ依ルハ手形ノ冒頭ニハ羅馬數字ヲ以テ金額ヲ記載シ本文ニ於テ更ラニ之ヲ複記スルヲ要ス若シニケノ記載抵觸スルルハ羅馬數字ヲ採ラスシテ通常文字ニ因リシ金額ヲ以テ真正ノモノトスト規定セリ本法ニ於テハ之ニ關スル明文ナシト雖モ實際如斯問題ノ生スルニ於テハ本文ヲ以テ真正ナリトスルヲ妥當ナリトス何トナレハ本文ハ契約上旨趣ノ眞目的ニシテ他ハ外部ノ理由ニヨリ加記シタル者ニ過キサレハ

金額ハ確實ナルヲ要ス

本文ヲ以テ眞正ナリト見做スハ當然ノ推定ナレハナリ(七〇七)

又其金額ハ確實ナルヲ要ス故ニ振出人ヨリ支拂人ニ對シ或ル一定セタル金額ノ支拂ヲ命スル場合ニ於テ其ノ金額タル振出人ノ豫メ寄托セルモノ又ハ某銀行ニ預ケ置キタル金額ヲ以テ支拂フニアルルハ其手形ハ條件附ナルヲ以テ無効ナリトス何トナレハ斯カル場合ニ於テハ縱令ヒ振出ノ當時ニハ預金アリタルモ支拂ヲ爲ス可キ時ニ至テハ既ニ拂戻シテ絶無ニ歸スルカ如キ事ナキヲ保セサレハナリ反之振出人ヨリ支拂人ニ對シ或一定ノ金額ノ支拂ヲ命シ且ツ之レニ附記シテ支拂人カ支拂ヲ爲シタルルハ振出人ニ於テ或銀行ニ預ケタル金額ノ内ヨリ之レカ計算ヲ爲ス可シトシタルルハ有効ナリ何トナレハ此ノ場合ニ於テハ受取人カ其支拂ヲ得ヘキヲハ確實ニシテ毫モ條件ニ係ルヲナク唯振出人及ヒ支拂人ノ間ニ於ケル計算ヲ示シタルニ過キサレハナリ今之ヲ例示セハ甲者乙者ニ對シ信用上若干ノ綿ヲ賣渡シ其ノ



代價受取ノ債權ヲ有セシカ甲者ハ從來丙者ニ對シテ若干ノ債務ヲ負擔セルカ故ニ此ノ二ケノ關係ヲ解消センカ爲メ乙者ニ宛テ左ノ手形ヲ振出シタリ

一金何圓也

右ハ綿ノ代價ニ對シ丙者又ハ其指圖人ニ御支拂可被下候也

此手形ハ一見スレハ條件附ノ手形ナルカ如シ然レモ代價ト附記シタルハ振出人ト支拂人トノ計算ヲ示スニ止マリ受取人タル丙者又ハ其指圖人タル者カ支拂ヲ受クル事ニハ少シモ關係ナキカ故ニ無條件トシテ完全ナル効力ヲ有スル者ト信スルナリ現ニ英國ニ於テハ此事ニ付テ明文アリ又本法第六百九十九條ニハ條件ヲ附スルヲ得スト明規スト雖モ這ハ受取人カ無條件ニテ受取ルヲ指シタルモノニシテ支拂人ト振出人トノ關係ニ付テモ無條件ナルヲ要スル法意ニアラス況ンヤ第七百七條ニ手形上ノ重要ナラサル附記ハ法律上ノ要件ニ適ス

利足ヲ附シテ支拂フ可キト記シタルハ如何ル

ル手形ノ旨趣ノ効力ヲ妨クルコトナシトアルニ於テヤ然ラハ利足ヲ附シテ支拂フ可キト記シタル片ハ如何例ヘハ金百圓ニ年一割ノ利足ヲ附シテ支拂フ可シトノ記載アル片ハ有効ナリヤト云フニ佛國ニ於テ之ニ關スル明文ナキモ大審院ノ判決ハ有効ナリトセリ本法ニ於テモ此事ニ付キ明文ナキモ容易ニ計算シ得ヘキ場合ニ於テハ有効ナルニ妨ケナカル可シ何トナレハ金額ノ確定シタルコトヲ要スルハ其支拂ヲ確實ニスルノ目的ニ外ナラサレハナリ故ニ其金額カ容易ニ知リ得可キ片ハ支拂ヲ不確實ナラシムルノ憂ナシ已ニ支拂ヲ不確實ナラシムルノ憂ナシトセハ敢テ法律ノ期望スル目的ニ展ルコトナケレハナリ

第四 支拂人ノ氏名ヲ記載スルヲ要ス

第四支拂人ノ氏名ヲ記載スルヲ要ス

支拂人ノ氏名ヲ券面ニ記載スルハ支拂ノ請求ヲ爲スニ付キ最モ必要ナリ法文ニ氏名トアルモ屋號ヲ換記スルモ可ナリ殊ニ會社ニ於テハ

社名ヲ記スルヲ以テ通例トス可シ尤モ商人ノ屋號ヲ記スルハ商人其者ヲ代稱スル者ナレハ屋號ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニ於テ其讓受人カ爲替ノ引受ヲ爲スモ其引受ケハ有効ナリト見做ス可ラサルハ勿論ナリ然レモ其ノ姓ノミヲ記シテ其ノ名ヲ脱シ若クハ其ノ住地ヲ脱シ又ハ姓名ヲ誤記スルカ如キアラハ其手形ノ効力ハ完全ナリヤ否ヤ如斯手形ハ要件ノ記載明瞭ナラサルカ故ニ無効トセサル可ラサルカ如シ然レモ宛名ニ不充分ノ處アルモ支拂人ノ完全ナル署名アレハ之ヲ以テ補足スルヲ得ヘク又其住地ノ如キハ支拂人ノ住居若クハ屋號ヲ明白ニスルニ止マルカ故ニ支拂地ノ記載ハ敢テ必要ニアラス然レモ前述ノ如ク住所拂ノ手形ニ於テハ名宛人ノ姓名ニ併セテ住地ヲ記載スルヲ要ス何トナレハ其記載ヲ以テ住居拂ト爲シタルモノナルカ故ニ其記載ナキハ支拂地ヲ以テ其住地ト見做ス可クシテ必竟他所拂ト云フヲ得サレハナリ(七二一末文)

第五受取人及ヒ其指圖人

第五 受取人及ヒ其指圖人ノ記載アルヲ要ス爲替手形ハ第三者ヲ以テ受取人ト爲ス可キモノニシテ振出人自己ノ指圖ニテ振出スハ例外ナリ故ニ第三者ヲ受取人トスルモ其受取人ノ氏名ヲ記載セサル可ラス若シ又受取人ニシテ裏書ヲ爲シ第三者ニ讓渡スコトヲ得セシメタルモ其指圖セラレタル人ヲ記載ス可シ例ヘハ甲者丙者ニ向テ振出シタル手形ニ乙者又ハ其指圖ニテ支拂アリタシト云フカ如シ又此ニ氏名トアルモ通常ハ屋號ヲ記スルヲ例トス最初發布セラレタル商法ニ於テハ手形ト引換ニテ支拂ヲ爲ス可キ旨ヲ記スルヲ以テ一要件トセリ此要件タル歐洲諸國ノ法律ニ於テ之ヲ認メサルノミナラス元來爲替手形ハ或ル金額カ無條件ニテ支拂ハル可キ旨ヲ記シタル信用證券ナレハ券面ニ支拂ハル可キコトヲ記スルハ素ヨリ當然ノコトナルノミナラス設ヒ無記載ノコトアルモ通常證書ノ解釋法ニ由リテ證明ヲ許スヘク之ヲ要件トスルノ必要アラサルカ故ニ

今回之ヲ削除シテ發布セリ然レモ此ノ支拂ヲ記スルハ必ラス無條件ニシテ且ツ一定ノ金額ヲ支拂フ可キヲ命スルモノタルヲ要ス故ニ貨物ヲ與フ可シト命シ或ハ勞力ヲ爲サシムルヲ命スルカ如キハ無効ナリ例ヘハ此手形御一覽次第生糸百梱ヲ支拂フ可シト云フカ如キ是レナリ又此命令ハ依頼若クハ希望ヲ記セサルヲ要ス如此キ記載ハ違法ナリト云ハサルヲ得ス何トナレハ依頼若クハ希望ハ手形ノ振出しニ付キ命ス可キモノニアラサレハナリ例ヘハ此手形引換ニ支拂フヲ依頼ス若クハ支拂フヲ希望スト云フカ如キ語辭アルハ其手形ハ無効ナリ

第六振出人ノ署名捺印アルヲ要ス

第六 振出人ノ署名捺印アルヲ要ス  
署名ノ外ニ捺印ヲ要スルハ歐米諸國ノ法律ニ於テハ之レナキノミナラス英國ノ如キハ捺印アル手形ハ流通ノ性質ナシト云フ反對ノ規定ヲ爲セリ故ニ此ノ規定アル唯リ我國ニ特有ノモノナリ是レ我國ニ於

英佛獨及  
爲替條例  
ノ本法ト  
ト差異

テハ一般ノ取引行爲ニ印章ヲ押捺スルノ習慣アルニヨリ斯カル條件ヲ要セラレタルモ歐米諸國ニ於テハ私印ヲ使用スルノ方式一般ニ行ハレサルニ依ルモノナラン而シテ署名ハ之ヲ手形ノ紙尾ニ記スルヲ要ス何トナレハ振出人ハ手形ニ記載スル前文ヲ認證センカ爲メニ署名スル者ナレハナリ然レモ受託者ニ於テ手形ヲ振出スルハ囑托者ノ氏名ヲ本文中ニ記載シ受託者其紙尾ニ署名スルヲ以テ十分ナリトス此ノ場合ニ於テモ振出人ノ氏名ヲ記セスシテ屋號ヲ記スルモ可ナリ故ニ其ノ屋號ノ下ニ捺印スルモ差支ナカル可シ  
手形作成ノ要件ハ以上説示スル所ノ如シ尙ホ讀者ノ便ヲ計リ左ニ英佛、伊、獨及ヒ我舊爲替條例ト本法トノ差異ヲ示ス可シ  
第一 振出人ノ署名ヲ要スルハ英、伊ノ諸國及ヒ我舊爲替條例并ニ本法ニ於テモ之ヲ必要トス然ルニ佛國商法ニハ毫モ規定スル所ナシ然レモ振出人ニ於テ署名スルニアラサレハ手形ト爲ラサルハ手形

法ノ精神ナルヲ以テ佛國ニ於テモ敢テ此ノ條件ヲ必要トセサルノ意ニアラサル可シト雖モ明文ナキハ欠點ナルヲ免レヌ

第二 支拂人ノ氏名ヲ記スルヲ必要條件トスルヲモ佛獨諸國及ヒ本法ノ明示スル所ナリ然ルニ唯リ英國ニ於テハ之ヲ明示セス故ニ學者ハ一般ニ其ノ欠點ナルヲ喋々セリ

第三 已ニ述ヘタルカ如ク獨逸條例ニ於テハ爲替手形ナル旨ヲ明記スルヲ必要トセリ此レ獨國特殊ノ規定ニシテ本法及ヒ他國法律ノ認メサル所ナリ

第四 本法及ヒ英國條例(第三條第一項)ニハ無條件ナル文辭アリ佛伊獨等ノ法文ニハ此ノ言辭ナシ蓋シ手形支拂ノ確實ナル可キヲハ手形ノ本然ノ性質ナルカ故ニ設ヒ之レカ明文ナキモ支拂ノ未定ナルヲ認容スルノ意ニアラサル可シト雖モ明瞭ノ點ニ於テ遺憾ナキ能ハサルナリ

第五 本法及ヒ英國條例ニ於テハ無記名式ノ手形ヲ認ムト雖モ我舊爲替條例及ヒ獨佛兩國ノ法律ハ之ヲ認メヌ

第六 獨逸手形條例ニ於テハ外國語ヲ以テ記スルモ妨ケナキ旨ヲ明記セリ英佛兩國及ヒ本法モ之ヲ記載セス然レモ我國ニ於テモ必ラスシモ日本語ニ限ルノ理由ナカル可ク又英國若クハ佛國ニ於テ振出ス手形ハ必ラス英語又ハ佛語ニ制限ス可キノ理由ナシ故ニ之ヲ法文ニ明記スルノ必要ナカル可シ

第七 英獨佛等ノ法律ニ於テハ金額ニ制限ナシ我舊條例ハ五圓以上本法ハ無記名式ノ手形ナルキハ二十五圓以上ノ制限ヲ設ケタリ

第八 英國條例ニ於テハ日附ノ記載報償ノ供給報償ノ指示又ハ振出地又ハ支拂地ノ指示ヲ手形作成ノ要件ニアラストセリ(同國條例第三條ノ四)此規定ナル獨佛及ヒ本法ノ規定ト其趣キヲ異ニセリ英國ニ於テモ實際ニ於テハ日附ヲ記載スルヲ以テ通例トセルモ唯々法

律上之ヲ記載スルヲ必要トセサルナリ又佛國法律ニ於テハ手形ニ  
必ラス對價ヲ受取リタルヲ記載スルヲ必要トセリ獨逸ニ於テハ  
之ヲ要セス(同國條例第四)英國ニ於テハ對價領収ノヲ通常トスル  
モ法律上ニ於テハ敢テ之ヲ必要トセス故ニ之ヲ記載セサルモ報償  
ヲ包含セサル者ト認メラル換言セハ直接ノ當事者間ニハ原因ノ如  
何ニ因リテ權利關係ニ影響スル所アルモ情ヲ知ラサル第三者ニ對  
シテハ原因即チ報償ノ有無ハ勿論詐欺ニ基因セル手形ト雖モ尙且  
ツ十分ノ効力アルモノトス我最初ノ商法ニハ合法ノ原因ヲ當然包  
含スト明示セシカ故ニ當事者間ハ勿論第三者ノ間ニ於テモ原因ヲ  
問フ能ハサルカ如ク論理ト相容レサルノ嫌ナキニアラス今ヤ之ヲ  
削除セシニ付テハ普通ノ理論ニ基キ英法ト同一ノ解釋ヲ與フ可キ  
ナリ何トナレハ當事者間ニ於テハ原因ナクンハ其効ヲ有ス可ラス  
ト雖モ善意ナル第三者ニ對シテハ原因ノ有無ヲ問ハサル者ト云ハ

サルヲ得サレハナリ故ニ此點ニ付テハ日獨英三國ノ規定同一ナリ  
唯佛國ノミ特殊ノ明文アリト雖モ其結果ニ至リテハ同一ナラン蓋  
シ佛國ニ於テ明文ヲ設ケタルハ手形ト雖モ何等ノ權利ナクシテ發  
生スル者ニアラス必ラス債務辨濟ノ方法トシテ發行セラル、モノ  
ナリト云フニアランカ又英國ニ於テハ振出地及ヒ支拂地ヲ記スル  
ハ普通ナリト雖モ法律上之ヲ必要條件トセス然ルニ我舊爲替條例  
及ヒ本法并ニ佛獨ノ法律ニ於テハ之ヲ必要條件トセリ

第九 英國ニ於テハ外國手形ト内國手形トノ區別ヲ爲シ其實用トシ  
テ内國手形ニアリテハ縱令ヒ引受又ハ支拂ヲ拒絕セラル、トアル  
モ敢テ拒證書ノ作成ヲ要セスト雖モ外國手形ニアリテハ拒證書ヲ  
作成スルニアラサレハ自己以前ノ讓渡人又ハ振出人ニ對シテ權利  
ヲ主張スルヲ得ス本法及ヒ佛獨伊等ノ法律ニ於テハ之レヲ必要ト  
セス

第十 獨英兩國及ヒ本法ニ於テハ振出人ハ自ラ受取人ト爲ルヲ得

(獨條例第六ノ二英條例第五ノ二)佛國ニ於テハ全ク之ヲ認メス

第十一 獨佛兩國及ヒ我國ニ於テハ支拂人ノ氏名ヲ記載スルヲ要シ

英國ニ於テハ之ヲ記載スルヲ通常トスレド必ラスシモ必要條件ト

シテ之ヲ記載スルニ及ハサル者トセリ

第二項 組爲替手形及ヒ贖本

組爲替手形及ヒ贖本

組爲替手形トハ本法第七百四條ニ規定セルカ如ク數通ノ手形ヲ振出  
ス場合ナリ同條ニ曰ク

手形ノ受取人ハ直ニ振出人ニ對シ又其後ノ各所持人ハ其前者ヲ經  
由シテ振出人ニ對シ番號ヲ記シタル同文ノ手形數通ノ交付ヲ求ム  
ルヲ得

ト此ノ數通ノ振出ハ我舊爲替條例及ヒ歐洲諸國ノ法律ニ於テモ同シ  
ク認ムル所ナリ而シテ如斯數通ノ手形ヲ振出スハ重ニ遠隔ナル地ニ

居住スル當事者間ニ於テ取引ヲ爲ス場合ニ行ハル、者ニシテ必竟左  
ノ實用アルカ爲ナリ

第一 遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ爲ス場合ニ於テハ盜難其他不時ノ災

害ニヨリテ紛失スルノ憂アリ故ニ數通ノ手形ヲ振出スルハ其内

ノ一通ハ必ラス受取人ニ達スヘキノ便アリ

第二 振出人自己ノ指圖ニテ其ノ支拂ヲ爲ス可キルハ振出人ハ二

通ヲ作り其ノ一ヲ支拂人ニ送致シ以テ之ニ引受ヲ記入セシメ其

一ハ機會アルヲ待テ取引ヲ爲サシメンカ爲メ之ヲ保有ス可キナ

リ

然シテ數通ヲ作りタルルハ同文ニシテ必ラス番號ヲ記載セサル可ラ  
ス佛國商法ニ於テハ第一、第二、第三、第四ノモノタルルハ其旨ヲ記載ス  
可シト明言セリ此レ畢竟手形ヲ受取リタル者ハ其番號ヲ視テ同一ノ  
爲替アルヲ知リ詐欺ノ難ヲ免カル、ヲ得可キヲ以テナリ我舊條

數通ノ手  
形ヲ振出  
シタル場  
合ニ於ケ  
ル支拂人  
ノ義務

例ニ於テハ其内ノ一通ニ對シ支拂ヲ爲シタルハ他ノ各通ハ無効タ  
ル可キヲ明言セリ本法及歐米諸國ノ法律ニ於テハ之ヲ明言セス然  
レモ這ハ當然ノ事ナレハ敢テ法律ニ明記スル必要ナシ然ラハ數通ノ  
手形ヲ振出シタルハ支拂人ハ如何ナル方法ニヨリ支拂ヲ爲ス可キ  
カ其數通ノ手形ヲ受取人ニ引渡シ受取人カ之ヲ他ニ支拂ヲ要ムルニ  
當リ其數通ヲ悉ク支拂人ニ引渡スハ論ナシ然ラサル場合ト雖モ支  
拂人及ヒ振出人ハ其内ノ一通ニ付テノミ責任アル者ナレハ其内ノ何  
レニ依ルモ可ナリトス然レモ裏書アル一通又ハ支拂人ノ引受ヲ記シ  
タル一通ヲ所有者トシテ占有スル第三者ノ權利ヲ妨クルヲ得ス(七六  
二)例ヘハ三通ノ手形ヲ振出スニ當リテ第一號第二號第三號等ノ號數  
ヲ記シテ振出シタルハ其内一通ニ對シテ支拂ヲ爲セハ他ノ二通ニ  
對シテハ毫モ其責ナク全ク其支拂ノ義務ヲ免ル、ナリ其然ル所以ノ  
モノハ抑一個ノ爲替ニシテ數通ノ手形ヲ振出スハ受取人若クハ其後

ノ所持人ノ求メニヨリ送達ノ安全ヲ要スルニ出テ其ノ數通ハ爲替ノ  
全部ヲ代表スル者ニシテ一通ノ手形アルト同一ナリ一通ノ手形ハ  
一個ノ爲替義務ヲ負フニ過キサハ蓋シ論ヲ俟タス然レモ此レニハ  
尙ホ制限ナキニアラス即チ其ノ爲替手形ニ裏書及ヒ引受ナキハ限  
ルナリ但シ此制限タル第三者ニ對スルカ故ニ其ノ支拂ヲ受ケタル人  
ト他ノ一通若クハ二通ヲ所有スル者ト同一ノ人ナルニ於テハ其ノ一  
通ニ對シテ支拂ヲ爲シタルカ爲メ已ニ之レニ對スル責任ハ消滅シタ  
ル者ニシテ他ノ一通又ハ二通ニ對シテハ之ヲ支拂フノ義務ナシ然レ  
モ二人若クハ三人ノ者善意ニ各一通ヲ所持スルトキニモ前ト同一ノ  
決定ヲ與フルハ是等ノ所持人ヲ害スルニ至ルヘシ故ニ裏書讓渡ト  
シテ署名捺印シタル手形又ハ引受ヲ爲シタル手形ヲ所持スル者ニ對  
シテハ縱令ヒ其内ノ一號ニ對シテ支拂ヲ爲シタリト雖モ之レカ責任  
ヲ免カル、トヲ得ス他ノ二通ニ對シテモ同シク支拂ヲ爲サ、ルヲ得

ス故ニ引受人タル者ハ甚々危険ナル地位ニ立テルヲ以テ法律ハ之ヲ保護スルノ方法ヲ設ケタリ即チ支拂人ニ於テ數通中ノ一通ニ對シテノミ引受ヲ爲シタランカ此場合ニ於テ所持人カ其ノ引受ヲ爲シタル手形ヲ交付セスシテ他ノ引受ヲ記セサル手形ヲ提示シ以テ支拂ヲ要求スルハ引受人ハ其ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得ヘシ又引受ヲ記シタル者數通アルハ其ノ引受アル手形ヲ悉ク提示スルニアラサレハ之レカ支拂ヲ爲ス義務ナキ者トセリ然レモ(七六四)手形所持人ニ於テ其ノ引受アル手形ニ對スル擔保ヲ供シタルハ之ヲ支拂フノ義務アル者トス故ニ引受アル數通ノ手形ヲ提出スルハ所持人ノ責任ナリト云ハサル可ラス是レ則チ引受人ノ危険ヲ保護スルモノニシテ他日他ノ引受アル手形ヲ以テ支拂ノ要求ヲ爲スハ二重ノ支拂ヲ爲サ、ルヲ得サル危険ヲ防クモノナレハ引受人ニ取リテハ甚々重要ナルモノトス此點ニ付テハ英佛獨等諸國ノ法律ニ於テモ大差ナキカ如シ

若シ手形所持人ニ於テ或ル事由ニヨリ其ノ引受アル手形ノ全通ヲ提供スルコト能ハサルニヨリ擔保ヲ供シタルニモ拘ハラズ引受人カ其ノ支拂ヲ拒ミタルハ所持人ニ於テ拒證書ヲ作り之ヲ償還義務者ニ通知スルヲ得可キモノトス如斯場合ニ於テ引受人タル者ハ所持人ヨリ提供シタル擔保カ自己ノ意ニ不滿ナルト否トニ拘ハラズ之レカ支拂ヲ爲サ、ル可ラスト云フカ如キハ道理上決シテアル可キニアラス故ニ引受人ハ其ノ擔保ニ満足セサルハ之レカ支拂ヲ拒ムコトヲ得然レモ其ノ擔保カ充分ナルニモ拘ハラズ不當ニ其ノ支拂ヲ拒絕シ而シテ其拒絕ハ不當ナリトノ判決アリタルハ此レニ因リテ生シタル損害ハ引受人ニ於テ其責ニ任セサル可ラス

又第七百四條第二項ニ手形ノ各所持人ハ需用ニ應シテ自ラ手形ノ贖本ヲ作ルコトヲ得ト規定セリ之レ獨逸法ヲ採用シタルモノニシテ之ヲ作ルノ實用ハ手形ヲ賣却セントスルニ當リ正本タル手形ヲ示スハ



贖本ト正  
本トノ差  
異

ハ紛失ノ恐レアルカ故ニ贖本ヲ示サンカ爲メ若クハ盜難其他ノ出來  
事ニヨリ正本ヲ紛失シタル等ノ場合ニ於テ贖本ニ依テ原ノ手形ノ眞  
正ナルヲ證明スルカ如キ實用アルカ爲メナリ然レモ贖本ト正本ト  
ハ大ニ異ナル所アルカ故前述第二號以下ノ手形ニ關スル規則ハ之ヲ  
贖本ニ適用スルヲ得ス尙ホ此ノ兩者ノ間ニハ左ニ掲クル差異ノ存ス  
ルアリ

第一 正本ハ必ラス振出人ニ於テ之ヲ作ルト雖モ贖本ハ所持人ニ  
於テ之ヲ作ルモノナリ

第二 贖本ハ正本同様ノ効力ヲ有セス故ニ支拂ヲ請求スルニハ必  
ラス正本ヲ提示セサル可ラス贖本ハ正本ノ紛失シタル等ノ場合  
ニ於テ一ノ證據タルニ過キス

第三項 假設ノ手形

假設ノ手  
形ノ効力

假設ノ手形トハ眞正ノ手形タル外觀ヲ裝フテ作成シタル者ナリト雖

モ其實券面記載ノ要件ヲ假設シタル手形ヲ云フ

假設ノ手  
形ノ効力

此ノ手形ノ効力如何佛國民法第百十二條ニ於テハ總テ氏名身分住所  
又ハ手形ヲ振出シタル場所若クハ之ヲ振出ス可キ場所ノ假設ヲ記シ  
タル爲替ハ單純ナル約定書ト見做ス可シトアリ本法ニ於テハ其第七  
百二條ニ之ヲ規定シテ曰ク

手形ノ要件ヲ外觀ノ爲メニノミ記入シタル手形ハ其情ヲ知リタル  
者ノ爲メニハ之ヲ手形ト見做サス

ト予ハ此ノ假設ノ手形ニ付キ各要件ヲ假設シタル場合ヲ區別シテ其  
効力ヲ論セン

振出人ノ  
假設ナル  
場合

第一 振出人ノ假設ナル場合

振出人ノ假設トハ虛無的ノ人ヲ記載シテ振出人ト爲シタル場合ニ  
シテ其情ヲ知リタル者即チ振出人ノ假設ナルヲ知リタル者ニ對  
シテハ其効力ナキハ勿論ナリ然ラハ其ノ情ヲ知ラサル者ニ對シテ

ハ如何ナル効力アリヤ法文ノ裏面即其情ヲ知ラサル者ニ對シテハ手形トシテ有効ナリト云ハサル可ラス抑手形ノ振出人ハ爲替資金ニ付義務アル者ニシテ支拂人不支拂ノ場合ニ於テハ償還ノ請求ニ應セサル可ラス故ニ支拂人ニ於テ支拂ヲ拒ミタル片ハ所持人ハ振出人ニ對シ償還請求ヲ爲スコトヲ得ルト雖モ振出人カ虛無的ノ人ナルニ於テハ振出人ナキ手形ト一般ナルニヨリ義務ヲ負フ者ナシ故ニ此ノ場合ニ於ケル義務者ハ假設者ナリト云ハサル可ラス例ヘハ或ル詐欺師虛無的ノ人ヲ振出人ト爲シ確乎タル支拂人ヲ記入シ之ヲ甲者ニ讓渡シ甲者其情ヲ知ラスシテ之ヲ乙者ニ讓渡シ乙者モ又其情ヲ知ラスシテ之ヲ讓受ケ支拂人ニ對シテ支拂ヲ求メタルニ支拂人ハ振出人ノ虛無ナルコトヲ主張シ其事實判然シタルカ如シ此ノ場合ニ於テ支拂人ニ支拂ノ義務ナキハ勿論ナリ又所持人ナル乙者ハ讓渡人タル甲者ニ對シ償還請求ヲ爲スコトヲ得ルト雖モ甲者ハ振

出人ノ全然假設ナルカ故ニ結局詐欺師ニ對シテ賠償ヲ請求スルノ外ナキナリ故ニ此ノ手形ハ單ニ其ノ詐欺ヲ證明スルノ用ニ供スルニ過キサル可シ

支拂人ノ假設ナル場合

第二 支拂人ノ假設ナル場合

支拂人ノ假設トハ例ヘハ甲ナル振出人乙ナル虛無的ノ人ヲ作り之ニ宛テ丙者ヲ受取人トシテ爲替手形ヲ發行シタル場合ノ如キ是レナリ佛國ニ於テハ此ノ手形ヲ單純ナル約定書ト見做スコトハ法文ノ明記スル處ナリ然ルニ英國ニ於テハ手形所持人ハ之ヲ約束手形トスルモ又ハ爲替手形トシテ取扱フモ其ノ望ム所ニ任ストセリ其理由ハ元來手形ハ一ノ證書タルニ過キサルカ故ニ契約ハ成ル可ク之ヲ有効ニ解釋セサル可ラストノ原則ヲ適用スルヲ得ヘク而シテ手形所持人ニ於テ券面ノ支拂人ハ假設ナルヤ否ヤヲ知レル場合ト知ラサル場合トアリ若シ其事實ヲ知リタル片ハ之ヲ約束手形トシテ

取扱フ可ク又其事實ヲ知ラザリシハ其書式タルヤ爲替手形ナルヲ以テ之ヲ爲替手形トシテ取扱フ可シ必竟此場合ハ振出人カ虚無ナル人ノ名ヲ記シタルノ過失アルヲ以テ其ノ振出人ノ利益ヲ謀ラスシテ所持人即チ權利者ノ權利ヲ保護シ之ニ與フルニ撰擇ノ權利ヲ以テシタル所以ナリ我立法者ハ情ヲ知リタルト否トヲ區別シ情ヲ知リタル者ノ爲メニハ手形ト見做サストセリ故ニ其情ヲ知リタル者ニ對シテハ佛法ト同シク普通ノ約定書タルノ効力アルニ過キスト雖モ其情ヲ知ラサル者ニ對シテハ爲替手形タル性質ヲ失ハサルモノトス故ニ前例丙者ナル受取人又ハ其讓受人ニシテ其情ヲ知リタルハ振出人又ハ裏書讓渡人ニ對シ通常ノ契約ニヨリテ生スル權利ヲ主張シ得ルノミニシテ償還請求ノ權利ヲ行使スルヲ得ス又丙者及ヒ其他ノ讓受人ニシテ其情ヲ知ラサル場合ニ於テハ手形タルノ効力ヲ失ハス然レモ此ノ手形タル全ク支拂人ヲ欠キタルモ

受取人ノ  
假設ナル  
場合

第三 受取人ノ假設ナル場合

ノナレハ約束手形タルニ過キササルナリ

此ノ場合ハ前二個ノ場合ト異ナリ支拂人及振出人ハ真正ノ人ナルモ唯受取人ノ虚無的ニシテ存セサル場合ナルカ故ニ所持人ヲ受取人トシテ爲替タルノ効力ヲ有セシムルモ可ナルカ如シ現ニ英國ニ於テハ所持人ニ支拂フモノトセリ然レモ本法ニ於テハ手形ニハ振出人、支拂人及ヒ受取人ノ三者ナカル可カラサルヲハ既ニ詳論シタル所ナリ今此ノ場合ハ受取人ヲ假設シタル者ナレハ假設ノ手形タルヲ免レヌ故ニ所持人ニ於テ其情ヲ知リタルハ通常ノ約定書タルニ過キササルモ其情ヲ知ラサルハ手形タル効力ヲ有スルモノトス

場所ノ假  
設ナル場  
合

第四 場所ノ假設ナル場合

佛國ニ於テハ振出地及ヒ支拂地ノ記載ヲ必要條件トスルカ故ニ場

所ノ假設ナル片ハ假設ノ手形トシテ取扱フト雖モ本法ニ於テハ已ニ述フルカ如ク場所ノ記載ヲ以テ必要條件トスル者ト否ラサルモノトアリ其ノ必要トセサル者ニ付テハ之ヲ假設スルモ敢テ假設ノ手形ト見做スヲ得ス

第四項 偽造變造ノ手形

偽造變造ノ手形

偽造トハ他人ノ署名ヲ偽リ眞實ナラサル者ヲ作成スルヲ云フ故ニ偽造ハ必ス他人ノ署名ヲ偽リタル者ナラサル可ラス然ラスシテ單ニ偽物ナル證券ヲ作ルモ此ニ所謂偽造ニハ非サルナリ又其署名ハ特定ノ人ナラサル可ラス虛無的ノ人ナル片ハ偽造ニアラスシテ假設ナリ又變造トハ金額又ハ支拂ノ場所及ヒ期日若クハ人名ヲ變更スルヲ云フ然レモ其變更ハ權利上他人ニ利害ノ關係ヲ及ホスモノナラサル可ラス例ヘハ券面ニ千圓トアルヲ二千圓ト改メ一月一日ノ支拂期日ヲ二月十日ト改ムルカ如キ是ナリ然ラスシテ單ニ重要ナラサル事項ヲ

變造ノ定義

附記スルカ如キハ變造ノ手形ト云フヲ得ス彼ノ時効ヲ拋棄ス可シ若クハ振出人ハ義務ナシト記スルカ如キ附記ハ手形タル効力ヲ妨クルモノニアラサレハ變造ト云フヲ得ス而シテ此ノ偽造變造ノ手形ニ付テハ本法第七百八條ニ明文アリ曰ク

偽造變造ノ手形ハ手形トシテ其効ヲ有ス然レモ偽造變造ニ依テ義務ヲ生スルコトナシ

偽造變造ニ付テノ異議ハ其偽造變造ヲ爲シタル者又ハ其情ヲ知りテ手形ヲ取得シタル者ニ對シテ之ヲ起スコトヲ得

ト蓋シ手形ナル者ハ指圖式又ハ無記名式ニテ發行スルモノニシテ裏書ニヨリ數人ノ手ニ轉帳シ恰モ通貨ト同一ナルカ故ニ姦計詐術ノ其間ニ行ハレ偽造變造ノ由テ以テ生スルハ免ル可ラサルノ通患ナリ然ルニ此等ノ偽造變造ノ手形ヲシテ絶對的ニ無効ナラシムル片ハ善意ナル所持人ヲ害スルヤ甚シト云フ可シ故ニ法律ハ設ヒ虛偽ノ署名ア

ル手形ト雖凡之レカ爲メニ善意ニ授受シタル眞ノ署名ヲ無効トセサルナリ法文ニ手形トシテ其効ヲ有ストハ則チ是ナリ故ニ振出人ノ署名ヲ偽造シタル手形ト雖凡支拂人ニ於テ一旦之カ引受ヲ爲シタルカ又ハ其裏書讓渡人ハ其情ヲ知ラサル所持人ニ對シ手形上ノ責任ヲ免カル、トヲ得ス從テ其引受人又ハ裏書讓渡人ハ所持人ニ對シテ券面ノ金額ヲ支拂ハサル可ラス然レ凡已レノ名ヲ濫用セラレタル者ハ自己ニ於テ任意ニ署名シタル者ニアラザレハ素ヨリ其責ニ任スヘキ者ニアラサルナリ例ヘハ甲ナル詐欺師カ乙ナル振出人ノ署名ヲ詐リタル手形ヲ丙者ニ讓渡シ丙者ハ善意ニテ之ヲ讓受ケ又更ラニ之ヲ丁者ニ讓渡シ丁者モ亦之ヲ善意ニテ讓受ケタル凡ハ丁者ハ其手形ヲ無効トセラレサルカ故ニ支拂人ニ對シ請求ヲ求ム可シ此ノ場合ニ於テ支拂人引受ヲ爲シタル凡ハ假令後日ニ至リ偽造ナルトヲ覺知シタル凡ト雖凡之ヲ拒ムヲ得ス若シ亦タ支拂人ニ於テ偽造ナル旨ヲ主張シ之

レカ引受ヲ拒絕シタル凡ハ所持人ハ前ノ裏書讓渡人即チ丙者ニ對シテ償還請求ヲ爲ス可シ然ラハ償還ノ請求ヲ受ケタル丙者ハ振出人乙ニ對シテ更ラニ償還ヲ求ムトヲ得ルカ此ノ場合ニ於テハ偽造ト變造トヲ區別セサル可ラス偽造ナル凡ハ振出人ハ已レノ署名ヲ詐ラレタルモノナルカ故ニ其責ナシ故ニ讓渡人ハ偽造者ナル甲ニ對シテ請求スルノ道ナシ去レハ丙者ハ此場合ニ於テハ假令善意ナリト雖凡爲替上ノ請求ヲ爲ス能ハサルトアルヘシ何トナレハ偽造者ハ爲替ニ署名セサルト多カル可ケレハナリ然レ凡前讓渡人ナル丙者情ヲ知リタル者ナル凡ハ手形ノ方式ニ依テ償還請求ヲ免レサルナリ反之變造ナル凡振出人其責ニ任スル場合アリ例ハ金額ヲ變造シタル凡ノ如キ眞ノ爲替金額ニ對シテ其責メヲ免カレサルヘシ

又支拂人ニ於テ偽造ノ手形ナルニモ拘ハラズ之レカ引受ヲ爲シ其金額ヲ支拂ヒタル凡ハ振出人ニ對シテ資金ノ請求ヲ爲スヲ得ヘキカ變

造ノ場合ニ於テハ如何又偽造ノ場合ニ付テハ如何等ノ疑問ハ後章ニ於テ解説ス可キモ支拂人カ其詐偽ヲ爲シタル者又ハ詐偽ナルヲ知リテ利益ヲ占メントスル者ニ對シテ賠償ヲ求ムルヲ得ルハ疑ヲ容レヌ

之ヲ要スルニ偽造變造ノ手形ト雖モ情ヲ知ラサル者間ニハ其手形ヲシテ手形タルノ効力ヲ有セシメ支拂人ニ於テ一旦引受ヲ爲シタルハ後ニ至リ偽造若クハ變造ナルヲ發見スト雖モ其真正ノ引受ハ有効ノ者トシ損害ハ之ヲ負擔セサル可ラス若シ亦支拂人ニ於テ之ヲ拒絕シタル片ハ其前ノ讓渡人ニ償還請求ヲ要ム可シ此場合ニ於テ前ノ讓渡人ハ偽造變造ナルノ理由ヲ以テ之ヲ拒ムヲ得ス其前ノ讓渡人モ同様之ヲ拒ムヲ得ス故ニ此場合ニ於テ通常ノ手形ナランニハ追次前者ニ遡リ結局振出人ニ至ル可シト雖モ振出人ハ自己ノ署名ヲ偽ラレタル者ニテ自己ノ認定以外ニ義務ナキカ故ニ偽造變造ノ手形

ヲ受取リタル者ハ善意ナルモ偽造者又ハ變造者ニ對シテ要求スルノ外アラサルナリ然レモ此ノ原則ニハ一大制限アリ其制限トハ他ナシ一旦生シタル義務ノ變更アラサルト是レナリ故ニ例ヘハ支拂人ニ於テ百圓ノ手形ニ引受ヲ爲シタル片又ハ讓渡人其金額ノ手形ヲ他ニ讓渡シタル後手形ヲ變造シタル者アリテ二百圓トナスモ引受以外ニ義務ヲ負フヲナク振出人及ヒ變造セサル以前ニ讓渡シタル讓渡人ハ其當時讓渡シタル金額即チ百圓ニ付キ責任ヲ負フノミ之ニ反シテ偽造變造ノ後讓受ケタル者ハ所持人ニ對シ其責任ヲ負フ可シ是レ至當ノトニシテ詐偽ノ爲メ已ニ生シタル確定ノ義務ヲ變更セラル、ヲナケレハナリ

偽造變造  
ノ差異

本法ノ規定如斯シ然レモ偽造變造ノ手形ニ付テハ理論上尙ホ差異アリ左ニ之ヲ論セン

第一 偽造ハ具物ニ摸擬シテ作ルモノナルヲ以テ責任者ノ署名ヲ偽

ルニアラサレハ能ハス故ニ日付金額ヲ偽ルモノ、如キハ振出人ノ署名ヲ偽ルニアラサレハ偽造ニアラスシテ變造ナリ反之變造ハ手形ヲ新ニ作成スルニアラスシテ既存ノ手形ノ記事ヲ變更スル者ナルカ故ニ爲替上ノ當事者之ヲ行フヲ通例トス

第二 偽造ノ手形ニ於テハ其情ヲ知リタル者ニアラサレハ手形ノ正式ニヨリテ請求セラレサルヲ多カル可シト雖モ變造ニ付テハ重ニ手形上ノ訴追ニ於テセラル可シ例ヘハ茲ニ甲者アリ乙者ノ署名ヲ偽リ丙者ニ宛タル爲替ヲ偽造シ之ヲ丁者ニ讓渡シ丁者又之ヲ戊者ニ讓渡シタリトセンニ支拂人タル丙者ニ於テ引受ヲ爲シタルハ爲替タル効力アルモ若シ之ヲ拒絕シタルハ丁者ニ償還請求ヲ爲ス可シ又丁者ニ於テハ振出人ニ對シ償還ヲ求ム可キモ振出人ハ其責ヲ負フ可キモノニアラサレハ偽造者タル甲者ニ對シテ請求スルノ外ナシ甲者手形ニ署名シタルモノナランニハ手形上ノ訴ヲ以テ

ス可ト雖モ若シ否ラサルハ通常ノ賠償ヲ求ムルヲ得ルニ過キス反之變造ノ場合ニ於テハ爲替自體ハ存スルモノナルカ故ニ手形上ノ訴ヲ以テスルヲ多シ例ヘハ甲者金額千圓ノ手形ヲ受取リ之ヲ二千圓ニ變造シ更ニ乙者ニ讓渡シ乙者ハ支拂人ニ向テ請求セシニ支拂人之ヲ拒絕セシハ甲者ニ請求スヘシ又甲者ハ變造セシ千圓ニ付テハ振出人ニ請求スルヲ得サルモ眞ノ千圓ニ付テハ振出人ニ對シ要請求スルヲ得ヘシ又乙者モ眞ノ千圓ニ付テハ直ニ振出人ニ對シ要求スルヲ得可キナリ

## 第二章 手形ノ流通

### 第一項 裏書

裏書トハ手形ノ所有者自ラ手形支拂ノ擔保人トナリ其手形ヲ他人ニ讓渡スルヲ云フ其ノ裏書ノ名アルハ手形ノ裏面ニ之ヲ記スルカメナリ元來手形ハ融通ノダメニスル證券ナルハ其所持人ハ皆之ヲ他人ニ

手形ノ流通  
裏書

通常動産  
物ノ賣買  
ト裏書  
渡ノ差異

讓渡スヲ得ルハ手形ノ性質ト商業交通上ノ便宜ヨリ生スル當然ノ結果ナリ然レモ手形ノ流通モ所有權ヲ移轉スルニ過キスシテ通常動産物ヲ賣買スルト敢テ異ナラサルカ如シ然レモ通常動産物ノ賣買タル物件ト代價即チ金錢トヲ交換スルモノナリト雖モ手形ノモノタル通貨同様に効力ヲ有スルカ故ニ從テ之カ讓渡ニ付テモ多少異ナラサルヲ得ス今其主要ノ點ヲ擧クレハ手形ノ讓渡ハ其讓渡人ノ所有權ニ瑕疵アルキハ勿論全ク他人ニ賦スルモノト雖モ裏書ニシテ方式ニ適スル以上ハ手形讓受人ニ對シ完全ノ所有權ヲ移スモノナリ故ニ其ノ所有者ヨリ讓受タルモノト同一ノ効力ヲ有スルモノナリ例ヘハ讓渡人ハ代理ノタメ若クハ擔保ノタメニ占有シタルノミニシテ其ノ所有者ニアラスト雖モ其代理若クハ擔保ノ旨趣ヲ明記セサル限ハ其ノ所有者ハ讓受人ニ對シテ手形ヲ取戻スヲ得ス之ニ反シ通常動産物ノ賣買ニ於テハ讓渡人善意ナリト雖モ苟モ其物件ニ瑕疵アルカ又ハ讓渡

人其所有者ニアラサルトキハ賣買ハ茲ニ解除セラレ又讓受人ハ其ノ所有者ヨリ其物件ヲ取戻サル、トアル可キナリ又賣買ハ何等ノ方式ヲ要セス合意ニ依テ所有權ヲ移轉スト雖モ手形ニ於テハ必ス引渡ヲ要シ且ツ差圖式ナルトキハ或ル方式ヲ要スルナリ

尙ホ一ノ差異ハ讓渡人ハ爲替ニ付キ自己ノ有スル權利ヲ讓渡ニアラスシテ法式的ノ契約タル爲替ノ與フル權利即チ支拂人ヲシテ爲替金ヲ支拂ハシムル權利ヲ移スニ過キ故ニ裏書讓渡アレハ裏書讓渡人カ支拂人ヲシテ爲替金ヲ支拂ハシムルノ權利ハ消滅スルモ更ニ讓受人ニ其ノ權利生ス此點ヨリ見レハ讓渡ニ依リ讓受人ガ券面ニ對スル新權利ヲ生シ新爲替ヲ起シタルカ如ク裏書人ハ爲替振出人ト看做スベク償還ノ要求ニ逢ヒ其讓受人及ヒ總テ後ノ讓受人ニ對シテ償還請求ノ義務ヲ負フヲ猶ホ最初ノ振出人及ヒ自己前ノ裏書人ノ已ニ對シテ辨濟ノ義務アルカ如ク裏書人ハ讓渡ノ爲メニ爲替ニ關係スル諸人



ノ列ヲ全ク脱スルモノニアラザルナリ之ニ反シテ通常動産物ノ賣買ニ於テハ賣主ハ其物件ノ所有權ヲ讓渡スモノナルカ故ニ一度取引アル以上ハ賣買其モノハ全ク結了シ賣主前ノ所有者ハ買主ニ對シ何等ノ義務ヲモ有スルモノニ非ラス

而シテ手形カ流通性ヲ顯スニハ裏書方式ヲ必要トスルヲ原則トスト雖モ左ノ場合ニ注意スルヲ要ス

手形ノ裏書ヲ要セサル場合

同第一 無記名式ノ場合 無記名式ノ手形ナルハ裏書スルヲナク其手形ノ占有タニ引渡セハ同時ニ手形ノ所有權モ移轉セラレタルモノナリ

同第二

第二 裏書讓渡人ノ署名捺印ノミヲ以テ讓渡ス場合 此場合ハ讓受人ノ氏名ヲ掲ケサルカ故ニ他ニ讓渡ス場合ニ於テモ唯々其手形ヲ引渡スノミヲ以テ足ルモノトス故ニ此場合ニ於テハ各讓受人ハ皆ナ無名ノ裏書讓受人ニシテ其氏名ヲ記載セサル以上ハ假令ヒ幾回ノ移轉

ヲナスモ皆ナ自己ノ名義ヲ以テ讓渡スニアラスシテ最前ニ署名シタルモノカ裏書讓渡ヲ爲スト同一ノ姿ヲ爲スモノトス

同上第三

第三 反對ヲ明記シタル場合 裏書讓渡ハ券面ニ明記スルニ由テ之ヲ禁スルヲ得ヘシ(七二二)而シテ法文ニハ明記トアリト雖モ之ヲ禁スル旨ヲ明記シタル場合ノミヲ云フニアラス通例無指名或ハ無指圖等ノ語ヲ以テ此意義ヲ知ルヘキナリ故ニ其意義ニ疑惑ヲ生スルハ裁判官其時ノ事情ト商人社會ノ意見ニ從テ判決スヘキナリ例ヘハ甲カ丙ニ宛テ手形面ノ金額何圓乙ニ支拂フヘシト認メ之ヲ乙ニ渡シタルハ讓渡ヲ禁シタルモノナレハ乙ハ之ヲ丁ニ讓渡シ此際更ニ其差圖人ニ支拂フ可シト裏書スルモ其裏書タル唯々讓渡人ニ對シ効力ナキノミナラス振出人又ハ支拂人ニ對シ其効無カルベシ何トナレハ手形ニ記載シタル文面ニ付テハ凡テ諸關係者ノ守ルベキモノニシテ其振出人又ハ支拂人ニ其効アラサル所以ノモノハ支拂人及ヒ振出人ハ讓

振出ノ申  
流通ヲ禁  
シタル場  
合

出又ハ支拂人ニ其効アラサル所以ノモノハ支拂人及ヒ振出人ハ讓

## 制限裏書

渡スベカラザル手形ニ付キ義務アルモ譲渡シタル手形ニ付テハ其義務アラサレハナリ然ラハ其譲渡ハ如何ナル効果アルカト云ニ此場合ハ通常一般ノ證書ト見做スヘキナリ雖然手形ハ融通ノ爲メニスル有價證券ニシテ支拂期日ニ至ル迄ハ無限ノ裏書譲渡ヲ爲シ得ベキモノナリ此裏書譲渡ノ性質ハ不可動ノモノニシテ反對ノ合意ヲ以テ之ヲ制限スルヲ得ス故ニ裏書譲渡人ニ於テ其裏書譲渡ヲ禁スルモ其譲受人ヨリ更ニ裏書ヲ以テ譲渡シタル効力ハ變スルヲナシ換言セハ裏書制限ノ効力ハ其裏書譲渡人ヲシテ譲受人ニ次ク所持人ヨリ請求セラレベキ償還義務ニ對シ連帶責任ヲ免カレシムヘシト雖モ裏書譲受人ヨリ又之ヲ譲受ケタル所持人ハ自己ニ譲渡シタル裏書譲渡人及他ノ振出人裏書人ニ對シテハ償還請求ヲ爲シ得ベキナリ(七三三)例令ハ丙ナル受取人丁ニ手形ヲ譲渡サントスルニ當リ丁ノミニ仕拂フベシト裏書シ又ハ丁以外ノ人ニ譲渡ス可カラスト裏書シタル片ハ丁ハ其手

形ヲ譲受クルモ流通スルヲ得シテ單ニ支拂人ニ向テ手形面ノ金額ヲ請求シ得ルト其以前ノ裏書譲渡人ナル甲乙ニ對シ償還請求スルヲ得ルニ止マルナリ然レモ丁ヨリ譲受タル者ハ丙ニ對シテ請求スルヲ得スト雖モ其他ノ關係者ニ對シテハ請求ノ權利ヲ失フモノニアラスコレ他ナシ制限シタル裏書譲渡人ト其譲受人トノ間ニ於テハ特別ノ契約アリ又次后ノ各譲受人ハ裏書譲渡ヲ禁シタル裏書譲渡人アリシヲ認知シテ之ヲ譲受ケタルモノト認定スベキヲ以テナリ然ルニ裏書譲渡人ナル丙カ單ニ手形券面ノ金額ヲ丁ニ支拂フ可シト裏書スルヲアリ此場合ニ於テ該裏書ハ通常ノ裏書ナリヤ將メ又メ制限シタル裏書ナリヤト云フニ該裏書タル殆ント制限シタルモノ、如クナレモ法律ハ之ヲ以テ普通ノ裏書ナリト解釋スルモノトス其故ハ手形ナルモノハ振出ノ當時ニ於テ完全ナルモノナル片ハ反對ノ意思ヲ表白セサル以上ハ當然流通シ得ルモノナルヲ以テ裏書人ニ於テ特

別ニ流通ヲ禁スル意思ヲ表示セサル限りハ如何ナル書式若クハ差圖ヲ爲スモ決シテ流通ノ効ヲ失ハサルモノトス

又右ノ原理ハ無記名式ニモ適用スルヲ得ベシ例ヘハ甲ナル振出人カ無記名手形ヲ丙ニ讓渡シタルニ丙ハ之ヲ丁ニ讓渡スニ當リ只々其手形ヲ引渡セハ可ナルニ故ラニ自己ノ姓名ヲ記入シ裏書ヲ爲シテ丁ニ引渡シタル片ノ如キ是ナリ此場合ニ於テモ手形全體ニハ毫モ影響ヲ生スルコトナシト雖モ只々裏書シタル丙丁間ニ裏書人タル關係ヲ生スルノミ

第二項 裏書ノ方式

裏書ノ方式

裏書ノ方式トハ爲替手形讓渡ノ一方法ニシテ讓渡人ヨリ讓受人ニ或ル金額ヲ支拂フベキヲ差圖スル記載ナリ而シテ手形ノ所有權ヲ移轉スルニ裏書ノ方式ヲ要スルハ差圖人拂ノ手形ニ限ル故ニ此種ノ手形ニシテ裏書ナキ片ハ設令ヒ之ヲ引渡スト雖モ其移轉ハ手形ノ流通ニ

アラサルナリ然レモ此ノ差圖式ノ手形ト雖モ裏書アリタルノミヲ以テ所有權ヲ移轉スベキモノニアラス必ス之ニ伴ヒ引渡シナカル可カラス

裏書方式ノ必要條件

而シテ此裏書ノ方式ニ付テハ本法第七百二十三條ニ規定セリ曰ク裏書ニハ其年月日、場所、裏書讓渡人ノ署名、捺印、及ヒ裏書讓受人ノ氏名、アルコトヲ要スト故ニ裏書ニハ左ノ記載ヲ要スルナリ

第一 裏書ノ年月日 裏書ニ年月日ヲ記スルハ主トシテ裏書人裏書ヲ爲シタル片(能力者ナリシヤ否)又(分)散前ナルヤ否ヲ認知シ破産人ノ詐偽ヲ防クニアリ詳言セハ裏書人破産シタル場合ニ於テ其裏書ハ破産ヲ爲シタルモノニアラサルカ即チ裏書ハ無効ノモノニ非ラサルカヲ知ルノ必要アルナリ故ニ此日附ノ記載ナキ片ハ其手形ハ無効ナリ若シ又其日附ニシテ其日ヨリ前ノ日附ヲ記載スル片ハ偽造變造ノ刑ニ處セラル(七二四)此制規タル佛國ノ商法ニ於テモ規定スル所ニシ

テ破産ヲ爲シタル負債者又ハ支拂停止前ニ負債者カ故ラニ現在財産ヲ隠蔽シ債主ニ損害ヲ加フルモノヲ防カンカ爲メナリ夫レ手形ハ現金額ヲ表スル者ナレハ破産負債主ハ債主ニ拂フ爲メニ之ヲ保存セサルヘカラス然ルニ日附ノ記載ヲシテ讓渡人ノ隨意ニ放任スルキハ假冒ノ裏書ヲ以テ之ヲ他人ニ讓渡シ後チ竊カニ還附セシムルヲ得ヘシ而シテ此虛偽ノ日付タル裏書讓渡人自ラ之ヲ書シタルト他人之ヲ填記シタルトヲ論セスト雖モ故意ヲ以テ記シタルニアラサレハ偽造ノ罪ナキハ勿論ナリ

第二 裏書讓渡ノ場所

第三 裏書讓渡人ノ署名捺印

第四 裏書讓受人ノ氏名

以上ノ要件ヲ必要トスル所以ハ振出ノ場合ト敢テ異ナルナキヲ以テ茲ニ之ヲ贅セス而シテ裏書ノ方式ニ付テモ各國ノ規定スル處同シカ

ラス左ニ之ヲ説述スベシ

第一 場所 本法及、獨逸法律ニ於テハ場所ヲ記スルヲ必要トスルモ伊、佛等ノ法律ハ之ヲ必要トセス元來伊、佛等ノ法律ニ於テハ手形ハ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ振出スヲ必要トスルカ故ニ振出ニ於テハ其場所ノ果シテ隔離スルヤ否ヲ知ルノ必要アルモ裏書ハ場所ノ隔離スルヲ必要トセス故ニ之ヲ要セサルナリ之ニ反シテ本法及、獨逸法律ニ於テハ振出ノ場所ヲ記スル必要ハ法律ノ適用如何ニアリ故ニ敢テ振出ト裏書トヲ問ハス等シク之ヲ記スルノ實用アルナリ

第二 獨、英兩國ニ於テハ只々裏書讓渡人ノ氏名ヲ記スルヲ以テ足レリ然ルニ佛法ト本法トハ裏書人及裏書讓渡人及讓受人ノ氏名ヲ記スルヲ必要トセリ

裏書ノ順序

裏書ノ順序

裏書ノ順序ハ第一ノ裏書ニ受取人ノ姓名ヲ記載シ第二ニ第一ノ讓受

裏書順序ノ理由

人タル讓渡人ノ姓名ヲ記載シ裏書毎ニ前キノ讓受人ノ姓名ヲ記載シテ間斷ナキヲ要スルナリ(七三二)故ニ例ハ甲ヨリ乙ニ乙ヨリ丙ニ丙ヨリ丁ニ順次裏書讓渡シタル場合ニ於テ甲ハ乙ニ對シ乙ハ丙ニ對シ丙ハ丁ニ對シ各讓受人タルノ氏名アルニ於テハ即チ裏書ニ間斷ナキモノニシテ其裏書有効ナリ然レモ甲ヨリ乙ニ讓渡シタル爲替ヲ甲ヨリ更ニ丙ニ讓渡シタルニ其手形ノ甲ニ戻リタル記載即チ乙ノ氏名ナキカ如キ又ハ乙ヨリ丙ニ宛テタル裏書アルモ丁力之ヲ所持シ而シテ丙ノ裏書ナキ場合ノ如キハ裏書ニ間斷アルヲ以テ其裏書ハ無効ナリトス如此法律カ規定シタル所以ノモノハ左ノ二個ノ理由アルニ依ルナリ

第一 爲替上ノ義務ハ連帶シテ之ヲ負フヘキモノナルヲ以テ若シ裏書ニ間斷アル片ハ間斷アリシ手形ノ讓受人ハ何人ニ對シテ其ノ償還請求ヲ爲サントスルヤ斯カル不規則ノ讓受ハ法律上償還請求ヲ放棄シタルモノト見做サザルヘカラス是レ裏書ニ間斷アル讓渡

ハ其讓受人ノ爲メ効力ナキモノト爲シタルナリ

第二 盜取セラレ遺失セラレタル場合ニ於テ其不正手形ノ流通ヲ防遏スルニアリ例令ハ甲者所持ノ手形ヲ乙者ニ於テ竊取シ或ハ丙者カ遺失シタル手形ヲ丁者ニ於テ拾ヒ取り之ヲ他ニ讓渡サントスルモ被害者タル所有者ノ裏書アラサルヲ以テ其讓渡自ラ無効ニ歸スルモノナレハ斯カル不正ナル手形ノ流通ヲ爲ス能ハサルニ至ルベシ

以上ノ必要アリテ裏書ニ間斷アルヲ要スルモ讓渡ノ原因ニ間斷アルヲ要スルニアラス故ニ苟モ讓受人ノ氏名ニシテ間斷ナキ以上ハ氏名ヲ署シタルハ正當ノ原因ニ出テタルモノニアラス又ハ讓渡人無能力者ナリトノ原因アルモ方式的ナル性質ニ缺欠アリト云フヲ得ス故ニ斯カル場合ニ於テハ對手間ニ故障ヲ述フルヲ得ヘキモ他人即チ次ノ讓受人ニ對シテハ何等ノ効力ナキモノトス

指圖證券  
無記名證券  
ト手形  
ノ差異

以上ニテ裏書ノ事ヲ說了セリ依テ茲ニ商法第一編第七章第十一節ニ規定スル指圖證券及無記名證券ト手形トノ差別ヲ説述スベシ  
商法第三百九十四條ニ曰ク或ル金額又ハ商品ノ引渡ニ係ル書面契約ヨリ生スル債權ハ契約書カ其明文又ハ慣習ニ從ヒテ指圖式ナルキハ裏書ニ於テ之ヲ第三者ニ讓渡スコトヲ得ルト故ニ此等ノ證券モ手形ト同シク流通シ得可キモノニシテ此點ニ付テハ手形ト同一ナリ然レモ決シテ混同スベキモノニアラサルナリ今其重要ノ點ヲ上クレハ

第一 指圖證券及無記名證券ハ凡テ契約ヨリ生スル債權證券ナリ例ハ取引所ノ倉荷證券、寄託物ノ受取證券、各種ノ保險證券、船長ノ船荷證券、冒險貸借證券ノ如キ是ナリ故ニ此證券タル或ハ(金額ノ支拂)ヲ目的トスルモノアリト雖モ亦全ク物件ノ引渡ヲ目的トスルモノアリ又ハ或ル行爲ヲ目的トスルモノアリ之ニ反シ手形ハ一定ノ金額ヲ支拂フニアリテ物件ヲ支拂フコトヲ許サス

第二 差圖證券ハ其發行人共ニ支拂人タルモノニシテ換言セハ振出人毎ニ支拂人ノ位置ニアルモノトス手形ニ於テハ如斯場合ハ非常ノ例外ナリ

第三 差圖證券ノ發行人ハ其證券ノ呈示アルキハ券面上ノ金額又ハ商品ヲ裏書讓受人ニ引渡ス義務アルト雖モ留置權ノ原因タル反對債權ヲ有スルカ又ハ其他抗辯スルノ理由アルキハ引渡ヲ拒ムコトヲ得ルナリ故ニ此證券ニ付テハ發行人ト裏書讓渡人トノ關係ハ證券ノ行使ニ影響ヲ及ホスヘシ之ニ反シ手形ハ振出人ト支拂人トノ關係ハ手形ノ効力ニ必要ナシ從テ支拂人ハ既ニ領收シタル資金ハ相殺ノ原因タル理由ヲ以テ支拂ヲ拒ムヲ得ス又振出人ハ資金ヲ支拂人ニ引渡シタルトノ理由ヲ以テ償還ノ請求ヲ拒ムヲ得ス(七八五)  
尙ホ茲ニ一言スベキハ伊佛商法ニ依レハ違法ノ裏書ハ所有權ノ移轉ヲ爲サスシテ唯タ一箇ノ代理委任狀ニ過キスト明記セリ(佛商一三八)

伊二二四(是)レボチエー氏ノ説ニ依リタルモノニシテ氏曰ク違法ノ裏書ノ所持人ハ其所有主ニ非サルカ故ニ其有セサル權利ヲ移轉スルヲ能ハスト然ルニ近時ノ學說ハ違法ノ裏書モ對手間ニハ所有權ヲ移轉スルヲ得ベシトセリ其理由ハ該所持人ハ其手形ノ金額ヲ受取ルノ權アルモノニシテ此權利ハ證書ヲ賣渡スノ權利ヲ包含スルモノナリ證書ノ賣渡ハ支拂受取ノ一方ナルカ故ニ違法ナルモ之ヲ訂正シ得ルトキハ其裏書ハ完全ノ効力ヲ生スヘシト本法ハ之ニ付キ別ニ明文ナキヲ以テ多少疑ナキニ非スト雖モ又斯ク解釋スルモ差支ナカルベシ

變體裏書

第三項 變體裏書

變體裏書トハ滿期後又ハ代理若クハ擔保ノ爲メニナス裏書ニシテ本法第七百二十五條ニ規定スル處ノモノ是ナリ同條ニ曰ク爲替手形ハ滿期後ト雖モ裏書讓渡ヲ爲スヲ得又代理若クハ擔保ノ爲メ裏書讓渡ヲ爲スヲ得ト左ニ之ヲ説明スベシ

滿期後ノ讓渡

滿期後ノ讓渡

滿期後ノ讓渡トハ支拂期日ヲ過キタル爲替ヲ讓渡スヲ云フモノニシテ此點ハ佛國ニ於テハ敢テ法文ニ明記スル處ナシ故ニ學者間ニ議論ナキニアラスト雖モ爲替手形ニ約款アル片ハ其支拂期限アルニ係ラス其性質及其効力ヲ失フ可キニアラサレハ支拂期限後ノ裏書モ有効ナリト論スルモノ多ク千八百五十六年八月十八日大審院ニテモ同一ノ判決アリタリ又獨英兩國ニテモ之ヲ明記スル處ナシト雖モ裏書スルヲ得ルハ殆ント學說一定スルモノ、如シ本法ハ之ヲ明記スルヲ以テ英佛獨等ノ如キ疑問ヲ生スルヲアラサルナリ夫レ支拂期日ヲ經過セシ手形ヲ讓渡ス場合ハ實際商業社會ニ往々見ル處ニシテ之ヲ無効トスルハ甚々嚴ニ失スレハナリ而シテ此裏書ニ付キ最モ疑念ヲ生スルハ如此手形ハ新爲替タルノ觀ヲ呈スルカ如キト是ナリ何トナレハ支拂期日ハ裏書日附ノ前ニアリ故ニ手形引受人ハ手形所持人ニ對シ

如何ナル  
場合ニ  
期後ノ  
裏書アル  
カ

時効ニ至ルマテノ間ハ時日ノ如何ヲ問ハス常ニ其責ヲ有スルモノナルカ故ニ期日後ノ裏書讓渡ハ一覽直拂ナル新規ノ支拂期日ヲ有スル裏書讓渡ト看做スヲ得ベケレハナリ然レモ裏書人ハ讓受人ニ對シ手形振出人トナルモノニアラス蓋シ裏書ノ地位振出人ノ地位ト全ク同シカラサレハナリ然シテ如何ナル場合ヲ以テ滿期後ノ裏書アルカト云フニ手形面ニ仕拂期日ノ記載アルキハ此期日ヲ經過シタルキヲ以テ滿期後ト云フベク一覽拂ノ手形ナルキハ呈示ノ日ヲ以テ滿期ト爲シ又二ケ年内ニ呈示ヲ爲サ、ルキ又ハ二ケ年内ノ呈示期間ヲ其手形ニ定メサルキハ日附后二ケ年ヲ以テ滿期トナルモノナレハ此期間經過後裏書スルキハ滿期後ノ裏書トナルナリ

又法律ハ支拂ノ爲メ呈示及ヒ拒證書ノ作成ヲ事情ニ因テ正當時期内ニ爲スヲ得サル爲替手形ノ裏書讓渡ハ滿期後ノ爲替手形ノ裏書ト看做スモノトセリ(七二七)此制規タル英、獨、佛等諸國ニ於テモ是認スル

呈示ヲ爲  
ス能ハサ  
ル事情ト  
ハ如何

處ナリ其所謂呈示ヲ爲ス能ハサル事情トハ例令ハ大坂ニテ支拂フベキ爲替ヲ東京ニ於テ支拂期日又ハ其前日ニ於テ讓渡シ大坂ニ送附スル日數ナキキノ如シ斯カル場合ニ於テハ滿期後ニアラサルモ其讓受人ハ支拂期日ニ大坂ニ於テ呈示ヲ爲スヲ得ヌ又支拂期日經過ノ後拒證書ヲ作ルモ其効ナケレハ滿期後讓渡トセシナリ如斯手形ノ讓渡ヲ滿期後ノ讓渡ト同一ニ看做シタルハ支拂ノ爲メニスル呈示ヲ爲シ拒證書ヲ作成スル能ハサル事情アルニ拘ラス裏書讓渡ヲ爲シタルハ其必要ナル行爲ヲ放棄シタリト看做シタルニアリ

滿期後讓渡ノ効果

滿期後讓渡ノ効果ニ付テハ泰西諸國ノ法律規定スル處一様ナラス現ニ和蘭商法ノ如キハ此ノ裏書ハ通常債權讓渡ニシテ毫モ手形タルノ効力生セサルモノトセリ本法ハ第七百六十八條ニ之レカ規定ヲ爲セリ曰ク滿期後ノ爲替手形ノ裏書讓渡ハ其裏書讓渡人ノ權利及ヒ義務



ノミヲ裏書讓受人ニ轉附スルモノトス然レモ裏書讓受人ハ滿期後ニ爲替手形ノ裏書讓渡ヲ爲シタル各人ニ對シテ如何ナル方式ニモ羈束セラレズ且ツ獨立シテ償求權ヲ取得スト故ニ此ノ効果ニ付テハ支拂期日後ノ最初ノ讓渡人ト支拂期日後ノ讓渡人及ヒ其後ノ讓渡人トヲ區別シテ説明セサルヲ得ス

支拂期  
後ノ最初  
ノ讓渡人  
トノ關係

第一 支拂期日後最初ノ讓渡人ト讓受人トノ關係

凡ソ手形カ支拂期日トナリタル後ニ移轉セラレタルキハ其手形ニ係ル危險ハ買主ニ歸ス可シ故ニ其ノ讓受人ハ引受人振出人及ヒ該讓渡以前ノ讓渡人ニ對シテハ唯ダ自己ニ讓渡シタル者ノ權利ヲ取得スルニ止マルト雖モ又該讓渡人ト同一ノ義務即チ同一ノ方式ヲ守ラサル可ラス支拂期日後ノ讓渡人ニシテ既ニ時ヲ失ハス提示ヲ爲シ及ヒ拒證書ヲ作り且ツ之ヲ通知シタルキハ其讓受人ハ償還請求權ヲ執行スルヲ得ル者ニシテ此場合ニ於テハ時効ノ期限經過ス

ルニアラサレハ其ノ權利ヲ失フナシ(七二八)若シ支拂期日後ノ讓渡人ニシテ呈示ヲ爲サス又ハ其ノ呈示ハ時ヲ失ハス之ヲ爲シタルモ拒證書ヲ作り及ヒ之ヲ通知スルノ期ヲ愆テタルキハ償還請求權ヲ失フヲ以テ其後ノ讓受人モ亦之ヲ失フモノトス若シ亦タ讓受人ニ於テ已ニ呈示シタル手形ヲ讓受ケ尙ホ期ヲ愆ラスシテ拒證書ヲ作り之ヲ通知シ得ヘキハ法律ニ從ヒ此ノ處置ヲ爲サ、ル可ラス然ラサレハ償還請求權ヲ失フモノトス故ニ讓渡人ニシテ拒證書ヲ作り呈示ヲ爲シタル場合ニ於テハ讓受人ハ承繼人トナリテ償還請求權ヲ行フヲ得ヘキモ讓渡人ニシテ此等ノ方式ヲ爲サ、ルキハ讓受人ハ讓渡人ニ對シテ要求ヲ爲シ得ルノミ其他前ノ讓渡人又ハ振出人ニ對シテハ何等ノ權利モ有スルナシ且ツ其前ノ讓渡人ニ對スル要求タル爲替上ノ償還請求ニアラス通常債權讓渡ノ原則ニ基ク可キカ故ニ其ノ訴權ノ時効ハ民事ノ規則ニ從ハサル可ラス

支拂期日  
後ノ裏書  
譲受人ノ  
譲渡シタ  
ル場合

第二 支拂期日後ノ裏書譲受人ノ譲渡シタル場合

支拂期日後一旦裏書アリテ其後ノ譲受人ヨリ譲渡人ニ對スル關係ハ前第一ノ場合ト同シカラス此場合ニ於テハ手形所持人ハ此ノ人々ニ對シテ獨立ノ償還請求權ヲ有スル者ナリ何トナレハ支拂期日後ノ最初ノ裏書譲渡人ト其ノ譲受人トノ間ニアリテハ呈示ヲ爲シ拒證書ヲ作り通知ヲ爲シタルヤ否ヤヲ知ルノ必要アリト雖此ノ場合ニ於テハ拒證書ヲ作ルノ必要ナク且ツ此ノ譲受人ハ最初ノ譲受人ニ於テ其ノ方式ヲ履踐シタルモノヲ讓受ケタルモノナリト推定スルヲ得ヘケレハナリ故ニ最初ノ裏書譲渡人ニシテ方式ヲ履行セサル者ナランニハ振出人又ハ其他支拂期限後最初ノ譲渡以前ノ譲渡人ニ對シテハ償還請求ノ權利ナキモ自己ノ譲渡人及ヒ滿期後最初ノ譲渡人ニ對スル訴權ヲ失フ者ニアラス然レモ此レ唯々爲替上ノ訴權ニアラス故ニ讓渡人數名アルモ連帶義務ノ存スルヲナシ

一覽拂手  
形ト滿期  
后ノ手形  
ノ差異

若シ亦々前ノ讓渡人其ノ方式ヲ履行シタル片ハ何時ニテモ隨意ニ支拂ノ爲メ呈示スルヲ得此點ヨリ見ル片ハ恰モ一覽拂ノ新手形ニ變化シタルカ如シ然レモ眞ノ一覽拂手形ト同一ノモノニアラス兩者間ニハ較著ナル差異アリテ存スルナリ即チ一覽拂ノ手形ハ二ケ年間ノ期限ニ拘束セラル、ト雖モ此場合ハ否ラサルナリ(一)又一覽拂ノ手形ハ其ノ呈示ヲ爲シタルニヨリ始メテ支拂期日ヲ生スルモ此場合ハ其ノ爲替上ニ記載シタル期日ヨリ既ニ其ノ支拂期日ヲ過キタル者ナレハ支拂人ニ對シテ呈示ス可キモノニアラス故ニ支拂ノ爲メニスル手形上ノ方式ヲ必要トセス隨テ呈示後直ニ拒證書ヲ作ルヲ以テ要件トセス何トナレバ拒證書ハ支拂期日後直ニ支拂ナキヲ表スルニ外ナラスト雖モ此場合ニ於テハ支拂ヲ求ムルニアラス償還請求權ヲ行使スルモノニシテ其手續ノ如キハ既ニ履踐シタルヲ以テ普通ノ方式ニ拘束セラル、トナキヤ勿論ナリ(二)此レ法

代理ノ爲  
メ若クハ  
擔保ノ爲  
メニスル  
裏書

文ニ如何ナル方式ニモ羈束セラレストアル所以ナリ  
代理ノ爲メ若クハ擔保ノ爲メニスル裏書  
代理ノ爲メ若クハ擔保ノ爲メニスル裏書ニ付テハ本法第七百二十六  
條以下ニ規定アリ左ニ分説ス可シ

代理ノ爲  
メニスル  
裏書

第一 代理ノ爲メニスル裏書

歐洲諸國ニ於テハ他人ノ姓名ヲ假用シテ爲ス所ノ裏書ヲ用ユル  
アリ此ノ假用ニシテ詐僞ニ出テサルモハ適法ノモノトセリ例ヘハ  
手形義務者ト親密ナル交際アル者ナランニハ手形ノ支拂期限ニ至  
リ自ラ支拂ヲ督促シ又ハ其者ニ對シ自己ノ名義ヲ以テ訴ヲ爲シ竟  
ニ其ノ交ヲ破フルニ至ランヲ恐ル、者アリ又ハ裁判所ニ其ノ姓  
名ヲ出ストヲ嫌フ者アリ或ハ所持人支拂地ニ在ラサルモハ其ノ地  
ノ通信者ヲシテ手形支拂請求ヲ爲サシメント欲スル者アリ此等ノ  
場合ニ於テハ手形ノ本所有者ハ他人ノ姓名ヲ假用シテ適法ノ裏書

ヲ爲シ其他人ヲシテ手形ノ支拂請求ヲ爲サシメ且ツ必要ノ處置ヲ  
爲サシムルコトヲ得ヘシ又代辦人ニ或ル商品買入ヲ委任シ其代價  
ニ充ツルカ爲メ手形ヲ交付スルコトアリ代理ノ裏書トハ如斯場合ヲ  
云フモノナリ故ニ代理ノ爲メニスル裏書ハ其ノ代人ニ獨立ノ手形  
所有者ノ權利ヲ讓渡スニアラス單ニ處分權ノ執行ヲ委任スルニ過  
キサルモノニシテ全ク代理事件ヲ果スカ爲メ要スル裏書ナレハ縱  
令ヒ裏書ナリト雖モ所有權ハ依然所有者ニ屬スル者ナリ然レモ手  
形ナル者ハ方式上ニ於ケル性質ヨリ其ノ權利ハ所持人ニ屬スルヲ  
通例トシ占有者ニシテ苟モ正當名義ニテ且ツ甚シキ怠慢ニ出テス  
シテ取得シタルモハ眞ノ所有者ト見做ス可キ者トス(七一〇)故ニ代  
理ノ爲メニスル裏書ナリト雖モ其ノ代理タル旨ヲ券面ニ掲ケサル  
以上ハ之ヲ以テ第三者ヲ害スヘキニアラサルカ故ニ其實代理ノ爲  
メニスル裏書ナリト雖モ第三者タル支拂人振出人等ニ對シテハ眞

ノ裏書讓渡アリタルモノト見做ス可キハ當然ナリ本法第七百二十九條ハ此ノ原則ヲ明示シタルニ過キス曰ク

代理ノ爲メ又ハ擔保ノ爲メニスル裏書讓渡ハ其ノ目的ヲ爲替手形ニ記載セサルキハ第三者ニ對シテ眞ノ裏書讓渡ナリ

代理タル旨趣ヲ券面ニ記載セサル場合

ト故ニ苟モ委任者ニシテ手形ヲ代理者ニ交付シ格段ナル旨趣ヲ券面ニ明記セサル以上ハ假令本人ト代理人トノ間ニ如何ナル契約アルモ委任者ハ第三者ニ對シテ委任踰越ノ事ヲ以テ之レニ故障ヲ述フルコトヲ得サルナリ何トナレハ代理タル旨ヲ明記スルニアラザレハ第三者ハ其ノ事情ヲ知ルニ由ナケレハナリ故ニ此ノ場合ニ於テハ委任者ハ代理人ニ對シテ通常民事ノ訴求ヲ爲シ得ルニ過キサルモノトス又第三者タル讓受人又ハ支拂人振出人等ニシテ代理者タルコトヲ知リタルキト雖モ右ト同一ニ決定ス可キヤ否ヤニ付テハ多少疑ナキニアラスト雖モ此場合ニ於テハ代理法ノ原則ニ基キ其情

代理タル旨趣ヲ券面ニ記載セサル場合

ヲ知リタル者ハ委任者ニ對シテ其ノ責ヲ免カレサル可シ  
又代理タル旨趣ヲ明記シタルキハ如何ト云フニ此ノ問題ニ付テハ歐洲ニ於テハ左ノ二説アリ其ノ第一説ニ曰ク代理者タル讓受人ヲシテ權利義務ヲ實行スル權ヲ付與セシムルノミナラス更ラニ眞ノ讓渡ノ權利ヲ付與シタル者ト爲シ從テ讓受人タル代理者ハ手形ニ關シ眞ノ讓受人ト同シク起訴其他裁判上ノ手續ヲ爲シ又ハ拒證書ヲ作ル義務アルノミナラス其ノ手形ノ讓渡ヲ爲シ得ヘキ者ナリト  
第二説ニ曰ク代理者ハ本人ノ或ル行爲ヲ代表スルニ過キス處分權ヲ有スル者ニアラザレハ苟モ反對ヲ明記セサル以上ハ手形ヲ第三者ニ讓渡ススコトヲ得スト此點ニ付キ本法ノ規定如何ト云フニ最初發布ニナリシ商法ニ於テハ全ク前説ヲ採用シ管ニ讓渡人ノ權利義務ヲ行フ權ヲ付與スルノミナラス尙ホ更ラニ眞ノ讓渡ヲ爲スノ權ヲモ付與スルモノトセリ故ニ讓渡人ニシテ殊ニ讓渡ヲ禁セサル以

本法ノ規定

上ハ代理者タル譲受人ハ所有者同様之ヲ讓渡スヲ得タリシモ之レヲ修正シ後説ヲ採用スルコトニセリ即チ第七百三十條ニ曰ク代理ノ爲メニスル裏書讓渡ニシテ其目的ヲ記載シタル片ハ其裏書讓受人ハ裏書讓渡人ノ權利及ヒ義務ヲ行フ但シ特別ノ記載アルニアラサレハ眞ノ裏書讓渡ヲ爲スヲ得ス下故ニ特別ノ記載ヲ爲スニアラサレハ讓受人ハ讓渡人ノ權利義務ノ執行ヲ爲スノミニテ眞ノ處分權ヲ有セサルナリ

擔保ノ爲メニスル裏書

第二 擔保ノ爲メニスル裏書

擔保ノ爲メニスル裏書トハ質入ノ名義ヲ以テ擔保ノ爲メ爲替手形ヲ移轉スルヲ目的トスル裏書又ハ寄託ノ爲メニスル裏書ヲ云フ此裏書モ代理ノ爲メニスル裏書ト同シク所有權ハ尙ホ裏書讓渡人ニ存スル者ナレハ眞ノ裏書讓渡ノ効ヲ生スヘキ者ニアラス何トナレハ主タル債務ノ擔保トシテ裏書シタルニ過キスシテ主タル債務ノ

前商法ト修正商法ト規定ナシ異ニス

辨濟アリタル片ハ其ノ裏書シタル手形ハ當然債務者タル讓渡人ニ還付セサル可ラサレハナリ然レモ前已ニ述ヘタルカ如ク手形ハ融通主義ニ基キ苟モ其手形面ニ擔保ノ爲メニスルコトヲ明記セサル以上ハ讓渡人ト讓受人トノ間ハ兎ニ角第三者タル裏書讓受人又ハ支拂人振出人等ニ對シテハ擔保タル契約ノ効力ノ及フ可キモノニアラサルガ故ニ讓渡人ハ此等第三者ニ對シテハ故障ヲ述フルヲ得サルナリ然ラハ券面ニ之ヲ記載シタル片ハ如何前ノ商法ニ於テハ此場合ニ於テモ眞ノ裏書讓渡トナシ讓受人ハ處分權ヲ有スルモノトセリ蓋シ起案者ノ意見ハ擔保ノ爲メニスル裏書ニハ二様ノ方法アル者ニシテ即チ一ハ既ニ他人ノ振出シタル手形ヲ所持スル者カ自己ノ債權者ニ裏書シテ交付スルモノ一ハ債務者カ新ニ爲替手形ヲ作成シテ之ヲ債權者ニ交付シ債權者ヲ受取人トナシ自ラ支拂人トナル場合ニシテ換言セハ債務者カ債務ノ擔保ノ爲メ爲替手形ヲ

作成シ自ラ支拂人トナリテ之ヲ債權者ニ交付スル者はナリ此等ノ裏書ニ於テハ設ヒ擔保ノ爲メナリトノ旨ヲ記載スト雖<sup>凡</sup>其ノ記載タル重要ナルモノニアラサレハ眞ノ讓渡ノ効力ヲ妨ク可キモノニアラス(七〇七)如何トナレハ爲替ハ法式的性質ヲ有シ合法ノ原因ハ當然包含スヘキモノニシテ權利上ノ關係如何ハ毫モ問フ可キ者ニアラサレハナリ故ニ裏書讓受人ハ眞ノ讓受人トシテ其ノ手形ヲ賣拂ヒ其他總テ爲替上ノ處置ヲ爲スコトヲ得又其手形ヲ債權者ヨリ讓受ケタル者ハ通常ノ所持人ヨリ讓受ケタルト同シク支拂人振出人其他讓渡人ニ對シテ爲替上ノ總テノ權利ヲ行フコトヲ得ヘシ然レトモ債務者ニシテ手形ヲ以テ擔保シタル債務ヲ支拂ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ消却スルルハ手形ヲ取戻スコトヲ得ヘキ者ナリト然レモ斯カル規定ニテハ實際繁雜ナルノミナラス若シ辨濟ヲ爲スカ其他ノ方法ニヨリテ主タル債務ヲ消却シタルモ其手形タル讓受人ノ手

裡ニ存セスシテ既ニ第三者ニ移轉シタルルハ如何ニスヘキカ此場合ト雖<sup>凡</sup>尙ホ取戻シ得ルトセハ第三者ノ權利ヲ侵害スル鮮少ナラサルノミナラス如斯ナルルハ何人モ其手形ヲ讓受クルモノアラサル可クシテ遂ニハ手形ノ流通ヲ杜絶スルニ至ル可シ若シ亦タ第三者ニ對シ取戻スヲ得ストセハ債務者ハ甚ダシキ損害ヲ被ムルコトアル可シ何レニシテモ適理ナリト云フヲ得ス是レ今回修正ヲ爲シタル所以ナラン而シテ其ノ修正ニヨレハ債權者ハ債權ノ期限ヲ經過スルモ辨濟ヲ受ケサル場合ノ外眞ノ裏書讓渡ヲ爲スヲ許サ、ルナリ(七三一)

茲ニ一ノ疑問アリ法文ニ債權ノ辨濟ヲ受ケサル場合トアリ此ノ受ケサル場合トハ辨濟ヲ受クル能ハサル位地ニ至リタルヲ云フカ又ハ辨濟ヲ受ケサル場合ヲ指スカ如何ト云フニアリ予ハ以爲ラク辨濟ヲ受ケサル場合トハ辨濟ヲ受クル能ハサル場合ニ至リタルヲ云

法文ノ債權ノ辨濟ヲ受ケサル場合トハ如何

フモノナリト信ス何トナレハ若シ之ヲ反對ニ解スル片ハ主タル債務ヲ辨濟スル義務ノ生セサル片(例ヘハ有期ノ義務ニシテ期限内ノ場合ノ如シ)ト雖モ債權者ハ讓渡スコトヲ得ヘクシテ竟ニ前陳ノ弊害ヲ防ク能ハス修正ノ効力アラサレハナリ

右二個ノ裏書ニ付テハ其ノ所有權ヲ付與シタルニアラス故ニ委任者又ハ擔保ノ爲メ裏書シタル讓渡人ニ於テモ更ラニ裏書讓渡ヲ爲スヲ得ルヤ勿論ナリ

以上ニテ裏書ニ關スル原理ヲ説述セリ尚ホ讀者ノ便利ノ爲メ其ノ書式ヲ示サン

裏書ノ書式

「買受人又ハ讓受人ノ氏名	表面之金額何某殿又ハ同人指圖
人へ御支拂可被成候也	
年月日	何府何郡何町何番地
	何 某印
	「賣渡人又ハ讓渡人氏名

裏書補箋ノ書式

裏書	裏書ノ書式ハ本紙ノ裏面ニ
同シ	
補箋ヲ附シタル者ノ印	

實印

第三章 能力及權限

能力及權限  
對手ノ能

第一項 對手ノ能力

凡ソ手形ハ商業上ニ行ハル、信用證券ナルカ故ニ振出其他手形上ノ取引ハ商事ニ關シ隨テ爲替上ノ能力ハ商業ヲ爲ス能力ヲ有スルモノタルヲ要スルハ自然ノ順理ナリ本法第七百條ニ曰ク商ヲ爲スヲ得ル各人ハ爲替義務ヲ負フコトヲ得ルト而シテ商業ノ能力ニ付テハ商法第十一條第十二條ニ規定スル處ナリ即チ左ノ如シ

- 第一 獨立シテ義務ヲ負フコトヲ得ルモノ
- 第二 男女ヲ問ハス未成年者ニシテ年齢十八才ニ滿チ父母又ハ後見人ノ承諾ヲ得テ獨立ノ生計ヲ立ツル者
- 第三 夫ノ明示又ハ默示ノ承諾ヲ得タル婦
- 第四 獨立シテ義務ヲ負フコトヲ得サル者ト雖モ後見人ニ依テ商ヲ爲スコトヲ得

商業ヲ爲ス能力ニ付キ本法ノ規定スル處如此故ニ手形上ノ能力ハ是等商業上ノ能力ヲ有スルモノナラサル可カラスコレ必竟爲替取引ヲ以テ商業ヲ營ムコト同一視シタルニ基クモノナリ故ニ其取引ヲ爲スニハ一般ニ係ルト商業上ノ爲メニスルトヲ問ハス商業ヲ爲ス能力アルヲ必要トス商人タルノ能力アラサルモノハ爲替法上ノ義務ヲ負フコト能ハス然レモ其無効ナルコトハ唯モ爲替上ノ義務ニ係リ敢テ民法ヲ以テ判定スヘキ一般ノ義務ニ關セサルナリ民法ニ依レハ商ヲ爲ス能

カラ有セサル幼者ナリト雖モ後見人ニシテ法律ニ適シ其取引ニ對シテ同意ヲ述ヘタルモ未丁年者ト雖モ其義務ヲ負フコトアリ此等幼者ノ爲シタル爲替上ノ義務ハ爲替上ノ義務トシテ其効ナキモ民法上ノ義務トシテ其責任ヲ負ハサルヲ得ス若シ否ラサルモ未丁年者ニ於テ其取引ニ依リ不正ノ利益ヲ占ムルニ至ルヘシ但シ幼者カ利益ヲ得タルモニ限ル

能力欠缺ノ効果

能力欠缺ノ効果

本法ハ手形ニ爲替無能力者ノ署名アルモ其他ノ署名ノ効力ハ此カ爲メニ妨ケラル、コトナシ(七〇)トセリ夫レ手形ハ一定ノ法式契約ニシテ獨リ契約者雙方ノ合意ヲ以テシ又ハ證書ヲ以テスルモ未モ其効力ヲ有セス必ス爲替法ニ於テ特別ニ定ムル法式ニ依ラサルベカラス然レモ手形ニシテ其法式ニ適スル以上ハ設令無能力者ノ署名アリト雖モ其他ニ義務ヲ負フヘキ能力者ノ署名アレハ無能力者ノ署名ノ爲メニ



公法上ノ無能力者ト  
民法上ノ無能力者ト  
ノ區別

其効力ヲ失フモノニアラス故ニ爲替上ノ義務ハ各自獨立ノモノニシテ他人ノ義務ノ効力如何ニ關係スルモノニアラサルナリ然レ此點ニ付テハ公法上ノ無能力者ト民法上ノ無能力者トヲ區別セサル可ラス民法上ノ無能力例ヘハ甲カ乙ナル未丁年者ヲ受取人トシテ一通ノ手形ヲ振出シタル場合ニ乙ハ其手形ニ裏書シテ之ヲ丙ニ移轉シ丙ハ丁ナル支拂人ニ對シ支拂ヲ請求シタルニ之ヲ拒絕シタルニヨリ更ニ乙ニ對シ償還請求ヲ爲スモ乙ハ無能力者ナル故ヲ以テ償還ノ義務ニ故障ヲ申立ツルヲ得ルト雖モ甲ハ支拂ノ義務ヲ免カル、トヲ得ヌ又幼者爲替ヲ振出シタルニ支拂人引受ヲ爲シタル片ハ支拂人直ニ其爲替ノ責ニ任シ未丁年者ハ其引受又ハ支拂ヲ爲ス者ナキモ其責ヲ負擔スルヲ須ヒス之ニ反シ公法上ノ無能力者ニ關シテハ右ト同シカラス故ニ例ヘハ官吏ハ商業ヲ營ムヘカラサル制規ナルニ之ヲ爲シ爲替ニ署名シタル片ハ其署名充分効力アルモノトス然レモ癡癪人、浪費者及

癡癪人浪

破産者ノ如何

幼者ハ手形ヲ移轉スルヲ得

ヒ破産人ノ如キ元來義務ヲ負フベカラサル者ノ署名ノ無効ナルハ法律ノ原則ナリ何トナレハ契約ノ能力ニ關スル一般ノ規則ハ爲替ニモ適用シ得ベキモノナレハナリ之ヲ要スルニ無能力者ハ手形面ノ責任ヲ負擔スルヲ得サルモ手形ノ所有權ヲ移轉スルヲ得ヘキモノトス若シ幼者又ハ婚婦ニシテ商ヲ爲ス能力ナキモ手形ヲ移轉スルノ能力ヲ有セザレハ手形融通ヲ自由ナラシムル能ハサルノミナラス此場合ニ於テ全ク其取引ヲ無効トスル片ハ手形ニシテ一幼者ノ手裡ヲ經過シ來レハ其後ハ恰モ贋造紙幣ヲ所持スルト同シク其所持人ハ非常ニ迷惑セサルヲ得サルベク而シテ所持人ニ迷惑ヲ蒙ラシムルハ手形ノ融通ヲ妨止スルモノナレハナリ

以上爲替上ノ能力ニ付キ大略之ヲ説明セリ尙ホ之ヲ各國ノ法律ニ參照スルニ各國全ク同一ナリトセス佛國ニ於テハ未丁年者ノ爲替署名ヲ無効トシ唯々民法上ニ於ケル通常ノ義務ト看做シ又男女ヲ問ハス

本法律ト各  
國法律ト  
ノ比較

商人マラサル幼者及既婚ノ婦ニシテ夫ノ許可ナキ者ニ就テハ其商人  
タルヲ得可キモノト雖モ爲替上ノ無能力者ト爲シ此等ノ者ノ作り  
タル爲替手形ハ絶對的無効ニシテ單純ノ約定書ノ効ト雖モ猶ホ之ヲ  
有セス唯々此等幼者カ手形ニ依リ已レヲ利シタル丈ケノモノヲ負擔  
スヘシトセリ(佛商一一三、一一四)獨乙ニ於テハ爲替振出ノ能力ハ全ク  
民法ニ據テ判定スベキモノトシ未丁年者ト雖モ其父又ハ後見人ノ連  
署或ハ同意ヲ得タルモハ有効ノ爲替義務ヲ負擔シ得ベク又婚婦ニシ  
テ其夫ノ同意又ハ連署ヲ得タルモ同一ナリ而シテ其同意ハ必スシ  
モ爲替上ニ明掲スルヲ須ヒス默認ヲ以テスルモ妨ケナシ例ヘハ其子  
ノ振出シタル爲替ニ承諾ヲ與ヘ又ハ其婦ニ宛テ振出シタル爲替ノ支  
拂ヲ爲スカ如キ是ナリ(獨條例第一條)英國ニ於テハ契約ヲ締結スル  
ヲ得ル能力ヲ有スルモノハ手形ヲ振出ノ能力ヲ有ス故ニ無能力者ハ  
此ノ能力ナシ又有夫ノ婦ハ夫カ重罪ノ刑又ハ追放ノ刑ヲ受ケ或ハ外

國ヨリ歸國セサル場合ニ於テハ一般ニ手形ヲ振出スノ能力アリトセ  
リ其他瘋癲者醉狂者ノ如キハ手形振出ノ能力ヲ有スレモ其手形面ノ  
契約ヲ取消シ得ベキモノトセリ  
故ニ英國ニ於テハ佛國及ヒ本邦ノ如ク商人非商人ノ間ニ區別ヲ設ケ  
サルナリ加之ナラス英國ニ於テハ會社モ手形振出ノ能力ヲ有セス唯  
々條例ヲ以テ新ニ此能力ヲ附與スル場合ヲ例外トセリ又同國ニテハ  
銀行ヲシテ無限ニ約束手形ヲ發行スルヲ禁セリ其理由ハ銀行ニシ  
テ無限ニ此手形ヲ發行シ得ルモノトセハ拾萬圓ノ資本金ヲ有スル銀  
行ニシテ百萬圓ノ金額ニ對スル約束手形ヲ振出シ從テ爲替資金ヲ備  
ヘスシテ資本不相當ノ振出方ヲナスニ至ル可ク果シテ如此ナレハ商  
業上ノ取引ハ誠ニ危險ニシテ爲メニ商業上ノ恐慌ヲ惹起スルヲ慮  
リタル者ノ如シ

對手ノ權

## 第二項 對手ノ權限

他人ヨリ特ニ委任ヲ受クルヲ無ク又ハ代理ノ事實ヲ明記スルヲナクシテ他人ノ爲メニ手形ニ署名スル者ハ是ニ依テ自己ニ責任ヲ負フモノトス(七〇三)此原則タル手形ハ流通ノ自由ト責任ノ明確トヲ要スルカ故ニ證書面ニ顯然記名シタル者ヲシテ責任ヲ負擔セシムルノ精神ニ基キタルナリ故ニ手形面ニ署名シタルモノハ其手形ニ對シテ實際如何ナル關係ノ存在スルヤ否ヲ論セス其手形ニ署名シタルモノ其責任ヲ負擔セサル可ラス然レモ其負擔ヲ負フハ左ノ場合ナリトス

第一他人ヨリ特ニ委任ヲ受ケタル事實ナクシテ署名シタル場合

第一他人ヨリ特ニ委任ヲ受ケタル事實ナクシテ其人ノ爲メ手形ニ署名シタルトキ 夫ノ仲買人等カ或ル賣買ノ委任ヲ受ケタルキ眞ニ委任者ノ利益ノ爲メ設命手形ニ付テハ新ニ委任ヲ受ケサルモ他ノ委任ニ由來シテ手形ニ署名シタル場合ノ如キ是ナリ例令ハ甲乙ノ間他ニ關係アル場合ニ於テ甲者乙者ノ委任ヲ受ケスシテ本人タル乙ノ爲メニ手形ヲ振出し自己即チ乙ノ姓名ノミヲ

其手形ニ記載シタリトセンニ此場合ニ於テハ甲者ハ設ヒ事實代人ナリト主張スルモ爲替上ニ於テハ本人乙ヲシテ其手形ニ付責任ヲ負ハシメズシテ甲即チ署名人タル代人ヲシテ其責任ヲ負ハシムルナリ又會社ノ頭取カ某會社頭取甲ト記名シタル手形ヲ振出すハ其責任ハ何人カ負擔スルヤト云フニ此場合ニ於テ手形面ノ責任ヲ負擔スルモノハ其會社ニアラスシテ頭取甲ナリトス故ニ代人カ本人ニ責任ヲ負ハシメンニハ本人ノ姓名ヲ明ニ券面ニ現ハシ代人ハ單ニ代人トシテ手形ニ記名シタルヲ記セサルヘカラス(七二九)然ルニ其記載ヲナサザルハ自己責任ヲ負フハ當然ナリ然レモ之レカ記載ヲ爲シタルハ其記載ハ署名者ノ自書スルヲ要セス他人ノ記シタルモ可ナリトス

第二他人ヨリ委任ヲ受ケタル場合

第二他人ヨリ特ニ委任ヲ受ケタルニ相違ナキモ其ノ代理タル事實ヲ明記セスシテ手形ニ署名シタル場合 他人ヨリ特ニ委任ヲ受

明記セサル場合

クルモ其代理タル事實ヲ明記セストハ果シテ如何ナル場合ニ生  
スルカ例ヘハ買主ニシテ其賣主ノ信用ヲ受クヘキ知己ニアラザ  
ル片已レノ知己ニシテ自己ニ信用アル銀行營業人ニ手形ヲ振出  
スヘキコトヲ囑托シ其代人タル銀行ハ買主ノ委任ヲ受ケタルニ拘  
ラス其事實ヲ手形ニ記セスシテ署名スルカ如シ又例ヘハ東京ノ  
甲者ヨリ大坂ノ乙者ニ商品ヲ賣渡シ乙者更ニ之ヲ長崎ノ丙者ニ  
賣渡シタリ此場合ニ於テハ甲者乙者ニ手形ヲ振出シ乙者モ亦更  
ニ丙者ニ之ヲ振出スコトヲ得ベキナリ然レモ斯ノ如キ二重ノ手數  
ヲ係クルハ繁雜ナルカ故ニ大坂ノ乙者東京ノ甲者ニ自己ノ囑托  
ニ依リ其計算ノ爲メ長崎ノ丙者ニ宛テ手形ヲ振出スヘキコトヲ依  
頼スベシ此際ニ於テ支拂人丙者ヨリ手形ノ辨濟ヲ爲スルハ乙者  
ハ甲者ニ對シテ其義務ヲ免カレ丙者ハ乙者ニ對シ其義務ヲ免カ  
ルヘシ如此場合ニ於テハ甲者ハ乙者ノ代人タルニ過キス故ニ其

事實ヲ明記スヘキニ之ヲ記セスシテ自己ノ署名ヲ以テ振出シタ  
ルカ如ク又例ヘハ東京ヨリ巴里ニ宛テタル爲替相場低落シテ巴  
里ヨリ倫敦ニ宛テタル爲替相場騰貴シタル片ハ巴里ニ於テ金額  
ヲ受取ルヘキ東京ノ銀行營業人ハ之ヲ倫敦ノ取引人ニ依頼シ直  
接ニ巴里ニ當テ手形ヲ振出スコトアルベシ此場合ニ於テハ依頼人  
ノ署名ヲ求ムルモ能ハサルヨリ自ラ之ニ署名スルコトアルヘシ然  
レモ代理タルコトヲ明記セサル片ハ自己ニ責任ヲ負フナリ

各國ト比

以上ノ原則タル各國何レモ認ムル處ニシテ獨逸ニ於テハ條例第九十  
五條ニ他人ノ爲メニ爲替ニ署名シタル者ハ自ラ其責任ヲ負ハサル可  
カラス委任ヲ受ケスシテ他人ノ爲メニ署名ヲナシタル者ハ縱ヒ其代  
人タルコトヲ爲替ニ明記スルモ亦同シト

佛國商法ニ依レハ他人ノ計算自己ノ名義ヲ以テ爲替ヲ振出スコトヲ得  
ベキモノトセリ故ニ仲買人ハ自己ノ名ヲ以テ任用者ノ委任ニ依リ其

計算ニ於テ手形ヲ振出スモノトス之レヲ計算ノ爲メノ振出ト云フ任  
用者ヲ指圖人ト云フ此ノ手形タル總テ姓名ヲ署シタル者ヲシテ直接  
ニ其義務ヲ負ハシムル者ナリ  
次ニ英國ノ規定ヲ見ン英國ニテハ條例第二十五條ニ規定アリ曰ク手  
形面ニ記名シタルモノカ手形ニ對シ責任ヲ負フト且ツ又同國ニ於テ  
モ代理人本人ノ實際委任ナク本人ノ姓名ヲ記シタル場合ヲ規定セ  
リ

### 第四章 手形ノ引受

手形ノ引  
受ノ定  
義

引受ノ何モノタルニ付テハ本法別ニ定義ヲ與ヘスト雖モ英國爲替  
條例ニハ之レカ定義ヲ爲シテ曰ク手形引受トハ支拂人カ振出人ニ對  
シ其指圖ヲ引受スル旨ヲ表示スルヲ云フト元來手形ハ甲者カ乙者ヲ  
支拂人トシテ金錢支拂ヲ差圖スル書券ニシテ之ヲ第三者ナル受取人  
丙者ニ交附スルモノトス此場合ニ於テ權利義務ノ關係ハ甲者及丙者

ノ間ニ生スルニ止マリ支拂人ハ概テ其義務ヲ知ラサルモノナリ又之  
ヲ知ルモ何等ノ關係ヲモ有セサルモノナルカニハ受取人丙者ハ不安  
心アルヨリ其手形ヲ支拂人乙者ニ提供シ乙者ハ之ヲ支拂フノ意思ヲ  
發表スル片ハ之ヲ引受ト稱ス一度此ノ引受ヲ爲スニ於テハ始メテ甲  
者ノ差圖ノ如ク手形ナル効力ヲ生スルナリ之ヲ要スルニ引受トハ支  
拂人カ手形所持人ニ對シ支拂期日ニ至リ其支拂ヲ爲ス場所ニ於テ振  
出人ニ代リ手形ノ金高ヲ支拂フベキ事ヲ契約スル陳述ヲ云フナリ而  
シテ此契約ノ性質ハ片務ノ契約ニシテ保證ノ性質ヲ含有ス何トナレ  
ハ手形支拂人ハ振出人ノ契約シタル義務ニシテ裏書人ノ保證シタル  
モノヲ履行スベキヲ所持人ニ約束スルモノナレハナリ故ニ引受ハ  
手形支拂ノ義務ヲ負フベキ能力ヲ有セサル可カラス幼者有夫ノ婦ノ  
如キ無能力者ハ適法ノ引受ヲ爲ス能ハサルナリ

引受ノ呈  
示

### 第一項 引受ノ呈示

引受ノ呈示トハ所持人ヨリ支拂期日ニ至リ確實ノ支拂ヲ受ケンコトヲ引受ケシムル爲メ支拂人ニ手形ヲ差出スヲ云フ蓋シ呈示ノ要ハ手形支拂ヲ請求セント欲スル片其手形ヲ支拂人ニ差出シ支拂人其手形ヲ受取り之ニ已ノ引受ケタル旨ヲ記載スル片ハ所持人ノ權利ハ確實ナル可キヲ以テナリ故ニ引受ナルモノハ手形ノ融通ヲ圓滑ナラシメンカ爲メ緊要ノモノナルカ故ニ所持人ニ此權利ヲ附與スルハ法律ノ注意ニ出テタルモノトス雖然是唯々所持人ノ行フコトヲ得可キ權利ニシテ其行ハサルヲ得サル義務ニアラサルナリ是本法七百三十四條ニ爲替手形ノ所持人ハ其手形ニ別ノ記載ナキ片ハ滿期日前ニ引受ノ爲メ支拂人ニ之ヲ呈示スルコトヲ得トアル所以ナリ然レモ一覽后定期拂ノ手形ハ別ニ短キ呈示期間ノ記載ナキ片ハ日附后遅クモ二ケ年内ニ呈示セサルヘカラシメ(第七三五)法文ニ一覽後定期拂ノ手形ノミヲ認メ一覽拂ノ手形ニ及ハサルハ他ナシ一覽拂ノ手形ニ於テハ一覽ノ爲メニ

一覽後定期  
期ニ引受  
形ノ手  
命シタル  
ルハ何故ナ

スル呈示ヲ必要トセス何トナレハ爲替ヲ見タル後即チ呈示シタル後ノ期限ヲ以テ支拂期日ヲ算スルモノニアラサルカ爲メナリ故ニ一覽後定期拂即チ手形ヲ見タルヨリ幾日ノ後ニ拂フベキモノナル片ノミ法律ハ引受ヲ求ムル義務ヲ手形所持人ニ命シタルモノナリ何故ニ斯カル義務ヲ命シタルヤト云フニ此手形ノ支拂期日ヲ定ムルモノハ手形引受ノ爲メ差出シタル時ノ日附ヨリ起算スルモノナリ例令ハ一覽後三ケ月ニ支拂フベキ手形ヲ一月一日ニ呈示シタル片ハ其支拂期日ハ四月一日ナリ故ニ此手形ハ豫メ呈示ヲ爲スニアラサレハ手形期日ヲ生セサルモノナリ然ルニ所持人ニ於テ之ヲ呈示スルノ義務アラサル片ハ數年ノ後ニ至ルマテ呈示ヲ爲サ、ルコトアルヘク如此ナル片ハ振出人裏書人ハ損害ヲ被ムルコトアルヘキヲ以テ法律ハ二年ノ后ニ呈示スベシ若シ呈示セサル片ハ振出人又ハ裏書人ニ對シテ償還請求權ヲ失フモノト爲シタル所以ナリ然レモ所持人カ支拂人ニ對シテ有ス

ル支拂請求權ハ時効ニ罹ラサル間消滅スベキニアラサルカ故ニ何時  
 ニテモ呈示スルヲ得呈示スルルハ其日ヨリ期限ヲ起算スベキモノナ  
 レハ法文ニハ單ニ振出人又ハ裏書人ニ對スル償還請求權ノミヲ認メ  
 ヤルナリ

各國法律  
 トノ比照

右ノ規定タル各國皆認ムル處ニシテ佛國ニ於テハ千八百十四年三月  
 十九日ノ法律ヲ以テ呈示期限ヲ二ケ年トセリ然レモ距離ノ大小ニ從  
 ヒ其期限ヲ六ケ月乃至二ケ年トセリ(佛國一一〇)然ルニ千八百六十二  
 年五月三日ノ法律ヲ以テ之ヲ半減シ三ケ月乃至一ケ年戰時ニ於テハ  
 之ニ一倍セリ獨逸ハ本法同様何レノ場合モ二ケ年トセリ又英國ニ於  
 テハ左ノ如ク規定セリ

一覽後拂ノ手形ハ必ス呈示ヲ要ス此手形ハ其定期ナルト否トノ間  
 ニ區別ナク相當ナル期限内ニ呈示スルヲ而シテ其如何ナル場合カ  
 相當期限ナルヤ否ハ實際ノ問題ナリ故ニ裁判官カ此事件ニ付對手

ノ關係商業ノ性質等ヲ取調テ之ヲ決セサルヘカラス實例ニ於テハ  
 此一覽後ノ手形ノ所持人カ二ケ月間呈示セス己ノ手ニ留置タル後  
 之ヲ流通シタルルルヲ以テ相當ナル期限ニ流通シタルモノト判定シ  
 タルヲアリ又僅々一ケ月間呈示スルヲナク己レノ手ニ留置タル後  
 流通シタル場合ヲ以テ尙ホ不相當ナル期限ニ流通シタルモノト判  
 決シタルルルアリ要スルニ商業ノ性質振出地支拂地ノ距離交通ノ遲  
 速等ヲ吟味シテ之ヲ定メサル可カラス

又伊國ニ於テハ一覽後拂ノ手形ナルルルハ其手形ヲ引受シタル日付ヲ  
 記シ若シ之ヲ記載セサルルルハ手形ノ日付ヨリ計算シ之ニ記載アル期  
 日ヲ以テ手形ノ支拂日トセリ(伊商二〇九)又此支拂期限ハ引受ノ日又  
 ハ引受ヲ拒ミタルルルハ拒證書ヲ作リタル日ヨリ起算スルヲナルカ故  
 ニ(同商二一八)同國ニテモ引受ノ呈示ヲ必要トスルモ呈示ノ期間ニ付  
 テハ實際ニ依テ判定スルモノトス故ニ此點ハ獨、佛、英、伊ト日本トノ間

ニ異ナル處アリ獨逸ニ於テハ一覽後支拂ノ手形ニシテ無期限ナル片ハ手形振出ノ後二ヶ月間ニ呈示スヘキモノト明文ヲ以テ時間ヲ一定シ佛國ニテハ三ヶ月乃至一年ノ猶豫アリ英伊兩國ニテハ一定ノ期限ナク本法ハ二ヶ年トセリ

引受ノ種類

第二項 引受ノ種類

引受ニハ左ノ種類アリ

振出人ノ命スル場合

第一 振出人ノ命スル場合 既ニ記述スルカ如ク手形所持人ハ爲替引受ヲ受クルノ處置ヲ爲シ得ベシト雖モ其義務アルニ非ラサルヲ通例トス然レモ其權利モ義務モ振出人ノ明言ヲ以テ反對ニ變スルヲ得ヘシ故ニ金高ノ僅少ナル手形又ハ支拂期限ノ短キ爲替或ハ振出人爲替資金ヲ直ニ準備スル能ハサルカ如キトキ又ハ拒證書ヲ作ルノ費用ヲ免カレンカ爲メ引受ヲ要セサル旨ヲ命スルヲアルベシ

引受ノ爲

又振出人ハ引受ノ爲メ手形ヲ呈示スベキ義務ヲ所持人ニ負ハシメ所

メ呈示スル義務ヲ所持人ニ負ハシメタル理由

持人ニ於テ引受ノ爲メ其手形ノ呈示ヲ爲サ、ル片ハ償還請求權ヲ失フ可キ旨ヲ券面ニ記スルヲアリ(七三四ノ二)コレ左ノ理由アルニ依ルナリ

(甲) 手形ニ完全ノ流通力ヲ與ヘントスルニ在リ何トナレハ引受ヲ經タル爲替ハ之ヲ取引スルヲ遙ニ引受ヲ經サルモノニ勝レルモノナレハナリ

(乙) 支拂人トノ關係ヲ明ニスルニアリ殊ニ一覽拂ノ爲替ニ在テハ所持人ヲシテ無益ニ支拂ノ爲メノ呈示ヲ延滞シ爲替資金ヲシテ支拂人ノ手ニ於テ紛失スルカ如キヲナカラシメンヲ要スルナリ

以上ノ理由アルカ故ニ若シ引受人引受ノ爲メ呈示ヲ爲サ、ルカ又ハ延滞スル片ハ自己ノ怠慢ノ爲メ自ラ損害ヲ招キタルモノナレハ償還請求權ヲ失フヤ勿論ナリ



他所拂ノ  
手形ナル  
ハ如何

若シ他所拂ノ手形ナルハ手形支拂人ノ住所ニ於テ引受ヲ求ムベキ  
カ又ハ支拂ノ場所トシテ手形ニ指定シタル住所ニ於テ其引受ヲ求ム  
ヘキカ此問題ニ就テハ佛國ニテハ學者間ニ左ノ説アリ

第一説 引受ハ何レノ場合ヲ問ハス引受ヲ與フベキ者ノ住所ニ於  
テ之ヲ爲スベシ何トナレハ支拂人已レノ住所ニアラサル場所ニ  
於テ手形ノ支拂ヲ爲スモノハ一ノ例外ナリ此例外ハ支拂人ノ住  
所ニアラサル他ノ住所ニ於テ手形ノ引受ヲ求ムルニ付キ別ニ  
利益ヲ有スルニアラス然ルニ手形支拂人ノ住所ニ於テ手形ノ引  
受ヲ求ムルハ手形支拂人ノ便益最モ大ナリトスト

第二説 ハ曰ク引受ハ支拂ヲ爲スノ約定ナリ此約定ハ手形ノ支拂  
ニ關係スルモノニシテ其義務ノ第一部分ナリ故ニ之ヲ求ムルハ  
其契約ノ執行ノ爲メ手形ニ指定シタル場所ニ於テセサルヘカラ  
ズ一ノ場所ニ於テ手形ノ引受ヲ爲シ他ノ場所ニ於テ其支拂ヲ受

ケシムルカ如キ繁雜ナル義務ヲ手形所持人ニ命スルハ不都合ナ  
リト云ハサルヲ得スト本法ハ別ニ明文ナシト雖モ引受ナルモノ  
ハ支拂ヲ確認スルノ一方法ナレハ何レノ場合ト雖モ所持人ノ隨  
意ニ放任シテ差開ヘナカルヘシ

一般ノ引  
受特別ノ  
引受

第二 一般ノ引受特別ノ引受 引受ハ之ヲ區別シテ一般ノ引受特  
別ノ引受ノ二種ニ區別スルヲ得ベシ

甲 一般ノ引受 一般ノ引受トハ支拂人カ單純ニ引受ヲ爲スヲ云  
フ即チ所持人ノ呈示ニ對シ支拂ヲ引受クルヲ云フ

乙 特別引受 特別引受トハ即日ニ引受ヲ爲サス又ハ條件若クハ  
其他ノ制限ヲ以テシ又ハ一部ニ付キ引受ヲ爲シタルヲ云フ(七三  
八)此場合左ノ如シ

(イ) 即日ニ引受ケヲ爲サル場合 手形ヲ呈示シタルハ二十四  
時間内ニ引受ヲ爲サルベカラズ若シ即日ニ爲サルハ單純

ノ引受ト云フヲ得サルナリ

(ロ) 條件引受 條件引受トハ引受ヲ條件ニ罹ラシメタル場合ニシテ例ヘハ支拂期日迄ニ振出人ヨリ資金到達セハ支拂フベシト云フカ如シ又例ヘハ二月一日ニ支拂フベシトノ指圖アル手形ニ對シ支拂人二月一日ニ支拂フ能ハサルモ三月一日ニ英國ヨリ某船到達セハ其日ニ支拂フベシト云フカ如シ

(ハ) 制限附ノ引受 トハ支拂地外ニテ支拂フベシ又ハ支拂期日外ニ支拂フヘシト云フカ如ク支拂ニ制限ヲ附シタルモノヲ云フ

(ニ) 一部ノ引受 トハ支拂金額ニ制限ヲ設ケタル引受ヲ云フ例令ハ券面ニハ百圓ヲ支拂フベシトアルニ支拂人ハ之ニ對シテ五十圓ヲ引受クルヲ承諾スル旨ヲ記スルヲ云フ

歐洲各國  
法律ト比

右特別引受ニ付キテハ歐洲諸國ニ於テモ其規定スル處一樣ナラス佛國ニ於テハ手形ノ引受ハ單純ナルヲ要ス若シ條件ニテ引受スルハ又

ハ制限引受ナルハ所持人ハ之ヲ拒ムノ權利アリトセリ(佛商第一二四)然レモ所持人ニ於テ此不規則ナル手形引受ヲ十分ナリトセハ支拂人ハ其取結ヒタル義務ヲ免カル、ヲ得スシテ此引受ハ法律ニ適シタルモノナレハ双方ノ間ニハ必ス執行スベキモノナリ又一部ノ支拂ヲ引受クルハ有効ナリ何トナレハ所持人ハ之カ爲メ毫モ損害ヲ受クルヲナク其引受ヲ得サル殘額ニ付テハ拒證書ヲ作り償還請求ヲ爲スヲ得レハナリ獨乙ニ於テモ之ト同様ノ規定ヲ爲セリ(同國條例第二十四條)又英國ニ於テモ之ヲ有効トシ凡テ合意一般ノ効力ニ係ラシメ受取人ノ撰擢ニ放任セリ  
本法ハ全ク英佛獨ノ條例ト同一ナリ唯タ一部ノ引受ノ場合ニ於テハ他ハ當然引受ヲ拒ミタルモノト看做セリ如斯制限引受ヲシテ對手ノ意思ニ放任シタル理由如何ト云フニ抑モ手形ヲ振出ス場合ト支拂人カ之ヲ引受クル場合トハ大ニ異ナルモノニシテ振出ニ條件ヲ許サ、

ルハ手形無條件ノ原則ニ依ルナリ而レモ振出ト支拂トハ各個獨立ノモノナレハ支拂引受ノ場合ニハ條件ヲ附スルヲ得ヘキナリ然レモ特別引受ナルモノハ振出人ノ指圖ヲ變更スルモノナリ然ルニ手形ノ受取人ハ如何ナル意思ヲ以テ手形ヲ受取り之ヲ融通スルヤト云フニ即チ振出人カ振出シタル當時ニ於ケルカ如ク其手形ハ無條件ニシテ其指圖ニ從ヒ引受アリ又支拂アルモノト思惟シテ之ヲ輾轉スルニ外ナラス既ニ斯ノ如キ意思ヲ以テ手形ヲ輾轉スルニモ拘ハラス之ヲ變更セラル、ハ結約當時ノ意思ニ反スルモノニアラスヤ結約當時ノ意思ニ反スルノ事項ヲ以テ結約對手ヲ檢束スルハ法律ノ許サ、ル處ナルカ故ニ其引受ヲ許諾スルト否トハ一ニ手形所持人ノ撰フ處ナリ尙ホ茲ニ一言スベキハ手形ヲ呈示セント欲スルモ其呈示ヲナシ得サル片例令ハ支拂人ノ家ヲ求ムルモ見當ラサル片又ハ支拂人死亡シタル片ノ如キハ如何ト云フニ如此場合ニハ例ヘ引受ノ呈示ヲ爲ス義務

引受ノ方式

アル場合ト雖モ呈示セスシテ可ナリ

第三項 引受ノ方式

引受ノ方式ニシテ最モ簡ナルモノハ支拂人手形ニ署名捺印スルニアリ引受ノ語ヲ記スルハ敢テ必要ニアラス本法第七百三十七條ニ曰ク引受ハ支拂人カ爲替手形ニ引受ノ旨ヲ記シテ署名捺印ヲ爲シ又ハ署名捺印ノミヲ爲スニ依リテ成ルト又其書式左ノ如シ(明治十六年大藏省告示第八號)

番號

爲替手形

一金千圓也

右金額來ル何月何日某殿又ハ某殿差圖人ニ此手形引換ニテ御支拂可被成候也

年月日

肩書 何某印

肩書 某殿

本文支拂ノ義移引受申候年月日

何某印

夫レ引受ナル者ハ手形ノ支拂ヲ確ムルモノナレハ券面ニ引受ヲ爲シタル旨ヲ記載スルヲ以テ通常トナセ凡機敏迅速ヲ貴フハ商業社會ノ常態ナレハ成ルベク手數ヲ省畧シ唯々支拂人ノ署名捺印アルノミニテ法律上有効ナル引受ト見做サ、ル可ラス故ニ設ヒ引受ノ旨ヲ記セズ本文ノ金額是認セリトカ又ハ承諾スルノ文詞ヲ證スルモ支拂人タル位置ニアル者カ手形ニ署名捺印ヲ爲ス以上ハ引受ヲ爲シタルモノト認定セサルヘカラス之ニ反シ引受ノ語ヲ記スルノミニテ署名アラサル片ハ引受ト云フヲ得ス例ヘハ甲カ乙ヲ支拂人トシテ手形ヲ振出シタル場合ニ於テ乙者ハ其手形ニ記載スルニ支拂引受ノ旨ヲ以テシタレ凡自己ノ署名ヲ爲サ、ル片ハ縱令ヒ支拂引受ノ旨ヲ記載シタル者ハ事實乙ナリト云フ證明アルモ裁判所ハ有効ナル引受トナサ、ルヘシ又引受ハ文章ニ記スルヲ要スルカ故ニ口頭ニテ引受ヲ爲ス片ハ其引受ハ無効ナリ而シテ本法ハ左ノ場合ヲ以テ有効ノ引受トナセリ

第一引受ノ旨ヲ記シ署名捺印シタル片

第二單ニ署名捺印アル場合 是レ手形ノ融通ヲ圓滑ナラシムル主旨ニ出テタルモノニシテ苟モ支拂人ニシテ署名捺印スル以上ハ券面ノ金額ヲ支拂フヲ承諾シタルモノト推定シ有効ナラシメタルニ外ナラス故ニ若シ券面ニ反對ノヲ記載シタル片ハ有効ノ引受ト云フヲ得サルヘシ例ヘハ此手形受取り置キタリトカ若クハ預リ置ケリトカ或ハ全ク反對ニ引受ケスト記載シタル場合ノ如キ是ナリ

引受ヲ別  
書ニ爲シ  
タル片ハ  
如何

然ラハ引受ヲ券面ニ掲ケス別書ニ之ヲ爲シタル片ハ如何ト云フニ此問題ニ付テハ佛國ニテハ議論アリテ甲說ハ引受ハ別書就中信書中ニ之ヲ爲スヲ得ベシト然ルニ乙說ハ曰ク引受ハ之ニ署名シ引受ノ文字ヲ以テ示サ、ル可カラス而シテ引受ハ簡單ナルカ故ニ信書中ニ爲スベキモノニアラス必ス券面ニ之ヲ記スルヲ要スト然ルニ本法ニ於テ

歐米ノ法  
ト本ノ法  
ト比照

ハ手形面ニ記スルヲ明記セシカ故ニ券面ニ記載スルノ外許サス  
尙引受ノ方式ニ付キ歐米諸國ノ法律ト本法ヲ比較スルニ佛商法ニ依  
レハ引受ノ方式ニハ左ノ要件ヲ必要トセリ

(甲)署名スルヲ(乙)引受ナル語ヲ記スルヲ獨乙モ右ト同一ノ記載ヲ必  
要トシ又英國ニ於テハ(甲)券面ニ引受ノ旨ヲ記載シ支拂人自ラ之ニ  
記名スルヲ但シ其記名ノミニテ他ニ引受ノ文字ナキモ可ナリ(乙)支  
拂人ニ於テ券面ノ約束ヲ履行スルニ金額ノ支拂ヨリ他ノ方法ヲ以  
テスベシトノ記入ヲ爲サ、ルヲ

以上ニ依レハ各國共ニ大差アルヲナシ唯々英國ニ於テハ振出人ニ於  
テ粗忽ニ己レノ姓名ヲ記入スルヲ遺忘シ或ハ金額ヲ記載スルヲ  
遺忘シテ其結果手形ノ完全ナル能ハサルモノアリ此不完全ノ手形ト  
雖モ尙引受ヲ爲スヲ得ルトセリ其理由ハ凡ソ證書ヲ作爲スルニ無  
効ノモノヲ作ルモノニアラス故ニ證書ハ成ルベク有効ニ解釋スベシ

トノ原則ニ基カサルヲ得ス況ンヤ商業上頻繁ニスル手形ノ如キハ設  
ヒ引受カ手形完備以前ニアルモ之ヲ無効トスヘカラスト云フニアリ  
本法及佛獨等ノ法律ニハ此規定ナシ此點ハ既ニ述ヘタルカ故ニ之ヲ  
贅セス

引受ノ効  
果

第四項 引受ノ効果

引受ノ効果ニ付テモ左ニ區別シテ説明スベシ

單純引受  
ヲ爲シタ  
ル場合

第一 單純引受ヲ爲シタル場合 支拂人ニ於テ單純ニ引受ヲ爲シタ  
ルキハ左ノ効果ヲ生スルモノトス

所持人ニ  
對スル効  
果

(甲)所持人ニ對スル効果 引受ノ効果ハ手形支拂人ヲシテ手形ノ  
金高ニ付キ直接ノ義務者タラシム元來爲替上ノ重ナル義務者ハ  
引受ナキ間ハ振出人ナリト雖モ尙引受人一旦引受ケタル以上  
ハ爲替上最大ノ義務者トナリ設ヒ振出人若クハ他人ヨリ爲替ノ  
支拂ヲ爲スニ必要ナル金額或ハ其他ノ擔保ヲ受取ルト否トヲ問

ハス支拂期日ニ爲替金額ヲ所持人ニ支拂フ義務ヲ負ハサルヘカ  
 ラズ何トナレハ爲替ノ性質タル決シテ他ノ權利上ノ關係ヲ援引  
 スルヲ許サ、レハ支拂人ニシテ支拂ヲ引受ケタル以上ハ確實ニ  
 シテ他ノ原因ノ爲メ阻却セラル可キニアラサルナリ是レ爲替義  
 務ノ長所ニシテ總テ法律上許ス處ノ故障ヲ申立得ベキ他ノ負債  
 證券ト異ナル所以ナリ然レモ此義務ハ手形所持人ニ對シテ約ス  
 ルモノニシテ所持人以外ノ者ニハ存セサルナリ唯ダ其所持人ナ  
 ル以上ハ受取人タルト他ヨリ讓受ケタルトヲ問フ事ナシ然レモ  
 振出人自己ニ爲替ヲ振出シタルキハ振出人自ラ直接ニ引受人ニ  
 對シ受取人タルノ地位ニ立ツヲ得ベシ何トナレハ此場合ニ於  
 テハ振出人自己ノ氏名ヲ受取人ノ場所ニ書スルヲ得レハナリ  
 此點ニ付キ各國ノ規定スル處如何ト云フニ獨乙ニ於テハ全ク本邦ノ  
 規定ト同一ナリ(獨條例第二三)佛國ニ於テハ支拂人ノ既ニ爲替資金ヲ

引受ハ取  
消スヲ得  
ス

領収シタリト否トヲ問ハストノ文詞ナシト雖モ(佛商第一二二)理論本  
 法ト同一ニ論ス可キハ學說ノ一定スル處ナリ

(乙) 引受ハ取消スヲ得ス 一度與ヘタル引受ハ決シテ取消スベ  
 カラサルモノナリ然レモ唯ダ引受ノ點ヲ手形ニ記シタルノミヲ  
 以テ引受ヲ爲シタリト爲スヘカラス引受タル手形ヲ所持人ニ引  
 渡シ始メテ其引受ヲ爲シタルモノトス假令ハ一旦引受ノ旨ヲ手  
 形ニ書シ之ヲ悔ユテ塗抹シタルモ如キ是ナリ殊ニ引受ヲ爲ス  
 ニハ熟考ノ爲メ支拂人ニ一日間ハ猶豫ヲ與フルヲ常トス此點ニ  
 付テハ泰西ノ法律或ハ明文ヲ以テ規定スルアリ或ハ特ニ規定セ  
 サル者アリト雖モ學說殆ント一定セリ如此ク引受ハ取消ス能ハ  
 サルヲ原則トスト雖モ場合ニ於テハ取消シ得ヘキ者トス即チ  
 (一) 引受人ト所持人ト合意アリシキ 此レ合意ハ各人ノ自由ナリト  
 ノ原則ニ基クモノニシテ所持人ニシテ引受取消ニ同意シタルキ

引受ヲ取  
消場合

ハ一旦引受ヲ爲シタリト雖モ之ヲ取消ス可ク得ベキナリ而シテ  
 如此所持人取消ニ同意シタルハ其結果如何ニ付テハ多少議論  
 ナキニアラサルヘシト雖モ此場合ハ振出人又ハ其他裏書譲渡人  
 ニ對シテハ請求權ヲ放棄シタルモノト看做シ償還請求權ヲ失フ  
 ヘシ

・(二)引受ノ強暴、詐偽ニ出テタルハ此場合ハ凡テ之ヲ行フタルモノ  
 ニ對シテ取消ヲ爲スヲ得ルノミ、善意ノ第三者ナル所持人ニ對シ  
 テ取消ス可ク得ス何トナレハ手形上ノ取引ニ於テモ惡意ヲ許ス  
 ベカスト雖モ善意ノ三者ヲ害スルハ手形法ノ眞理ニ非ザレハナリ  
 ・(三)能力ナキ場合 引受人能力ヲ備ヘサルハ義務ヲ負フ能サルカ  
 故ニ之ヲ取消ヲ得ベキナリ

佛國商法ニ依レハ引受ハ假令ヒ引受セサル前自己ノ知ラスシテ振出  
 人ノ破産ヲ爲シタルハト雖モ引受ハ取消スベカラスト規定セリ同國

住古ノ裁判例ニ於テハ此點一ノ問題ニカ、リ多數ハ之ヲ取消ノ原由  
 トセリ然ルニ商法編纂者ハ手形ハ轉帳流通スベキ特質ノ者ナレハ支  
 拂人ヨリハ寧ろ所持人ヲ保護スヘク且支拂人引受ヲ爲シタル後ハ振  
 出人資金ヲ出サ、ルト雖モ自ラ其責ニ任ス可キモノナレハ其引受  
 ヲ爲ス前ニ振出人ノ地位如何ヲ監察ス可キニ之ヲ怠リタルハ自己ノ  
 過失ナリトテ此ノ規定ヲ要シタリ本法ニ於テハ此點明記セスト雖モ  
 支拂人ハ資金ヲ受取リタリト否ヲ問ハストノ文詞アルニ依レハ振出  
 人ノ破産ハ引受取消ノ原由タラサルベシ  
 尙ホ茲ニ一言スベキハ引受人ノ錯誤ニ依テ引受ケタルハ之ヲ取消  
 ス可ク得ヘキカ此問題ニ付テハ宜シク區別シテ論セザルヘカラス支  
 拂人ノ名宛アル手形ナルハ取消ス可ク得サルハ勿論ナリ若シ否ラス  
 トセハ引受ハ取消スヘカラスル原理ハ到底實際ニ適用スル能ハサル  
 ニ至レハナリ之ニ反シテ他人ノ名宛ヲ記シタル手形ニ對シ錯誤ニテ

引受ケタル片ハ取消スヨヲ得ルハ勿論ナリ何トナレハ如此引受ハ何等ノ効力アラサレハナリ

・(丙)振出人ニ對スル効果 振出人ニ對シテ資金ヲ受取リタリトノ推定ヲ受ク

特別引受ノ効果

第二 特別引受ヲ爲シタル場合 特別引受ニ於テハ之ヲ承諾スルト否トハ所持人ノ自由ナリ何トナレハ特別引受ナルモノハ支拂人其義務ヲ負フモ所持人許諾スルノ義務アラサレハナリ故ニ例ハ支拂期限ヲ制限スルカ如キハ前契約ノ性質ヲ變更スルヲ得シテ唯々所持人ノ諾否如何ニ依テ或ハ有効或ハ無効トナルモノトス若夫所持人ニ於テ一旦制限引受ヲ附シタル手形ヲ許諾シタル片ハ引受ハ制限ナルモ擔保人ノ位置ニ在ル振出人又ハ裏書讓渡人ノ關係ハ無條件ナル擔保人タルニ過キサルカ故ニ其條件ノ附着スル限リハ擔保人タル義務ハ免脱スルモノトス故ニ例ハ甲乙ニ宛テ手形ヲ振出シ丙ヲ受取人ト

セシニ丙ハ丁ニ裏書シ現在ノ所持人ナル丁カ乙ナル支拂人ニ呈示シ手形ノ引受ヲ請求シ制限引受ヲ得テ之ヲ受取リタル片ハ敢テ甲若クハ丙ニ對シテ拒證書ノ作成又ハ通知スルヲナシ從テ擔保ヲ要求スルヲ能ハス然レモ左ノ區別ニ依ラサルヘカラス

(一)即日引受ケサル場合 此場合ニ於テ所持人承認シタル片ハ單純引受ト同一ノ効ヲ生ス

(二)條件又ハ制限ノ引受 此場合ニ於テ所持人承認シタル片ハ支拂人ト所持人ノ間ハ其條件又ハ制限ニ從フハ勿論ナリト雖モ振出人ニ對シテハ單純引受ト同一ノ効ヲ生ス

(三)一部ノ引受 引受シタル一部ニ付テハ單純ノ引受ト同一ノ効果ヲ生ス他ハ拒ミタルモノト看做ス

(四)無法式引受 此場合ニ於テハ八百四條ノ規定ニ從ヒ引受ニ依リ爲替資金ヲ受取リタリトノ推定ヲ受ク



引受ノ拒絶

第五項 引受ノ拒絶

手形所持人ヨリ手形引受ノ爲メ支拂人ニ呈示スルモ支拂人之ヲ肯ンセサルハ拒證書ヲ作り振出人裏書讓渡人ニ對シ支拂期日ニ至リ支拂ヲ爲スヘキノ擔保ヲ求ムヘシ舊商法ニ於テハ所持人カ義務トシテ引受ノ呈示ヲ爲ス場合ト否ラサル場合トヲ區別セサリシト雖モ修正商法ニ於テハ之ヲ區別セリ故ニ左ニ之ヲ分説スベシ

(一)義務トセサル場合 此場合ニ於テハ拒證書ヲ作ルモ又造ラサルモ所持人ノ自由ナリトス是レ法文ニ得ルトアルニ依リテ明カナリ

(七三四)必竟所持人ハ引受ノ呈示ヲ義務トセサルカユヘニ支拂人ニ於テ拒絶シタルハ拒證書ヲ作ルヲ必要トスベキ者ニ非サレハ拒證書ヲ作ラサルモ擔保請求權ヲ失ハサルヤ勿論ナリ

(二)義務トシタル場合 振出人ニ於テ引受ノ呈示ヲ爲スベキ旨ヲ券面ニ記載シタルハ支拂ヲ拒ミタルハ其翌日拒證書ヲ作ラサルベ

カラス

(三)一覽後定期拂ノ場合 此場合ニ於テ支拂人カ方式ニ依レル引受ヲ拒ミ例ヘハ單純引受ヲ拒ムハ又ハ特別引受ノ場合ニ於テ所持人之ヲ肯ンセサルハ若クハ引受ノ日附ヲ爲スヲ拒ムハ即チ其支拂人カ一覽ノ旨ヲ記スルヲ拒ミ或ハ唯日附ヲ書スルヲ拒ムカ如キ場合ニハ拒證書ヲ作ルヲ得ルナリ此場合ニ於テハ拒證書作成日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ若シ拒證書ヲ作ラサルハ呈示期限未日即チニケ年目ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ其翌日迄ニ拒證書ヲ作ラサルベカラス若シ之ヲ作ラサルハ振出人及ヒ裏書讓渡人ニ對シテ擔保ヲ求ムルヲ得サルナリ(四三五ノ二)

通知及擔保

通知及擔保

所持人拒證書ヲ作りタルハ其作成シタルヲ遅延ナク振出人又ハ裏書讓渡人ニ對シ通知セサルヘカラス而シテ此通知タル振出人又ハ

通知ヲ爲  
サ、ルル  
ハ如何

自己以前ノ裏書人何レニ爲スモ差支ヘナシト雖モ各義務者ニ悉ク通知スルハ所持人ノ權利ヲ保全スルニ付キ最モ利益アルヘキモノトス然ラハ通知ヲナサ、ルルハ如何ト云フニ前發布ノ商法ハ其ノ制裁トシテ償還請求權ヲ失フモノトセリ其理由ハ元來手形ニハ數多ノ關係人アリ此等ノ關係人ハ皆ナ連帶ノ義務ヲ負ヒ苟モ一人ニシテ償還請求ヲ受ケタル片ハ自己前ノ讓渡人ニ對シテ償還ヲ求ムルヲ得ルナリ故ニ支拂人ニシテ支拂ヲ拒ミタル片ハ速ニ通知ヲ得テ其計畫ヲ爲サ、ルヘカラス否レハ手形關係人ハ損害ヲ被ルヘシト云フニアリ然レモ此制規ニ付テハ立法上議論ナキニアラス或ハ曰ク此通知タル實際必要トスヘキモ之カ制裁トシテ償還請求權ヲ失ハシムルハ適正ニアラス何トナレハ所持人ハ引受ノ爲メ呈示シ或ハ拒證書ヲ作ルノ義務ヲ帶フルモノニアラサルカ故ニ隨テ通知ノ義務ヲ有スベキモノニアラス既ニ其義務ヲ有セサルモノトセハ之ヲ爲サ、ルモ何ソ償還請求

權ヲ失ハシムル理アラシキ現ニ佛獨伊等諸國ノ法律ハ斯ノ如キ制裁ナキニアラスヤ故ニ只々所持人カ引受拒絶ノ爲メニ有スル擔保義務ヲ失却セシムルノミニテ充分ナリト反對論者ハ曰ク振出人此通知ヲ受クル片ハ支拂拒絶ヲ知ルカ故ニ或ハ支拂人ヨリ曾テ送附シタル資金ヲ取戻スカ又ハ己レヲ保護スル爲メ必要ノ手續ヲ爲ス可キニ通知アラサル爲メ此等ノ者ハ損害ヲ被ルヘキハ當然ナリ故ニ所持人ニ於テ振出人又ハ裏書人損害アラサルヲ證明スルニアラサレハ償還請求ノ權利ヲ失フベシト

予ハ以爲ラク此通知タル支拂拒絶ノ爲メ危險中ニ在ル手形ノ保存處分ヲ爲スニ過キサルカ故ニ之カ爲メ曾テ呈示ヲ爲サ、ル時ニ劣ルノ地位ニ陥ラシムルハ決シテ適正ノモノニアラス換言セハ通知ハ一ノ保存處分ニ過キサルカ故ニ之レカ爲メ基本ノ權利ヲ失却セシムルモノニアラサルナリ立法者カ今回ノ修正ニ於テ之ヲ削除セシハ予ノ尤

モ賛成スル處ナリ本法既ニ如此削除セシ以上ハ設ヒ通知スヘキモ亦  
タ之カ通知ヲ爲サ、ルモ敢テ何等ノ制裁アルニアラス只々擔保ノ利  
益ヲ失フニ過キササルナリ尙其効果ノ一ニ付テハ左ニ之ヲ分説セン

所持人ヨ  
リ通知ヲ  
爲シタル  
場合

(一)所持人ヨリ通知ヲ爲シタル場合 所持人ニシテ拒證書ヲ作り通  
知ヲ爲シタル片ハ權利ノ保全ヲ爲シタルモノナレハ其効果トシテ  
振出人又ハ裏書讓渡人ニ對シテ爲替金額ハ勿論拒證書作成又ハ戻  
爲替取組ミノ費用ニシテ荷モ支拂人支拂ヲ拒絶シタル爲メ所持人  
ノ費シタル直接ノ費用ナランニハ爲替金額ト共ニ請求スベキモノ  
ナルカ故ニ此等ノ費用ニ付キ他日支拂ノ期限ニ至リ所持人ニ辨償  
スベキ爲メ擔保ヲ求ムルヲ得ルナリ(七三九ノ二)而シテ爲替關係  
人ハ凡テ連帶義務ヲ負フカ故ニ其ノ擔保ハ自己以前ノ裏書人ヨリ  
上振出人ニ至ルノ間何人ニ對シテモ爲スヲ得ベキナリ然レモ荷モ  
所持人ニシテ關係人中一人ニ對シテ擔保ヲ求メ既ニ之ヲ得タル片

裏書讓渡  
人ヨリ通  
知シタル  
場合

ハ更ニ他ノモノニ對シテ之ヲ求ムルヲ得ス何トナレハ連帶義務ハ  
一回之ヲ盡スヲ以テ皆他ノ連帶義務者ヲシテ其義務ヲ免カレシム  
ルモノナレハナリ故ニ例ヘハ所持人已ニ振出人ヨリ保證ヲ得タル  
片ハ再ヒ甲乙丙ノ裏書讓渡人ニ要求スルヲ得ス  
(二)裏書讓渡人ヨリ通知シタル場合 各裏書人モ自己以前ノ讓渡人  
ニ對シテ擔保ヲ求ムルヲ得可キナリ例ヘハ最終ノ裏書讓渡人ハ  
已レヨリ前ノ裏書人ニ對シ又其讓渡人ハ振出人ニ對スルカ如ク逐  
次逆戻シテ振出人ニ至ルナリ而シテ此處分タル債權ヲ保存スルニ  
過キササルカ故ニ其擔保ヲ要求スル者ハ所持人ニ對シ現實支拂ヲ爲  
シタルト否トヲ問ハサルナリ而シテ此裏書人ハ所持人同様必ス擔  
保ヲ求ムルモノニ對シ通知セサル可カラス然レモ一人ノ爲シタル  
通知ハ後者ノ爲メ効力アルモノナルカ故ニ例ヘハ甲乙丙丁四人ノ  
關係者アル場合ニ於テ乙ヨリ甲ニ通知シタル片ハ丙ハ甲ニ對シテ

裏書人支拂ヲ爲シタルハ如何

敢テ通知スルヲ要セス何トナレハ甲ハ乙ノ通知ニ依リ支拂拒絶ノアリタルヲ知ルヲ得ベケレハナリ唯々前者ニ對シテハ何等ノ効カアラサルナリ故ニ前例丙ヨリ乙ニ通知シタルハ其通知ハ甲ニ及ハス是レ甲ハ乙ニ通知アリタルカ爲メ支拂拒絶ヲ知リタル者ト推測スル能ハサレハナリ又關係者ノ一人擔保ヲ求メタルハモ之ト同一ナリ故ニ唯々自己前ノ讓渡人ニ對シテ求ムルヲ得ルノミ去レハ所持人ニシテ直ニ振出人ニ對シテ擔保ヲ求メタルハ最早他ノ者ニ對シテ求ムルヲ能ハス然レモ其ノ何レノ場合タルヲ問ハス擔保ヲ求ムルニハ支拂拒絶アリシヲ證明スルヲ要ス否ラサレハ果シテ支拂人支拂ヲ拒ミタルヤ否ヲ知ル能ハス故ニ此要求權ヲ行ハンニハ必ス拒證書ヲ交附セザルヘカラス(七三九)

擔保ハ抵當又ハ保證人ヲ立ツルヲ通例トスヘシト雖モ擔保ヲ求メラレタル裏書人ハ之ニ代ツテ爲替金額其他ノ費用等請求シタル一切ノ

金額ヲ所持人ニ支拂フヲ得ルナリ此支拂アリタル時ハ所持人ノ權利ハ履行ニ依リ消滅スルモ其代リ支拂フタル裏書人ノ權利生スルナリ故ニ此裏書人ハ支拂期日ニ至リ所持人ニ代位シテ支拂人ニ對シテ支拂ヲ請求シ若シ此場合ニ尙ホ支拂人支拂ヲ拒絶シタルハ償還請求ヲ爲スヲ得ルモノトス然レモ此代位タル法律上ノ代位ニシテ當然生スルモノナリト雖モ請求金額ヲ支拂フタルヲ表明スル事實ナカルヘカラス故ニ支拂裏書人ハ所持人ニ對シテ手形ノ裏書讓渡ヲ求メ其裏書シタル手形ト共ニ償還計算書即チ受取書ヲ求ムルヲ得ルナリ(七四二)然レモ振出人ニ於テ其金額ヲ支拂フタルハ右ト同シカラス此場合ハ資金ヲ既ニ支拂人ニ交附シタルト否トニ依テ區別セザルヘカラス資金未ダ送附アラサルハ別ニ支拂人ニ對シテ要求スル處ナシト雖モ若シ資金ヲ送附シタルカ又ハ賣買代價ノ計算ノ爲メ振出しタル手形ナルハ支拂人ニ對シテ要求スル處アルヘシト雖モ通常民事